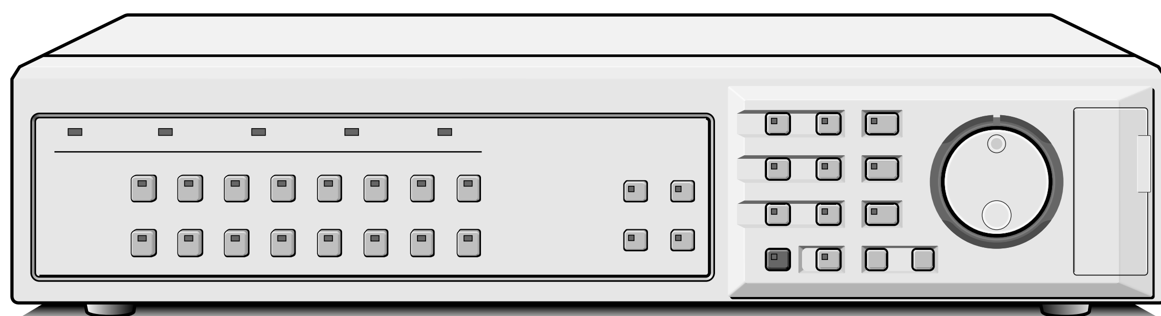
# 取扱説明書

SANYO

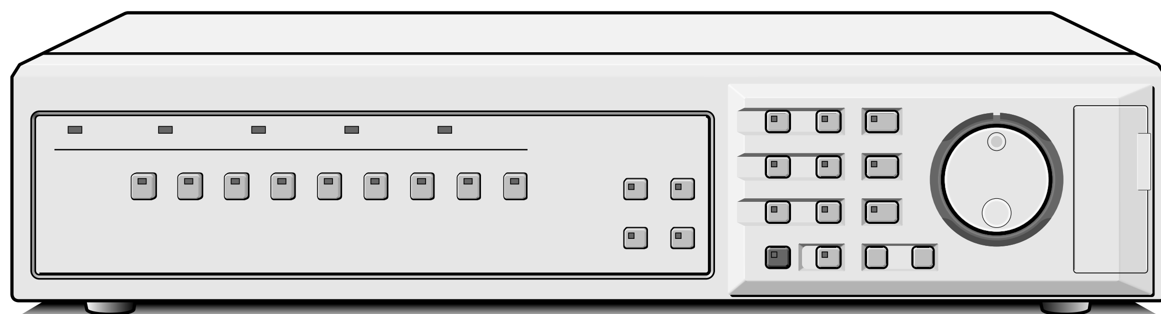
# フレームスイッチャー機能付き ハードディスクデジタルレコーダー

# 品番 VDH-F1600
# VDH-F900

ご使用前にこの取扱説明書をよくお読みのうえ、正しくお使いください。
また、後々のために『保証書』とともに大切に保管してください。



VDH-F1600



VDH-F900

- 製造番号は、品質管理上、重要なものです。
- お買い上げの際は、製品本体と保証書の製造番号をお確かめください。
- 取扱説明書、本体、定格板には色記号の表示を省略しています。

# 目　次


主な特長 ………………………………2

付属品 ………………………………2

安全上のご注意 ………………………………3

はじめに

各部の名前 ………………………………6

接続のしかた ………………………………9
- ■基本接続（品番 VDH-8016）………………9
- ■高画質（S-VHS）対応機器との接続………………9
- ■アンプとの接続 ………………9
- ■デジタルシリーズ接続………………10
- ■システムコントロール制御………………10
- ■外部アラームの設置 ………………11
- ■モーションセンサーアラーム時に監視板などに活用 ………………11
- ■リモコン回路の接続 ………………11

操　作

内蔵ハードディスクについて ………………12
- ■ハードディスクについて………………12
- ■操作表示部について ………………15

カメラの映像を見る ………………16
- ■1画面表示で見る場合 ………………16
- ■多画面表示で見る場合………………18
- ■自動切換表示で見る場合………………19
- ■2台のモニタで監視する ………………21

通常記録領域に録画する ………………22
- ■通常録画………………22
- ■タイマー録画………………23

アラーム記録領域に録画する ………………24
- ■アラーム録画………………24
- ■プリアラーム録画………………25

録画した映像を再生する ………………26
- ■1画面表示で再生する場合 ………………27
- ■多画面表示で再生する場合………………29

録画した映像を検索する ………………30

録画した映像を保存（コピー）する ………………37
- A ハードディスクのバックアップ領域に映像をコピーする………………38
- B コンパクトフラッシュカードまたはマイクロドライブに映像をコピーする……39
- C バックアップ領域の映像をDDS（DAT）ドライブまたはCD-Rドライブへコピーする ………………41

設　定

メニューの流れとメニューの操作 ………………44
- ■メニューの流れ………………44
- ■メニュー画面の基本操作………………45
- ■サブメニュー画面表示中の操作………………45
- ■数字入力のしかた ………………45

初期設定 ………………46
- A 時刻の設定………………46
- B 時刻周期の設定………………47
- C 休日の設定………………49
- D カメラ自動検出………………50

記録設定 ………………51
- A 記録領域の設定………………52
- B 記録条件の設定………………53
- C 通常録画の設定………………55
- D プログラム録画の設定………………56
- E タイマー録画の設定………………57
- F アラーム録画の設定………………60
- G アラームの設定………………65

一般設定 ………………71
- A 画面表示の設定………………72
- B ブザーの設定………………73
- C セキュリティーロックの設定………………74
- D RS-232C/RS-485の設定………………76
- E ハードディスクの設定………………77
- F ネットワークの設定………………78

画面設定 ………………81
- A 分割画面表示ポジションの設定………………82
- B 自動切換時間の設定………………83
- C マスクの設定………………86

停電情報／使用時間の表示 ………………88

メニュー設定の内容をセーブする ………………89
- ■コンパクトフラッシュにセーブする ………………89
- ■セーブした設定内容をロードする ………………90

プログラム録画記録率 ………………91

その他

インターフェース仕様 ………………92

アフターサービスについて ………………94

仕　様 ………………95

# 主な特長

**本機は、監視中のカメラ映像を内蔵のハードディスクに録画したり、録画中にカメラの映像を分割画面（16、9、4）表示でき、録画した映像も分割画面表示できます。**

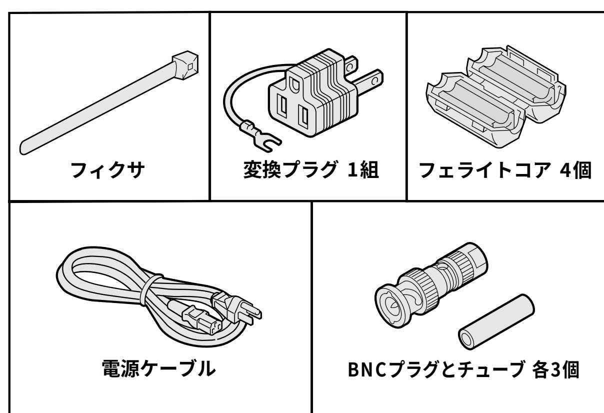
**品番 VDH-F900の分割画面表示は9画面と4画面のみです。**

- **3.5インチ大容量ハードディスクを搭載し、内蔵のハードディスクに録画・再生が可能。**
- **録画と同時に、再生が可能。**
- **不審者の行動を録画するアラーム録画。**
- **タイマー録画により、曜日毎に異なる録画が可能。**
- **アラームの直前の映像を録画するプリアラーム録画。**
- **音声の録音・再生が可能。**
- **コンパクトフラッシュカードに対応し、録画した画像のコピーが可能。**
- **多彩なサーチ機能**
  ☞アラームのイベントリストまたはアラームのサムネイルによるアラームサーチ。
  ☞日付・時間で検索する日時サーチ
  ☞侵入者の動きを検索するモーション検出サーチ
- **監視中の映像、再生中の映像を拡大して表示するズーム機能。**
- **画質モードは、5つのモードから選択可能。**
- **最速1フィールド毎の高速スイッチング。**
- **1、4、9、16画面の表示と9画面・16画面時には画面右下にカメラの映像、ビデオの再生映像の表示と自動切換画面が可能。**
- **モニタ2では1画面の表示とアラーム時にはアラーム画面の表示が可能。**
- **タイマー設定により各カメラごとに下記の設定が可能。**
  - ○ **時間帯別に選択したカメラ映像をグレーパターンで覆うモニタマスク機能が可能。**
  - ○ **時間帯別に選択したカメラ映像を自動切換表示。**
  - ○ **各カメラごとに自動切換画面速度を4つの時間帯別に設定可能。**
- **特定のカメラだけの映像をグレーパターンで覆いモニタできなくするモニタマスク機能。**
- **各カメラごとにモーションセンサー検知が可能。動きのある被写体を優先的に録画したりアラーム動作が可能。**
- **カメラ映像が途中で途切れたときでも無信号検出により、モニタ画面にはテストパターンや静止画で表示可能。**
- **2段階のセキュリティーロックが可能。**
- **PCカードタイプのネットワークカードの使用（推奨）により、ネットワークコントロールに対応。**
- **RS232Cによるコンピュータコントロール機能。**
- **RS485によるシステムコントローラー（別売）との接続可能。**
- **PCカードタイプSCSIカードの使用により、DDS（DAT）ドライブにバックアップが可能。**
- **PCカードタイプSCSIカードの使用により、CD-Rドライブ（YAMAHA）へのデータコピーが可能。**
- **モニタ出力2とS映像入出力端子装備。**
- **デジタル端子によるデジタル機器との接続が可能。**

## 設置条件

**本機周辺5cm以内には物を置かないください。**
**本機には両側面および底面に通気孔がありますので、本機を設置する場合は、通気孔を塞がないでください。**
**また、本棚や箱の中など通気性が悪くなる環境での使用は避けてください。**

# 付属品




- **本機にはBNCプラグ3個を付属していますが、ご使用のシステムに不足する数量については、別売のBNCプラグをお買い求めください。**
- **本機をラックなどに固定するときには、別売のラックマウント金具をお勧めします。**
- **本機には、フェライトコア4個を付属しています。フェライトコアは、デジタル入力および出力ケーブルに各1個づつ、LANカード接続ケーブルに1個、RS485ケーブルのAまたはB線に1個を1回巻いて取り付けてください。**

## ハードディスクの保護

ハードディスクのフォーマットに異常が発生した状態で電源を入れると自動的にディスクチェックをおこないます。ハードディスクに異常が発見されると、電源ランプが点滅しますので、ハードディスクを初期化するか画像の保管が必要な場合は、お買上げの販売店にご相談ください。ハードディスクはほこり、振動、衝撃に弱く、さらに磁気を帯びた物の近い場所での使用も避ける必要があります。記録したデータを失ってしまうことのないよう、次の点に注意してください。

- 衝撃を与えないでください。
- 振動する場所や不安定な場所では使用しないでください。
- 録画や再生中は、コンセントを抜いたりしないでください。
- 急激な温度変化（毎時10℃以上の変化）のある場所では使用しないでください。
- 温度差の大きいところや湿度の高いところへ移動すると、結露を生じることがあります。結露したまま使用すると故障の原因となりますので、ご注意ください。
- 常に振動を伴う車・列車などには設置しないでください。

## ハードディスクと放熱ファンは消耗品です

- 周囲温度25℃の使用条件で、ハードディスクは2年、放熱ファンは3年を目安に交換してください。この年数はあくまでも交換の目安であり、部品の性能を保証するものではありません。

### 大切な記録の場合

- **必ず事前に記録をおこない、正常に記録されていることを確認してください。**
- **本機を使用中、本体もしくは接続機器等の不具合により記録されなかったり、正常に再生できなくなった場合、その内容の補償についてはご容赦ください。**
- **万一の故障や事故に備えて、大切な記録の場合は定期的にバックアップをとられることをお勧めします。**

# 安全上のご注意

## 安全のため必ずお守りください

**この安全上のご注意は、安全な使いかたを理解していただくため、記号(絵表示)を使って、わかりやすくまとめています。**

### ■絵表示について

製品を安全に正しくお使いいただき、あなたや他の人々への危害や財産への損害を未然に防止するために、いろいろな絵表示をしています。
その表示と意味は次のようになっています。内容をよく理解してから本文をお読みください。

| | |
|---|---|
| ⚠警告 | この表示を無視して、誤った取り扱いをすると、人が死亡または重傷を負う可能性が想定される内容を示しています。 |
| ⚠注意 | この表示を無視して、誤った取り扱いをすると、人が傷害を負う可能性が想定される内容および、物的損害のみの発生が想定される内容を示しています。 |

### ■絵表示の例

指をはさまれないよう注意

△の記号は、注意(警告を含む)をうながす事項を示しています。
△の中に、具体的な注意内容が描かれています。
(左の絵表示は、指をはさまれないよう注意することを意味しま

分解禁止

⃠の記号は、してはいけない行為(禁止事項)を示しています。
⃠の中や、近くに、具体的な禁止内容が描かれています。(左の絵表示は、分解禁止を意味します。)

電源プラグをコンセントから抜け

●の記号は、しなければならない行為を示しています。
●の中に、具体的な指示内容が描かれています。
(左の絵表示は、電源プラグをコンセントから抜け、という指示です。)

## 正しくご使用いただくために必ずお守りください

### ■キャビネットのお手入れ

電源プラグをコンセントから抜き柔らかい布で汚れを軽くふき取る。
汚れがひどいときは、水でうすめた中性洗剤にひたした布をよく絞ってふき取り、乾いた布で仕上げる。

**注意**

- お手入れの際、ベンジン・シンナーは使用しないでください。変質したり、塗料がはげることがあります。
- 化学ぞうきんをご使用の際は、その注意書きに従ってください。
- キャビネットに殺虫剤など揮発性のものをかけないでください。また、ゴムやビニール製品などを長時間接触させたままにしないでください。変質したり、塗料がはげるなどの原因となります。

### ■長時間使用しないとき

機能に支障をきたす場合がありますので、ときどき電源を入れて作動させてください。

### ■著作権法について

著作権を有する映像などを記録する際は、個人として楽しむなどのほかは、著作権法上、権利者に無断で使用できません。

## HDD内蔵機器に対する取扱注意事項

本機はハードディスクドライブ(HDD)が内蔵されています。
本機の操作や設置、サービスをおこなうときは以下の事項に留意し、慎重に取り扱ってください。

**1 衝撃、振動を与えない**

衝撃、振動が加わるとHDDが故障あるいはHDD内のデータが破壊される恐れがあります。

- 通電中は本機の移動はおこなわないでください。ラックなどからの出し入れも必ず電源をOFFした状態でおこなってください。
- 本機を搬送する場合は、指定の梱包材料で梱包してください。また、搬送には振動の少ない方法でおこなってください。
- 本機を床などに置くときは、底に指定の足がついている状態で静かに降ろしてください。
  足が付いていない場合は、着地音がしないよう静かに降ろしてください。

**2 電源OFF後の30秒間は動かさない**

電源OFF後もしばらくはHDD内のディスクは慣性で回転しており、ヘッドは不安定な状態にあります。
この期間は通電中以上に衝撃、振動に弱い状態です。電源OFF後30秒は軽い衝撃も与えないように注意してください。

**3 結露状態で動作させない**

本機に結露が起きた状態で動作させると故障の原因となることがあります。
急激な温度変化があった場合は、十分に温度が安定するまで待ってから動作させてください。

**4 HDD交換時の注意**

HDDの交換は交換手順に従っておこなってください。

- 梱包していないHDDは衝撃、振動が加わると故障する恐れがあります。梱包していないHDDはプリント基板面を上にし、水平にしてやわらかいものの上に置くことを推奨します。
- HDDの交換作業でねじの締め付けや取り外す際は、衝撃、振動を与えないように作業をしてください。
  ねじの締め付けはゆるまないようしっかりとおこなってください。
  HDDは静電気に弱いので必ず静電対策をおこなって作業をしてください。

**5 HDD単体の取扱注意**

HDD単体を輸送、保管する場合は必ず指定の梱包材料でおこなってください。
また、輸送時はHDDにかかる振動の少ない方法でおこなってください。
万一、HDDが故障した場合も不良内容の確認や解析をおこなうまでの破損の拡大を防ぐため、本機および交換のため取り外した故障のHDD取り扱いにも十分注意してください。

# ⚠警告

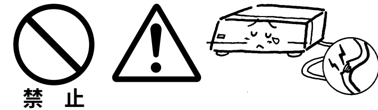
■ **煙が出ている、変な音やにおいがするなどの異常状態のまま使用しない**

異常状態のまま使用すると、火災、感電の原因となります。
すぐに電源プラグをコンセントから抜いて、煙が出なくなるのを確認してから、お買い上げ販売店または工事店に修理をご依頼ください。
お客さまによる修理は危険ですから絶対におやめください。



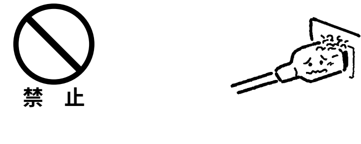

■ **電源コードを傷つけない**

- 付属の電源コード以外は使用しないでください。
- 電源コードの上に重い物をのせたり、熱器具に近づけたりしないでください。また、電源コードを無理に折り曲げたり、加工したり、ステープルなどで固定しないでください。電源コードが傷み、火災、感電の原因となります。
**（電源コードが傷んだら、お買い上げ販売店または工事店に交換をご依頼ください。）**




■ **電源プラグやコンセントにほこりなどを付着させない**

- ほこりにより、ショートや発熱が起こって火災の原因となります。
- 湿度の高い部屋、結露しやすいところ、台所やほこりがたまりやすい場所のコンセントを使っている場合は、特に注意してください。
**（定期的に電源プラグを抜いて、プラグとプラグの間に付着したほこり・よごれを取り除いてください。）**




■ **電源コード接続時の注意**

- 電源プラグはコンセントへ確実に接続してください。不完全な接続のまま使用すると、発熱などにより、火災の原因となります。
- 電源コードは束ねたまま使用しないでください。発熱などにより、火災の原因となります。



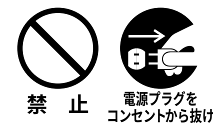

■ **キャビネットをはずしたり、改造しない**

内部に手を触れると危険なうえ、火災、感電の原因となります。
内部の点検・調整・修理は、お買い上げ販売店または工事店にご依頼ください。




■ **接続する機器の上に、水などの入った容器を置かない**

万一内部に水などが入った場合は、本体の電源を切り、電源プラグをコンセントから抜いて、お買い上げ販売店または工事店にご連絡ください。そのまま使用すると、火災、感電、故障の原因となります。




■ **ぬらさない**

ぬらさないようにご注意ください。火災、感電の原因となります。
風呂場では使用しないでください。



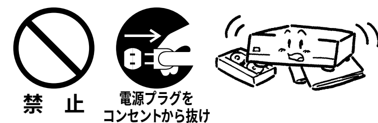

■ **雷が鳴り出したら使わない**

電源プラグや接続ケーブルには絶対に触れないでください。感電の原因になります。




■ **不安定な場所に置かない**

- 落ちたり、倒れたりして、けがや故障の原因となります。
**（万一落としたり、キャビネットを破損した場合は、本体の電源を切り、電源プラグをコンセントから抜いて、お買い上げ販売店または工事店にご連絡ください。そのまま使用すると、火災、感電の原因となります。）**




■ **電源電圧100V以外の電圧で使用しない**

火災、感電の原因となります




■ **国外では使用しない**

使用できるのは日本国内のみで、外国では放送方式、電源電圧が異なりますので使用できません。
(This unit is designed for use in Japan only and can not be used in any other country.)

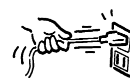


# ⚠注意

■ **電源プラグを抜くときは、電源コードを引っぱらない**

必ず電源プラグを持って抜いてください。
電源コードを引っぱるとコードが傷ついて、火災、感電の原因となることがあります。





■ **ぬれた手で電源プラグをさわらない**

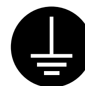
感電の原因となることがあります。



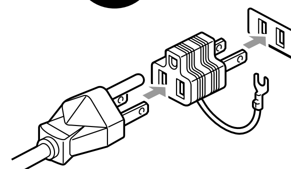


■ **安全アースを接続する**

安全アースを接続しないと、感電の原因になることがあります。
次の方法でアースを接続してください。



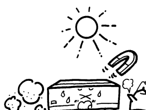
- **電源コンセントが3極の場合**
  電源プラグをそのまま接続すれば、安全アースが接続されます。
- **電源コンセントが2極の場合**
  付属の変換プラグ（3極→2極）を使用し、変換プラグから出ている
  緑色のアース線を、建物に備えつけられているアース端子に接続する。



■ **設置場所の注意**

- 湿気･ほこりの多い場所や、油煙･湯気が当たる場所には置かないでください。
  火災、感電の原因となることがあります。
- 磁気を持っているものの近くや、直射日光が当たる場所、熱器具の近くには置かないでください。事故、故障の原因となることがあります。





■ **通風孔をふさがない**

専用のラック以外の風通しの悪い狭い所に入れたり、テーブルクロスを掛けたり、じゅうたんや布団の上に置いたりして通風孔をふさがないでください。
また、壁や家具などに密接して置かないでください。内部に熱がこもり、火災や感電の原因となることがあります。




■ **上に乗らない**

倒れたり、こわれたりして、けがの原因となることがあります。




■ **コード類は正しく配線する**

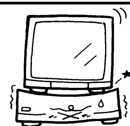
電源コードや接続ケーブルはじゅうぶん注意して接続、配線してください。
足などにケーブルを引っかけると機器の落下や転倒などにより、けがの原因となることがあります。



■ **接続する機器の上に重いものを置かない**

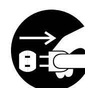
バランスがくずれて倒れたり、落下して、けがの原因となることがあります。
また、重みによって故障の原因となることがあります。





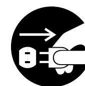
■ **持ち運びの注意**

電源プラグをコンセントから抜き、外部の接続コードをはずしたことを確認のうえ、行ってください。
電源コードが傷つくと、火災、感電の原因となることがあります。


電源プラグを
コンセントから抜け

■ **お手入れの際、長期間使用しない場合の注意**

安全のため電源プラグをコンセントから抜いてください。電源プラグを差し込んだままお手入れすると、感電の原因となることがあります。


電源プラグを
コンセントから抜け

■ **内部の掃除について**

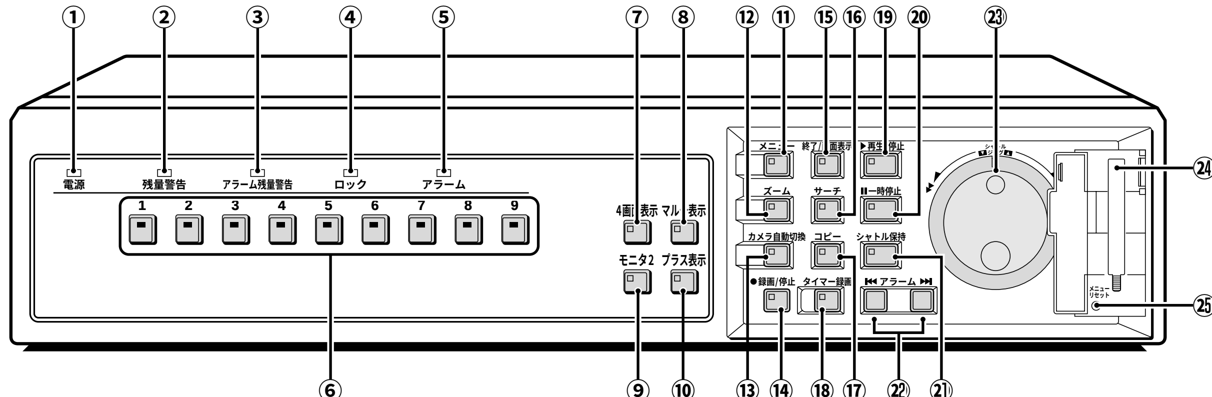
内部の掃除については、お買い上げ販売店または工事店にご相談ください。機器の内部にほこりがたまったまま長い間掃除をしないと、火災、故障の原因となることがあります。



# 各部の名前

## 前面パネル

VDH-F900




**①電源ランプ**
電源プラグをコンセントに差し込み電源スイッチを「入」にするとランプが点灯（緑）します。

**②通常記録領域残量警告ランプ**
ハードディスクの通常記録領域が残り1%*になるとランプが点滅します。
また、記録領域の残量が0%になると録画が停止し、ランプの点滅が点灯に換わります。
メニュー設定の“ 記録再開許可 ”(☞ P52) をおこなうとランプが消灯します。
(*メニュー設定で変更することができます。)

**③アラーム記録領域残量警告ランプ**
ハードディスクのアラーム記録領域が残り1%*になるとランプが点滅します。
また、記録領域の残量が0%になると録画が停止し、ランプの点滅が点灯に換わります。
メニュー設定の“ 記録再開許可 ”(☞ P52) をおこなうとランプが消灯します。
(*メニュー設定で変更することができます。)

**④セキュリティーロックランプ**
メニュー設定でセキュリティーロックが設定されていて、操作がロックされていると点灯します。
ロック中に操作ボタンを押すとブザーがなります。このときランプは点滅し、モニタにはパスワード入力画面が表示します。

**⑤アラームランプ**
内蔵のハードディスクやファンに異常がある場合は、点滅します。

**⑥カメラ選択ボタンとランプ（1〜16）**
後面パネルのVCR映像入力端子にカメラを接続した状態で、ボタンを押すと表示ランプが点灯し、カメラ映像がモニタに表示します。
**(表示ランプ)**
- モニタを分割画面にすると、分割画面で表示中のランプが点灯します。
- アラームの入力があると、入力のあったカメラの表示ランプが点滅します。

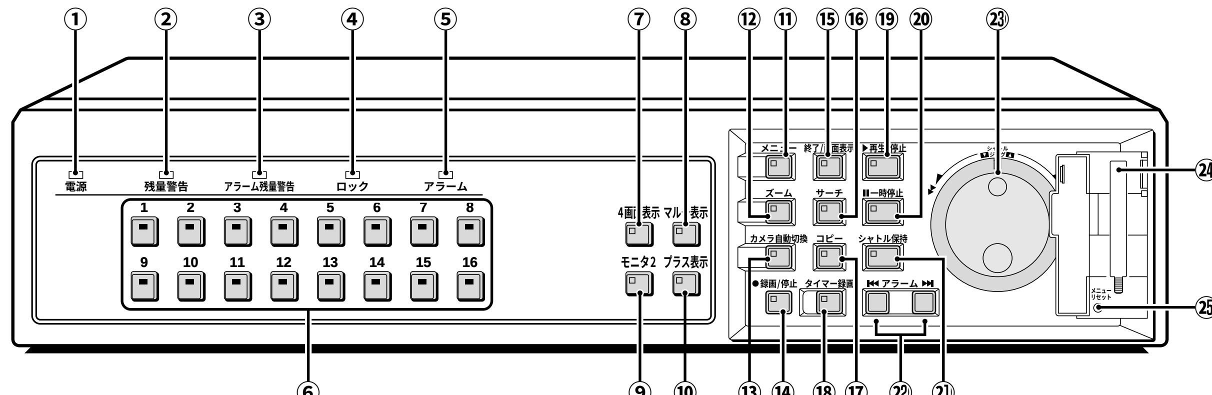
**⑦4画面表示ボタンとランプ**
1画面または9分画面、または16分割画面で監視中に、4分割画面で表示できます。ボタンを押すと4分割画面になり、押すたびに4分割画面（1〜4、5〜8、9〜12、13〜16）が切り換わります。表示ランプも4分割画面に合わせて点灯します。
- 品番 VDH-F900は押すたびに4分割画面（1〜4、5〜8、9〜3）が切り換わります。

**⑧マルチ表示ボタンとランプ**
1画面または4分割画面で監視中に、16分割または9分割画面で表示できます。
ボタンを押すと9、16分割画面になり、繰り返し押すと分割画面が切り換わります。
- 品番 VDH-F900は9分割画面の表示になります。16分割画面の表示はできません。

**⑨モニタ2設定ボタン**
後面パネルのモニタ2出力端子にモニタを接続した状態でボタンを押すと、モニタ2出力状態を変更することができます。
初期設定は自動切換画面表示です。カメラ選択ボタンを押すと選択したカメラ映像を表示させることができます。
設定中はランプが点灯します。

**⑩プラス表示ボタンとランプ**
必要な映像のみを画面右下に1/4画面で表示できます。(6、13分割画面)
ボタンを押すと画面右下に1/4画面が表示し、表示ランプが点滅します。必要な映像のカメラ選択ボタンを押すと、1/4画面の映像が切り換わります。この状態で下記の操作ができます。
- マルチ表示ボタンを押すと、6分割画面と13分割画面が切り換わります。1/4画面は選択した映像のままです。(品番VDH-F900は6分割画面のみの表示になります。)
- カメラ映像を監視中にカメラ自動切換ボタンを押すと、表示ランプが点滅して1/4画面が自動的に切り換わります。メニュー画面で自動切換時間の設定ができます。(☞ P83)
- 再生中に2回押すと、カメラ映像と再生映像が表示します。

**⑪メニューボタンとランプ**
メニュー画面（設定画面）を表示させるときに使用します。




### ⑫ズームボタンとランプ
1画面表示で監視中または再生中にズーム画面で表示できます。
ズーム表示中は、ランプが点滅します。

### ⑬カメラ自動切換ボタンとランプ
カメラ映像監視中に1画面、4分割画面、1/4画面（プラス画面）のカメラ映像を自動的に切り換えます。
ボタンを押すと表示ランプが点滅し、自動的に画面が切り換わります。カメラの表示ランプも切り換え画面に合わせて点灯します。

### ⑭録画/停止ボタンとランプ
通常録画が開始します。
録画中は、ランプが点灯します。
録画中に、ボタンを2秒以上押すと録画が停止し、ランプが消灯します。

### ⑮終了/画面表示ボタンとランプ
- メニュー画面表示時
  メインメニューまたは、サブメニューから抜けます。
- 録画中・再生中・停止中
  録画・再生中に押すと、タイムデート・アラームなどの操作表示を上表示／下表示／非表示の順に押すごとに切り換わります。
  情報の表示中は、ランプが点灯します。

### ⑯サーチボタンとランプ
録画および停止中に押すとランプが点灯し、サーチ再生画面が表示します。もう一度押すとサーチ再生画面から抜けます。

### ⑰コピーボタンとランプ
再生中の1画面表示の静止画で押したときハードディスクの映像保存領域やコンパクトフラッシュまたはマイクロドライブ、CD-Rドライブに映像をコピーします。
コピー中は、ランプが点灯します。
停止中、録画中に押すとバックアップ（DATへのコピー）ができます。

### ⑱タイマー録画ボタンとランプ
録画停止中に押すとタイマー録画待機中になり、設定した時間になるとタイマー録画になります。

### ⑲再生/停止ボタンとランプ
ランプが点灯し、通常記録領域およびアラーム記録領域の映像が再生されます。
再生中に押すと、再生を中止します。

### ⑳一時停止ボタンとランプ
1画面表示で監視中または再生中に押すとランプが点灯し、静止画になります。
もう一度押すと、解除します。

### ㉑シャトル保持ボタンとランプ
セキュリティロックが設定され2秒以上押すとセキュリティロックになります。
再生や、コマ送りのスピードをロックします。
ロック中は、ランプが点灯します。

### ㉒アラームスキップボタン
再生中に押すと、直前または直後のアラームにスキップします。

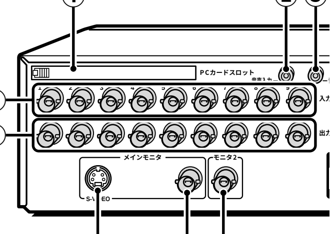
### ㉓ジョグ（内側）・シャトル（外側）ダイヤル
- 再生中
  ジョグダイヤルで再生レートの変更をします。
  シャトルダイヤルで早送り、早戻し再生をします。
- メニュー画面
  ジョグダイヤルでカーソルの移動や設定値の変更をします。
  シャトルダイヤルで設定の確定をします。

### ㉔コンパクトフラッシュスロット
コンパクトフラッシュまたはマイクロドライブを装着します。

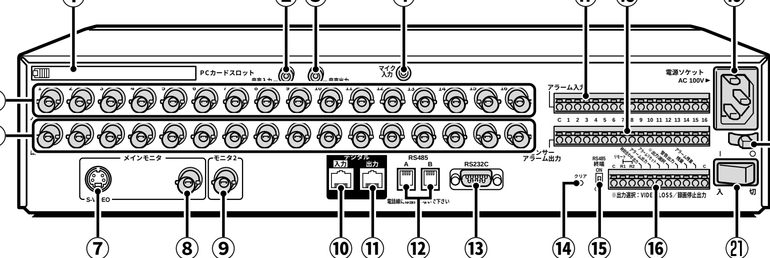
### ㉕メニューリセットボタン
メニュー設定の内容（表示しているメニュー設定のみ）を初期化します。
監視中に押すと時刻を初期化（0分0秒）にすることができます。

## 後面パネル

**VDH-F900**




**VDH-F1600**






**①PCカードスロット**
別売りのネットワークカードまたはSCSIカードを装着します。

> **注意：PCカードソケットは、16bit 5V専用です。32bit card Busタイプを使用すると本体PCカードソケットが破損する恐れがありますので挿入しないでください。**

**②音声入力端子**

**③音声出力端子**

**④マイク入力端子**

**⑤VCR映像入力端子**
品番 VDH-F900の入力は9端子です。

**⑥VCR映像出力端子**
品番 VDH-F900の出力は9端子です。

**⑦メインモニタS-VIDEO出力端子**

**⑧メインモニタ出力端子**

**⑨モニタ2出力端子**

**⑩デジタル入力端子**

**⑪デジタル出力端子**

**⑫RS485コントロール端子**

**⑬RS232C端子**

**⑭クリアボタン**

**⑮RS485終端スイッチ**

**⑯コントロール端子**

| ピン | 信　号 |
|---|---|
| C | アース |
| リモートR1 | リモコン入力1 |
| リモートR2 | リモコン入力2 |
| 時刻合わせ出力 | 時計合わせ出力（P47） |
| アラーム出力 | アラーム出力 |
| アラームリセット | アラームリセット |
| 出力選択 | VIDEO LOSS/録画停止出力 |
| 警告出力 | HDD異常警告出力 |
| 残量 | 通常記録領域の残量警告出力 |
| アラーム残量 | アラーム記録領域の残量警告出力 |
| C | アース |

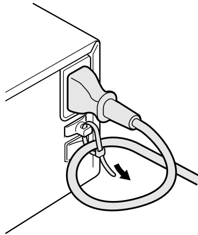
**⑰アラーム入力端子（1～16）**
本機を通して外部に設置したアラームスイッチの開閉によりコントロール端子のアラーム出力からアラームを出力します。
品番 VDH-F900のアラーム入力は9端子です。

**⑱センサーアラーム出力端子（1～16）**
メニュー設定で設定したモーションセンサーが反応するとアラーム信号を出力します。（オープンコレクタ）
品番 VDH-F900のアラーム出力は9端子です。

> **注意：この端子は、外部アラームの“ アラーム入力端子 ” に対する出力端子ではありません。**

**⑲電源ソケット**
付属の電源ケーブルを電源ソケットにしっかりと差し込んでください。

**⑳電源ケーブルホルダー**
付属のフィクサーで図のように電源ケーブルホルダーに固定してください。



**㉑電源スイッチ**

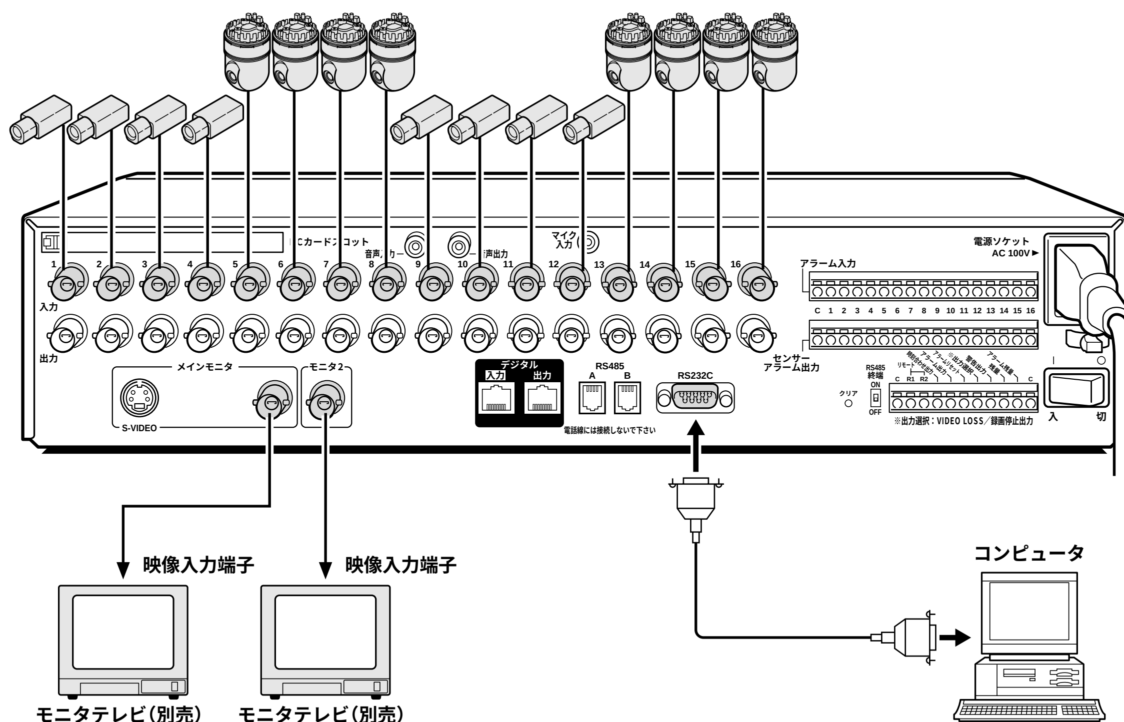
# 接続のしかた

全ての電源を切ってから、接続してください。

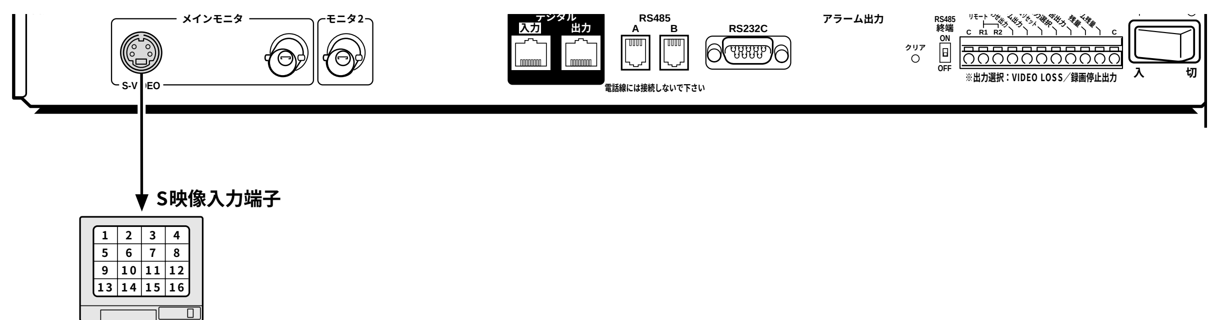
**接続する各機器の取扱説明書もよくお読みください。**
**接続を誤ると発煙したり、故障の原因となることがありますので注意してください。**

## ■基本接続（品番 VDH-F1600）

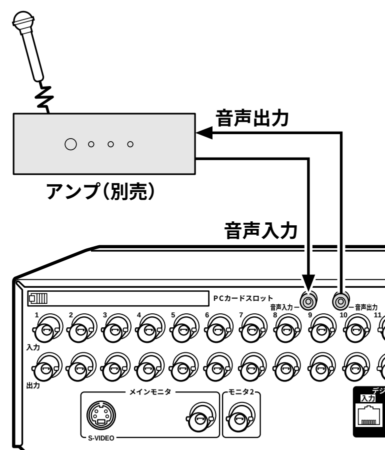
品番 VDH-F900には9台のカメラが接続できます。



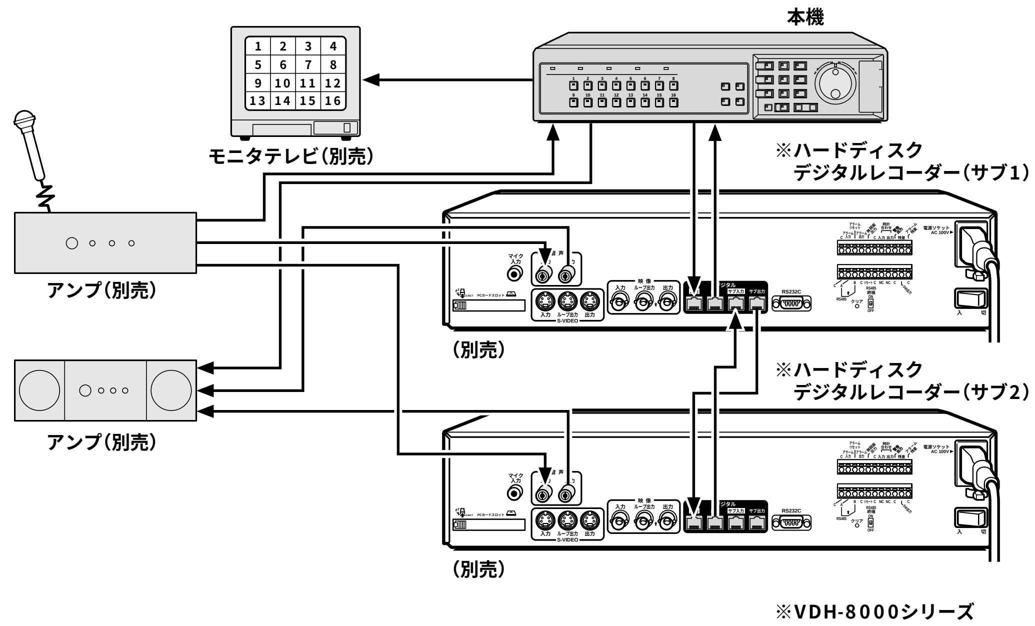

## ■高画質（S-VHS）対応機器との接続




## ■アンプとの接続



## ■デジタルシリーズ接続




※VDH-8000シリーズ

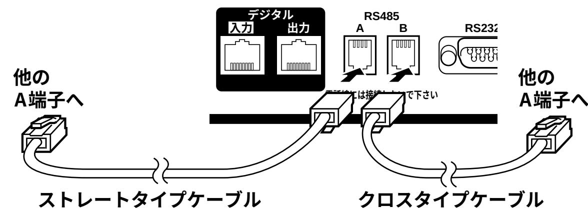


## ■システムコントロール制御

本機と別売のシステムコントローラーを接続するときはRS485を使用します。接続後はRS-232C/RS-485設定メニューでの設定が必要です。（☞ P76）

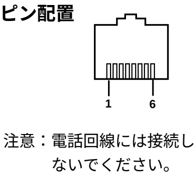
### RS485（RJ-11）端子を用いた接続

モジュラーケーブル（別売）で後面のRS485コントロール端子に接続します。




ストレートタイプケーブル　　クロスタイプケーブル

ピン配置

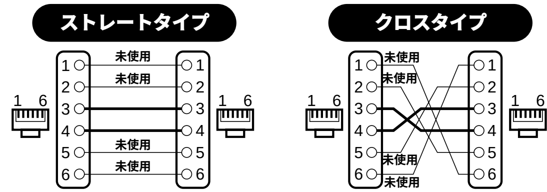



注意：電話回線には接続しないでください。

| ピン番号 | A端子信号 | B端子信号 |
|---|---|---|
| 1 | 未使用 | 未使用 |
| 2 | 未使用 | 未使用 |
| 3 | A | B |
| 4 | B | A |
| 5 | 未使用 | 未使用 |
| 6 | 未使用 | 未使用 |

A：非反転ドライバー出力および
　非反転レシーバー入力
B：反転ドライバー出力および
　反転レシーバー入力

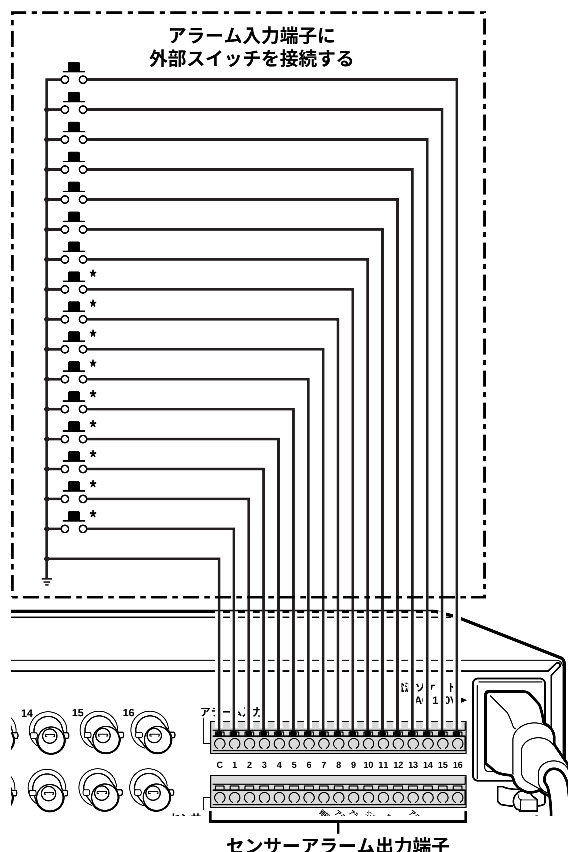
- **ストレートタイプのケーブルを使う場合**
  A端子はA端子に、B端子はB端子に接続します。
- **クロスタイプのケーブルを使う場合**
  A端子はB端子に、B端子はA端子に接続します。



はじめに

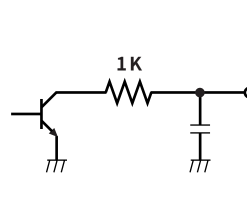
## ■外部アラームの設置

外部アラームを動作させるためには、アラーム入力端子に外部スイッチを接続します。外部からの侵入者が外部スイッチ（ドアなど）を開閉すると、アラーム信号を受けてアラームが鳴りだす方法です。
品番 VDH-F900は*印までの使用になります。




## ■モーションセンサーアラーム時に監視板などに活用

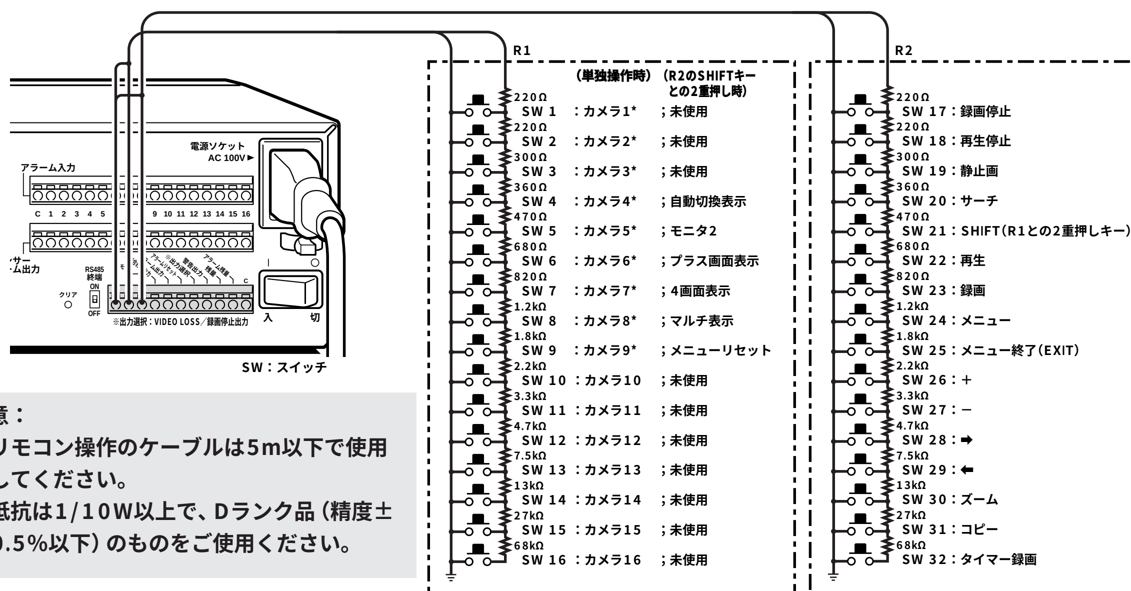
本機のモーションセンサーが反応すると、センサーアラーム出力端子に出力されます。本端子にランプ等のSW回路を接続するとビデオセンサーの反応時に点灯しますので、ランプを工場などのレイアウト図上に固定すると異常時のカメラ設置位置が瞬時に確認できます。端子は通常オープンです。センサーが反応したカメラ番号の端子がLowになります。




各端子ごとの定格値（25℃時）
- 最大電流　25mA
- 最大電圧　25V
- 最大電力　40mW

## ■リモコン回路の接続

コントロール端子のリモコン入力（R1、R2）部に図の様なリモコン回路を製作して接続すると、本機をリモートコントロールできます（接点LOW入力）。品番 VDH-F900はカメラ9台（*）までの操作になります。



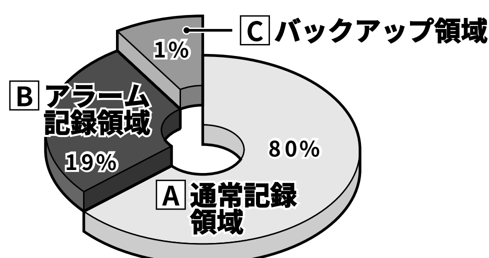

注意：
- リモコン操作のケーブルは5m以下で使用してください。
- 抵抗は1/10W以上で、Dランク品（精度±0.5%以下）のものをご使用ください。

# 内蔵ハードディスクについて

## ■ハードディスクについて

### ●記録領域について

本機に電源が入ると、自動的に内蔵のハードディスクに記録領域（通常記録：80%・アラーム記録：19%・バックアップ領域：1%）が設定されます。録画／停止ボタンを押すと通常記録領域とアラーム時にはアラーム記録領域に映像が記録されます。この状態を初期状態といい、“通常記録領域に録画する”または“アラーム記録領域に録画する”（☞ P24）では次の様に詳細設定を確認することができます。また、この記録領域や画質などの設定はメニュー画面で変更することができます。




**ハードディスクの記録領域**

**注意：メニュー画面にハードディスクの全容量が80GBと表示されますが、ハードディスクの種類によっては81GBと表示されるものもあります。**

### A 通常記録領域

- 監視中に録画／停止ボタンを押すと、通常記録領域に映像が録画されます。
- タイマーに関する設定をすると、設定された時間で自動的に映像を通常記録領域にタイマー録画されます。

### B アラーム記録領域

メニューの「アラーム記録設定」が必要です。

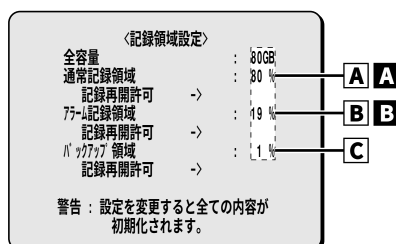
- アラーム録画の設定をおこなうとアラーム録画ができます。設置したアラーム入力端子のスイッチ動作やモーションセンサーで不審者などを検出するとアラーム領域にアラーム映像が録画されます。
- プリアラーム録画の設定をおこなうとプリアラーム録画ができます。プリアラーム録画は設定された時間間隔で通常記録と同じ映像をアラーム記録領域にアラームが入るまで録画しては上書きをくり返します。プリアラーム録画を設定すると、アラーム直前の映像を録画することができます。

### C バックアップ領域

通常記録領域やアラーム記録領域の大切な映像を複写する領域です。通常記録領域またはアラーム記録領域の変更により最大10GB（80GBハードディスク使用時：12.5%　160GBハードディスク使用時：6%）まで設定できます。

### メニュー画面（初期設定）

メニューボタンで表示できます。



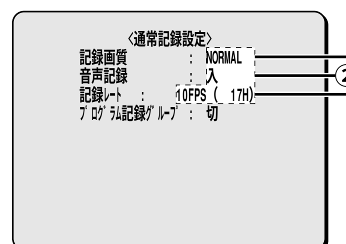

**①記録画質：NORMAL（標準画質）**
画質は5段階から選択することができます。（録画時間は異なります。）

**②音声記録：入/切の選択可**

**③記録レート：記録周期と録画時間の表示**
詳しくは録画スピード一覧表を参照してください。

**④アラーム記録の設定：入/切の選択可**
アラーム録画をおこなうときは“切”設定を“入”などに選択してください。録画スピードとアラーム持続時間が表示されます。

**A 通常記録領域の画質・録画スピードなどの設定画面**




**B アラーム記録領域の画質・録画スピードなどの設定画面**



### ●録画スピード一覧表（録画時間は録画する画像により変動することがあります。）

この録画時間一覧表は、本機のハードディスク（80GB）の通常記録領域に映像を記録する場合の画質、記録周期を示したもので、音声記録の設定は含まれていません。
通常記録領域およびアラーム記録領域の設定時間は、録画スピード一覧表の記録画質数値にメニューの記録領域設定で設定した通常記録領域およびアラーム記録領域のパーセント表示値を掛けた時間になります。

#### ■80 GBハードディスク録画時間

| 記録レート（フィールド/秒） | 記録周期（秒） | 録画時間 | | | | |
|---|---|---|---|---|---|---|
| | | BASIC（ラフ画質） | NORMAL（標準画質） | ENHANCED（準高画質） | FINE（高画質） | SUPER FINE（最高画質） |
| | | 15kB | 22kB | 30kB | 42kB | 56kB |
| 60.00 | 0.017 | 21H | 15H | 11H | 8H | 6H |
| 30.00 | 0.033 | 42H | 30H | 22H | 16H | 12H |
| 20.00 | 0.050 | 63H | 45H | 33H | 24H | 18H |
| 15.00 | 0.067 | 85H | 60H | 45H | 32H | 24H |
| 10.00 | 0.100 | 127H | 90H | 67H | 49H | 37H |
| 7.50 | 0.133 | 170H | 120H | 90H | 65H | 49H |
| 6.00 | 0.167 | 212H | 150H | 113H | 82H | 62H |
| 5.00 | 0.200 | 255H | 180H | 135H | 98H | 74H |
| 4.29 | 0.233 | 297H | 210H | 158H | 115H | 87H |
| 3.75 | 0.267 | 340H | 241H | 180H | 131H | 99H |
| 3.33 | 0.300 | 382H | 271H | 203H | 147H | 112H |
| 3.00 | 0.333 | 425H | 301H | 226H | 164H | 124H |
| 2.73 | 0.367 | 468H | 331H | 248H | 180H | 137H |
| 2.31 | 0.433 | 553H | 391H | 293H | 213H | 162H |
| 2.00 | 0.500 | 638H | 452H | 339H | 246H | 187H |
| 1.67 | 0.600 | 765H | 542H | 406H | 295H | 224H |
| 1.43 | 0.700 | 893H | 632H | 474H | 345H | 261H |
| 1.25 | 0.800 | 1021H | 723H | 542H | 394H | 299H |
| 1.11 | 0.900 | 1148H | 813H | 610H | 443H | 336H |
| 1.00 | 1 | 1276H | 904H | 678H | 493H | 374H |
| 0.50 | 2 | 2553H | 1808H | 1356H | 986H | 748H |
| 0.33 | 3 | 3829H | 2712H | 2034H | 1479H | 1122H |
| 0.25 | 4 | 5106H | 3616H | 2712H | 1972H | 1496H |
| 0.20 | 5 | 6382H | 4521H | 3390H | 2466H | 1870H |
| 0.10 | 10 | 12765H | 9042H | 6781H | 4932H | 3741H |
| 0.05 | 20 | 25531H | 18084H | 13563H | 9864H | 7483H |
| 0.03 | 30 | 38296H | 27126H | 20345H | 14796H | 11224H |

音声記録可能領域（音声を録画した場合は、上の表の録画時間より短くなります。）

下記はハードディスク合計容量が160GBの録画時間一覧表です。（ハードディスクを増設する場合は、お買い上げ販売店にご相談ください。）

#### ■160 GBハードディスク録画時間

| 記録レート（フィールド/秒） | 記録周期（秒） | 録画時間 | | | | |
|---|---|---|---|---|---|---|
| | | BASIC（ラフ画質） | NORMAL（標準画質） | ENHANCED（準高画質） | FINE（高画質） | SUPER FINE（最高画質） |
| | | 15kB | 22kB | 30kB | 42kB | 56kB |
| 60.00 | 0.017 | 42H | 30H | 22H | 16H | 12H |
| 30.00 | 0.033 | 85H | 60H | 45H | 32H | 24H |
| 20.00 | 0.050 | 127H | 90H | 67H | 49H | 37H |
| 15.00 | 0.067 | 170H | 120H | 90H | 65H | 49H |
| 10.00 | 0.100 | 255H | 180H | 135H | 98H | 74H |
| 7.50 | 0.133 | 340H | 241H | 180H | 131H | 99H |
| 6.00 | 0.167 | 425H | 301H | 226H | 164H | 124H |
| 5.00 | 0.200 | 510H | 361H | 271H | 197H | 149H |
| 4.29 | 0.233 | 595H | 421H | 316H | 230H | 174H |
| 3.75 | 0.267 | 680H | 482H | 361H | 263H | 199H |
| 3.33 | 0.300 | 765H | 542H | 406H | 295H | 224H |
| 3.00 | 0.333 | 851H | 602H | 452H | 328H | 249H |
| 2.73 | 0.367 | 936H | 663H | 497H | 361H | 274H |
| 2.31 | 0.433 | 1106H | 783H | 587H | 427H | 324H |
| 2.00 | 0.500 | 1276H | 904H | 678H | 493H | 374H |
| 1.67 | 0.600 | 1531H | 1085H | 813H | 591H | 448H |
| 1.43 | 0.700 | 1787H | 1265H | 949H | 690H | 523H |
| 1.25 | 0.800 | 2042H | 1446H | 1085H | 789H | 598H |
| 1.11 | 0.900 | 2297H | 1627H | 1220H | 887H | 673H |
| 1.00 | 1 | 2553H | 1808H | 1356H | 986H | 748H |
| 0.50 | 2 | 5106H | 3616H | 2712H | 1972H | 1496H |
| 0.33 | 3 | 7659H | 5425H | 4069H | 2959H | 2244H |
| 0.25 | 4 | 10212H | 7233H | 5425H | 3945H | 2993H |
| 0.20 | 5 | 12765H | 9042H | 6781H | 4932H | 3741H |
| 0.10 | 10 | 25531H | 18084H | 13563H | 9864H | 7483H |
| 0.05 | 20 | 51062H | 36168H | 27126H | 19728H | 14966H |
| 0.03 | 30 | 76593H | 54253H | 40690H | 29592H | 22449H |

音声記録可能領域（音声を録画した場合は、上の表の録画時間より短くなります。）

参考：24H（1日）、168H（1週間）、720H（1ヶ月）、8760H（1年）

## ■プリアラーム録画時間

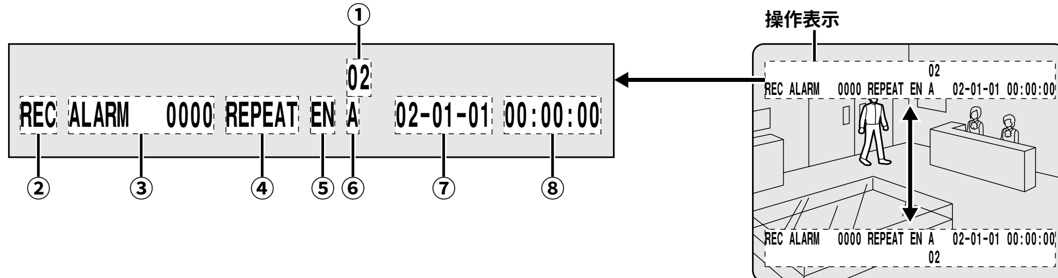
プリアラーム録画時の録画時間一覧表です。プリアラーム録画をするときにご覧ください。（☞ P25）

| 記録レート（フィールド/秒） | 記録周期（S） | 記録時間（メニュー画面上での時間表示　s：秒、m：分） | | | | | | | | | | | | |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| | | 2s(2s) | 3s(3s) | 5s(5s) | 10s(10s) | 20s(20s) | 40s(40s) | 60s(1m) | 120s(2m) | 180s(3m) | 240s(4m) | 300s(5m) | 600s(10m) | 900s(15m) |
| 60.00 | 0.017 | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ |
| 30.00 | 0.033 | | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ |
| 20.00 | 0.050 | | | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ |
| 15.00 | 0.067 | | | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ |
| 10.00 | 0.100 | | | | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ |
| 7.50 | 0.133 | | | | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ |
| 6.00 | 0.167 | | | | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ |
| 5.00 | 0.200 | | | | | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ |
| 4.29 | 0.233 | | | | | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ |
| 3.75 | 0.267 | | | | | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ |
| 3.33 | 0.300 | | | | | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ |
| 3.00 | 0.333 | | | | | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ |
| 2.73 | 0.367 | | | | | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ |
| 2.31 | 0.433 | | | | | | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ |
| 2.00 | 0.500 | | | | | | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ |
| 1.67 | 0.600 | | | | | | | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ |
| 1.43 | 0.700 | | | | | | | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ |
| 1.25 | 0.800 | | | | | | | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ |
| 1.11 | 0.900 | | | | | | | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ |
| 1.00 | 1 | | | | | | | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ |

（実線枠）初期設定値、記録周期：0.1秒（10FPS）、記録時間：1分とします。
（点線枠）通常記録領域を0%に設定した場合のみ対応

メニューでのアラーム持続時間の設定では、設定された記録レートで可能な持続時間しか設定できません。
また、記録レートを設定する場合には、設定された持続時間で可能な範囲でしか設定できません。たとえば、アラーム持続時間を3秒に設定した場合、記録周期は、0.02秒か0.03秒しか選択できません。
遅い記録レートを設定する場合は、一旦アラーム持続時間の設定を変更しないと設定できません。

**本機に電源が入るとモニタ画面の上部に操作表示部がでます。この操作表示部は操作に必要な日付・時刻、画質などを表示します。**

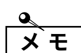





## ■操作表示部について

☞ **電源プラグをコンセントに差し込んで後面の電源スイッチを入にする**

電源ランプが点灯し、約15秒すると、「終了/画面表示」ランプが点灯します。モニタにはカメラ映像が表示し画面の上部に操作表示がでます。




**終了/画面表示ボタンをくり返し押すと操作表示の位置変更や表示を消すことができます。**

### ①カメラ番号表示
再生中や監視中のカメラ番号が表示されます。

### ②操作シンボル表示
録画、再生中などに表示します。

| | |
|---|---|
| **REC**：録画中 | ▶▶：早送り再生中 |
| ▶：再生中 | ◀◀：早戻し再生中 |
| ◀：逆再生中 | ❙❙▶：スロー再生中 |
| ❙❙：一時停止中 | ◀❙❙：逆スロー再生中 |

**注意：録画と再生を同時におこなっている場合は、再生中（▶）の表示になります。**

### ③アラーム表示とアラーム回数表示
メニューの「アラーム記録設定」でアラームの設定をするとアラーム表示部には次のように表示します。
但し、プリアラームの設定の場合は、「PRE」が表示します。アラームが入ると「PRE」が消えて「ALARM」が表示し、アラーム回数も表示します。アラーム表示は累計の表示になります。

- **アラーム記録設定の場合：「**ALARM**」**表示
  アラーム記録中は「ALARM」表示が点滅する。
- **プリアラーム記録設定の場合：「**PRE**」**表示
- **バックアップ領域を再生中の場合：「**ARCHIVE**」**表示
- **外部アラームを受けたとき：**カメラ番号の左に**「**EA**」**点滅表示
- **モーションセンサーアラームを受けたとき：**カメラ番号の左に**「**SA**」**点滅表示

### ④記録領域の残量
上書き録画時に「REPEAT」が表示します。また、通常記録領域またはアラーム記録領域を上書き禁止（OVERWRITE：OFF）状態にすると、記録残量をパーセントで表示します。残量表示の変更は「記録領域設定」でおこなってください。
（☞ P52）

### ⑤画質表示
ハードディスクに記録される映像の画質を表示します。初期設定はEN（準高画質）に設定されています。メニューの「通常記録設定」で画質を変更すると、表示が切り換わります。

**BA**：Basic（ラフ画質）
**NO**：Normal（標準画質）
**EN**：Enhanced（準高画質）
**FI**：Fine（高画質）
**SF**：Super fine（最高画質）

### ⑥音声録画表示
音声録画時に「A」が表示します。音声録画の設定については（☞ P55）をご覧ください。

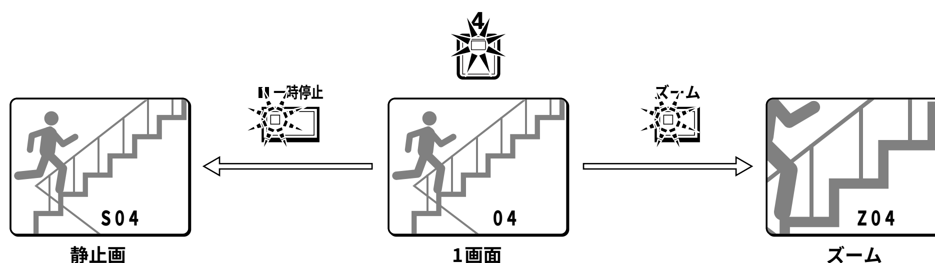
### ⑦日付表示
初めて本機に電源を入れたときは「02－01－01（年月日）」と表示します。メニューで必ず日付の設定をおこなってください。

### ⑧時刻表示
初めて本機に電源を入れたときは「00：00：00」と表示し、日付を設定すると時刻が刻まれます。本機は日付と時刻により録画や再生箇所を管理します。正しい時刻設定がおこなわれていないと、正確な映像を検索できません。
メニュー設定で必ず時刻の設定をおこなってください。設定をしていないと録画はできません。

**注意：本機は録画中に再生、コピー、通信などの操作ができますが、録画優先のため各操作の動作が遅くなることがあります。**

# カメラの映像を見る

## ■1画面表示で見る場合

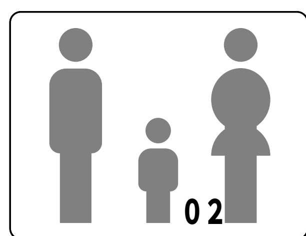



### カメラ映像を1画面にする

**1** **カメラ選択ボタン（例：2）を押す**

カメラ2の映像が1画面で表示します。

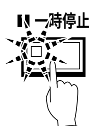


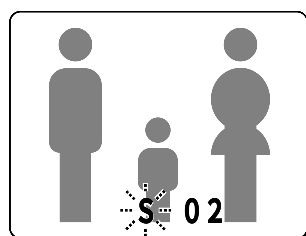




### 映像を静止画にする

**1** **一時停止ボタンを押す**

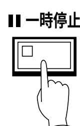
映像が静止画になります。

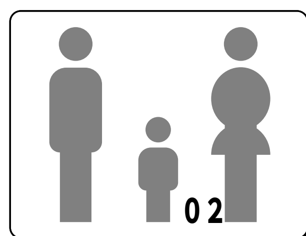



**2** **静止画をやめるときは再度、一時停止ボタンを押す**

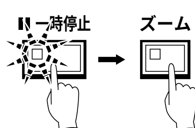
静止画が解除され通常映像に戻ります。

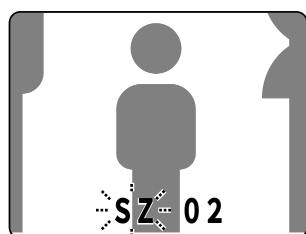



メモ

**静止画のときにズームボタンを押すと、静止画の拡大画面になります。静止画に戻すときは、再度、ズームボタンを押してください。**

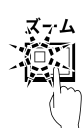


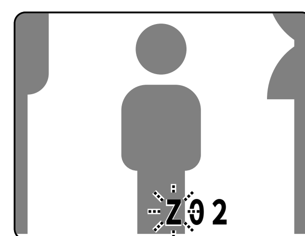




### 映像を拡大して見る

**1** **ズームボタンを押す**

映像が拡大します。



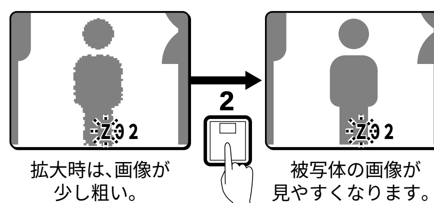




メモ

**ズーム枠を設定すると、ズーム枠内の映像が拡大します。**
**（☞ P17）**

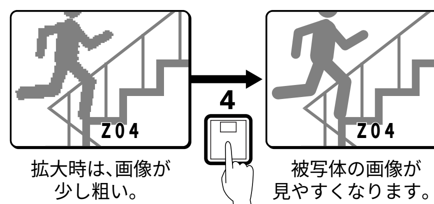
**ズーム映像中のカメラ選択ボタンを押すと、被写体の動きにより画像が見やすくなります。くり返しカメラ選択ボタンを押すと次のように切り換わります。**

- **動きの少ない映像（静止画に近い状態）**
  **大きな被写体の映像が見やすくなり、動きのある被写体は少し粗くなります。**




拡大時は、画像が少し粗い。　　被写体の画像が見やすくなります。

- **動きの大きい映像（通常の監視状態）**
  **動きのある被写体の映像が見やすくなり、動きの少ない被写体は少し粗くなります。**



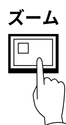

拡大時は、画像が少し粗い。　　被写体の画像が見やすくなります。

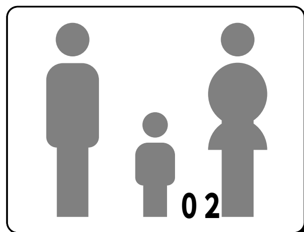
**注意：ズーム中に他のカメラ選択ボタンを押すと、ズーム画は解除され押した選択ボタンの1画面になります。**

操作

**2** **ズーム画を通常の映像に戻すときは再度、ズームボタンを押す**

ズーム画が解除され通常映像に戻ります。



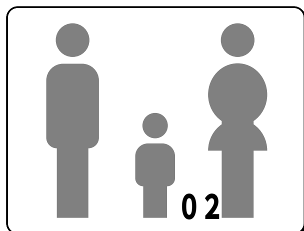

**例** **カメラ2の映像の必要な部分をズーム枠内で拡大する**

**画面上に表示するズーム枠により、ズーム位置の選択ができます。ズーム枠の初期設定位置は画面中央です。**

**1** **カメラ選択ボタン2を押す**

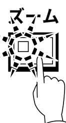
カメラ2の映像が1画面表示します。

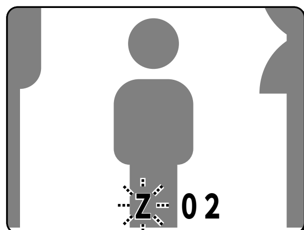



**2** **ズームボタンを押す**

映像がズーム画になります。

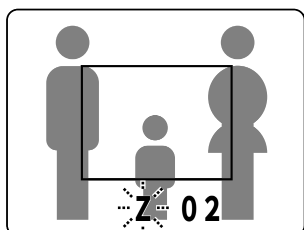



**3** **カメラ選択ボタン2を約3秒間押す**

ズーム画から通常の画面になり、画面中央にはズーム枠が表示します。

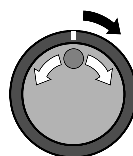


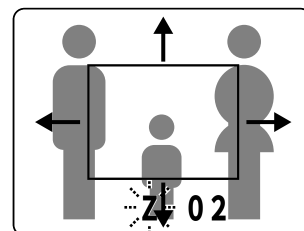




**注意：ズーム枠を設定した状態で約10秒間放置すると、ズーム画に戻ります。**
**再度ズーム枠を表示するときは、カメラ選択ボタン2を約3秒間押してください。**

**4** **ズーム枠を拡大したい位置に移動する**

- ジョグダイヤルを右に回すとズーム枠が右に移動します。左に回すとズーム枠が左に移動します。
- シャトルダイヤルを右に回すと、上下動切り換えになります。ジョグダイヤルを右に回すとズーム枠が下に移動し、左に回すと上に移動します。
  映像を拡大したい位置へズーム枠を移動させてください。

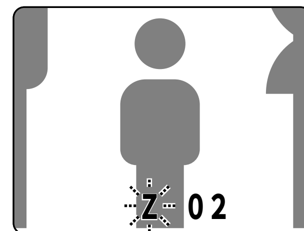





**5** **再度カメラ選択ボタン2を押す**

移動したズーム枠内の映像がズーム画になります。



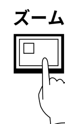



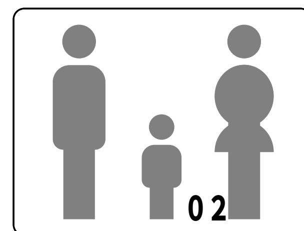

メモ

**ズーム画で一時停止ボタンを押すと、ズーム画の静止画になります。**

**6** **ズーム画を通常の映像に戻すときは再度、ズームボタンを押す**

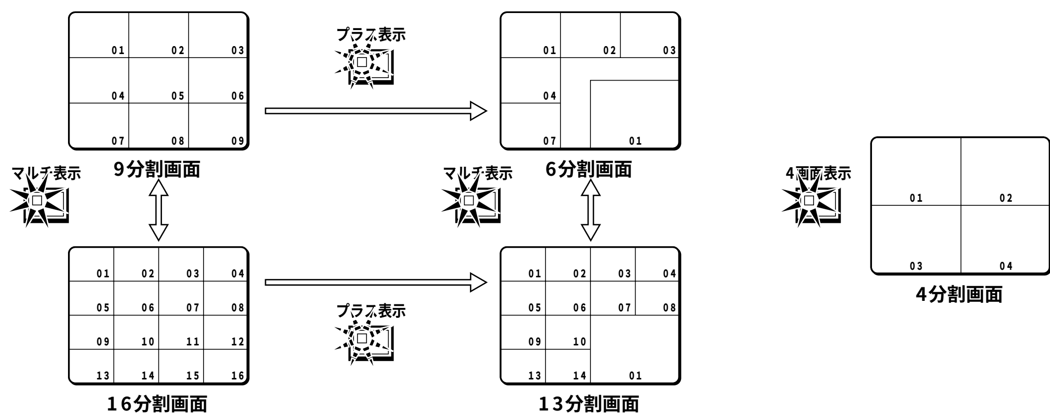
ズーム画が解除され通常映像に戻ります。



## ■多画面表示で見る場合

**接続しているカメラの映像を分割画面で表示することができます。また、各カメラの分割画面上の映像をお好みの位置に並べ換えることもできます。(☞ P82)**

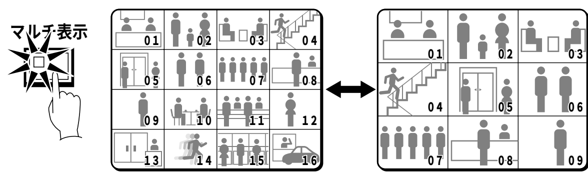



### 9、16分割画面で見る

**1 マルチ表示ボタンを押す**

ボタンを押すごとに16分割画面と9分割画面が切り換わります。1画面に戻すときはカメラ選択ボタンを押してください。

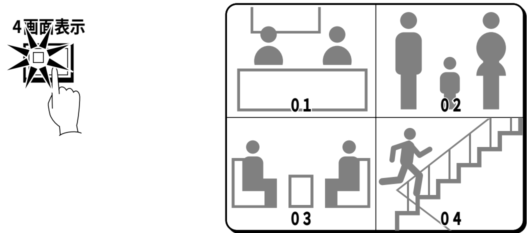
**品番 VDH-F900は9分割画面のみで画面の切り換えはできません。**




### 4分割画面で見る

**1 4画面表示ボタンを押す**

4分割画面になります。

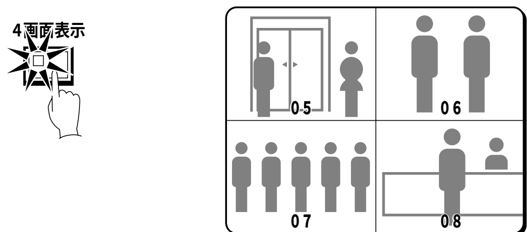



**2 再度、4画面表示ボタンを押す**

ボタンを押すごとにカメラ映像が4分割画面単位（1～4、5～8、9～12、13～16）で切り換わります。

1画面に戻すときはカメラ選択ボタンを押してください。

**品番 VDH-F900はボタンを押すたびに4分割画面（1～4、5～8、9～3）が切り換わります。**



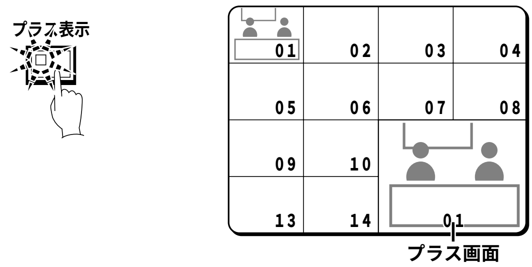

### プラス画面で見る

**プラス画面は各カメラ映像を画面の右下1/4の位置に1画面で表示します。また、録画した映像を同じ位置で再生できます。**

**1 プラス表示ボタンを押す**

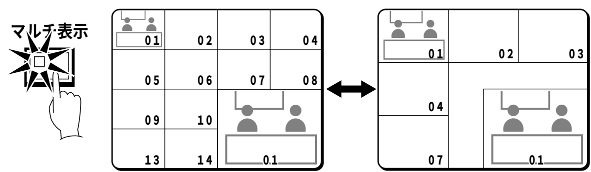
13分割画面の右下1/4画面がプラス画面になります。

**品番 VDH-F900は6分割画面になります。**




**2 マルチ表示ボタンを押す**

ボタンを押すごとに13分割と6分割が切り換わります。

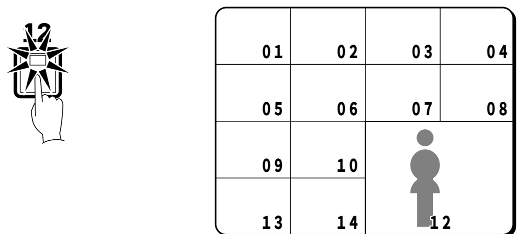



**3 カメラ選択ボタン（例：12）を押す**

選択したカメラの映像がプラス画面に表示します。

プラス画面の解除は、再度プラス表示ボタンを押します。

**品番 VDH-F900はカメラ選択ボタン9以内を押してください。**

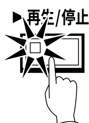


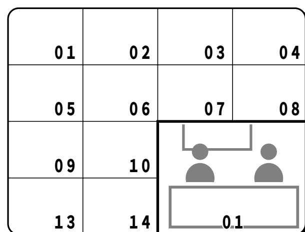
**例　プラス画面をカメラ2の録画した映像にする**

**あらかじめハードディスクに映像を録画しておいてください。（☞ P22）**

### 1　再生/停止ボタンを押す

すべての画面が再生状態になります。

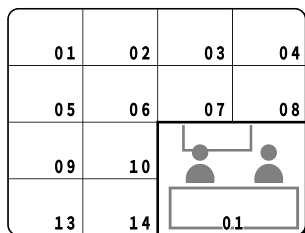



### 2　プラス表示ボタンを押す

プラス画面が表示します。

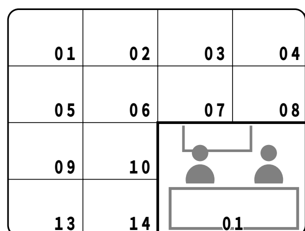



### 3　再度、プラス表示ボタンを押す

プラス画面は、再生状態のままで他の分割画面が監視映像になります。

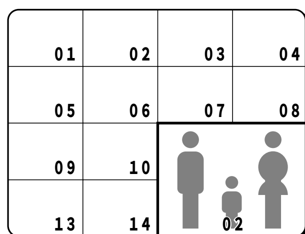



### 4　カメラ選択ボタン2を押す

プラス画面はカメラ2の録画した映像に切り換わります。



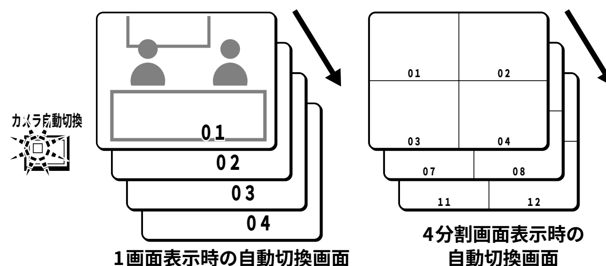

**メモ**

- **録画と再生の詳しい説明については（☞ P22、26）をご覧ください。**
- **再生をやめるときは、再度、再生/停止ボタンを押してください。プラス画面に戻ります。**

## ■自動切換表示で見る場合

**「自動切換」で設定した順番で、カメラ映像を自動的に切り換えて表示します。（☞ P83）**

**注意：再生中は、自動切換表示できません。**

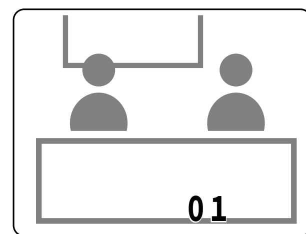



## 1画面ずつ自動切換で見る

### 1　1画面表示して、自動切換を始めたいカメラ番号（例：1）を押す

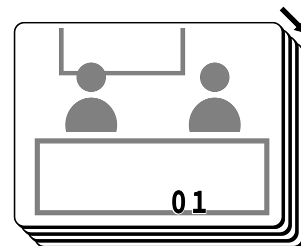
押したカメラ選択ボタンは記憶されます。
次のボタンを押すと、押したランプが点灯します。




### 2　カメラ自動切換ボタンを押す




### 3　自動切換状態をやめるときは、カメラ自動切換ボタンを押すか、個別のカメラ選択ボタンを押す

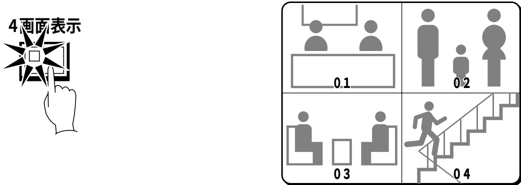
自動切換が解除され通常映像に戻ります。



## 4分割画面を自動的に切り換える

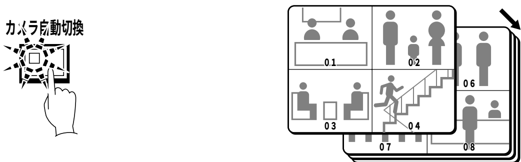
**1** **4画面表示ボタンを押す**

4分割画面になります。




**2** **カメラ自動切換ボタンを押す**

カメラ映像が4分割画面単位（1〜4、5〜8、9〜12、13〜16）で自動的に切り換わります。
**品番 VDH-F900はカメラ1〜4、5〜8、9〜3が自動的に切り換わります。**




**3** **4分割画面に戻すには再度、カメラ自動切換ボタンを押す**

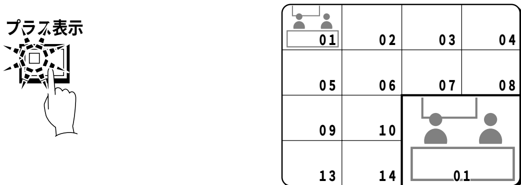
自動切換が解除され4分割画面に戻ります。




## プラス画面を自動的に切り換える

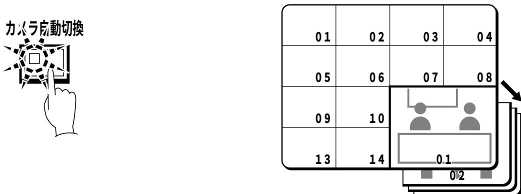
**1** **プラス表示ボタンを押す**

プラス画面が表示します。




**2** **カメラ自動切換ボタンを押す**

プラス画面のカメラ映像が自動的に切り換わります。




**3** **プラス画面に戻すときは再度、カメラ自動切換ボタンを押す**

自動切換が解除されプラス画面に戻ります。
プラス画面の解除は、再度プラス表示ボタンを押します。



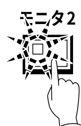
## ■2台のモニタで監視する

後面パネルのモニタ2出力端子にモニタを接続すると、メインモニタがカメラ映像の分割画面で表示中でもモニタ2には各カメラ映像を1画面や自動切換画面で表示させることができます。また、再生動作中のカメラ映像を1画面で表示したり、アラームが入ったカメラ映像を自動的にモニタ2に表示することもできます。初期設定は、1画面の自動切換画面です。

### モニタ2の設定を変更する

**モニタ2ボタンを押す**

モニタ2ランプが点灯します。

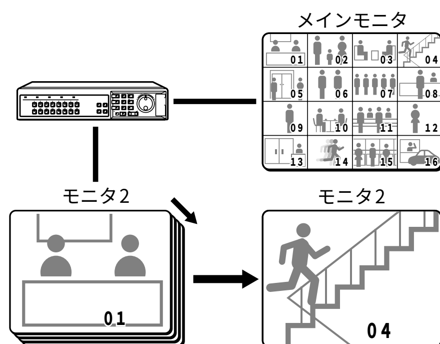



### モニタ2をカメラ4の1画面にする

**カメラ選択ボタン4を押す**

カメラ4の映像がモニタ2に1画面で表示します。



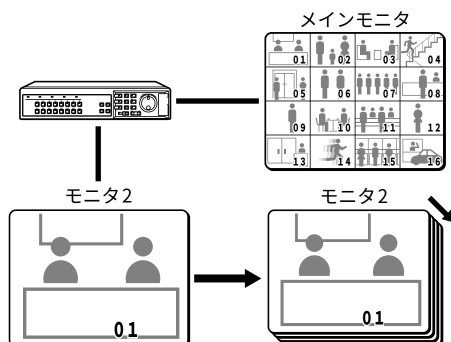




### モニタ2を1画面から自動切換画面にする

**カメラ自動切換ボタンを押す**

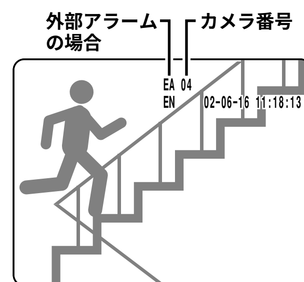
モニタ2のカメラ映像が自動的に切り換わります。
自動切換画面の解除は、再度自動切換ボタンを押します。




### アラームの映像をモニタ2で1画面表示する

**アラームが入るとモニタ2に1画面でアラーム映像が表示します。**

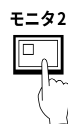



注意：モニタ2にアラーム映像を表示させる場合は、〈アラームオペレーション設定〉の「モニタ2表示」の設定を"入"にしてください。(☞ P67)

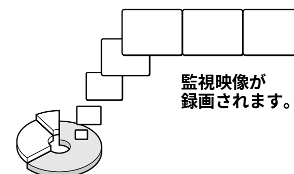
### モニタ2の設定変更を終了する

**再度、モニタ2ボタンを押す**

モニタ2のランプが消灯します。



# 通常記録領域に録画する

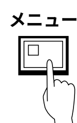



## ■通常録画

**監視中の映像を通常記録領域に録画することができます。**
**本機は時刻の設定をされていないと録画することができません。必ず時刻の設定をしてください。(☞ P46)**

### 1 時計を設定する

メニュー画面で、日付・時刻の設定をおこなってください。設定後、終了/画面表示ボタンを押すと操作表示部に日付と時刻が表示されます。(☞ P46)







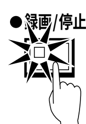
**メモ**

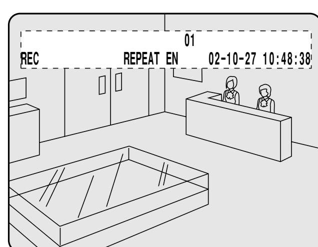
**メニュー画面で「プログラム記録設定」の設定をすると、各カメラ映像をプログラム録画することができます。(☞ P56)**

### 2 録画/停止ボタンを押す

操作表示部にREC(録画マーク)が表示し、通常記録領域に監視映像が録画されます。ハードディスクには自動的(初期設定)に次の様な設定で録画されます。長時間録画から高画質録画まで5段階の設定ができます。(☞ P55)

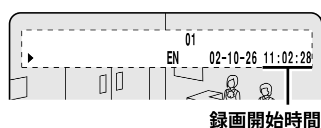
- **ハードディスクの記録領域：**
  通常記録領域80%
  アラーム記録領域19%
  バックアップ領域1%
- **画質：**EN(準高画質)
- **録画スピード：**10FPS(67H)




**メモ**

**録画中に再生することができます。録画中に再生/停止ボタンを押すと、操作表示が▶になり、録画した開始点から映像が再生されます。**




録画開始時間

### 3 録画/停止ボタンを約3秒間押す

操作表示の「REC」が消えて、録画が終了します。

●録画/停止

橙→消灯

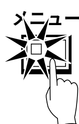
操作

## ■タイマー録画

**曜日ごとに録画開始時間と録画終了時間を設定すると、自動的に監視映像を録画することができます。**

### 1 ① 時計を設定する

メニュー画面で、日付・時刻の設定をおこなってください。設定後、終了/画面表示ボタンを押すと操作表示部に日付と時刻が表示されます。(☞ P46)







**② タイマーを設定する**

- メニュー画面で「タイマー設定」を表示させて、タイマー録画の開始時間と終了時間などの設定をおこなってください。(☞ P57)
- 設定終了後、終了/画面表示ボタンを押すと通常の画面に戻ります。

〈タイマー設定〉

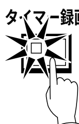
| 曜日 | 開始 | 終了 | プログラム | FPS | 入/切 |
|---|---|---|---|---|---|
| [日] | --:-- | --:-- | 切 | 10 | 切 |
| [月] | 08:00 | 18:00 | 切 | 10 | 入 |
| [火] | 08:00 | 18:00 | 切 | 10 | 入 |
| [水] | 08:00 | 18:00 | 切 | 10 | 入 |
| [木] | 08:00 | 18:00 | 切 | 10 | 入 |
| [金] | 08:00 | 18:00 | 切 | 10 | 切 |
| [土] | --:-- | --:-- | -- | 10 | 切 |
| 毎日 | --:-- | --:-- | -- | 10 | 切 |

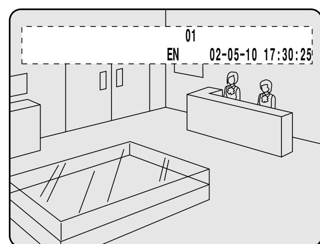
メモ

**メニュー画面で「プログラム記録設定」の設定をすると、各カメラ映像をプログラム録画することができます。(☞ P56)**

### 2 タイマー録画ボタンを押す

タイマー録画ランプが点灯して、タイマー録画待機状態になります。



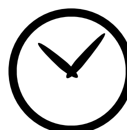



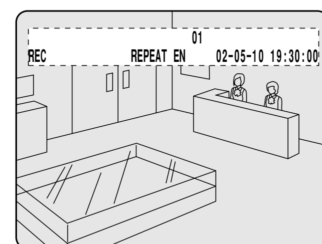

**注意：**
- **タイマー設定の「入/切」を“ 入 ”に設定していない場合やタイマー設定が正しく設定されていない場合は、タイマー録画ボタンを押すとアラーム音が鳴ります。**
- **タイマー予約が正しく設定されていると、タイマー録画ランプが点灯します。**
- **タイマー予約した時間になると、タイマー録画ランプと録画/停止ランプが点灯してタイマー録画を開始します。**
- **タイマー録画中にタイマー録画ボタンを押すと、タイマー録画ランプと録画/停止ランプが消えて、タイマー録画が終了します。**

### 3 タイマー設定した時間になるとタイマー録画を開始する

操作表示にRECが表示し、通常記録領域に監視映像が録画されます。ハードディスクには自動的（初期設定）に次の様な設定で録画されます。長時間録画から高画質録画まで5段階の設定ができます。(☞ P55)

- **ハードディスクの記録領域：**
  通常記録領域80%
  アラーム記録領域19%
  バックアップ領域1%
- **画質：**EN（準高画質）
- **録画スピード：**10FPS（67H）






メモ

**録画中に再生することができます。録画中に再生/停止ボタンを押すと、操作表示が ▶ になり、録画した開始点から映像が再生されます。**

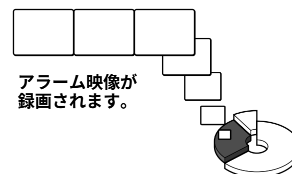
### 4 タイマー終了時間になるとタイマー録画が終了する

タイマー録画ランプが消灯して、録画マーク（REC）が消え、録画が終了します。

**注意：タイマー録画を途中でやめるときはタイマー録画ボタンを押してください。タイマー録画が終了します。**

操作

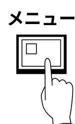
# アラーム記録領域に録画する




## ■アラーム録画

**1** **① 時計を設定する**

メニュー画面で、日付・時刻の設定をおこなってください。設定後、終了/画面表示ボタンを押すと操作表示部に日付と時刻が表示されます。(☞ P46)

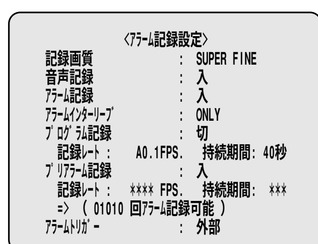






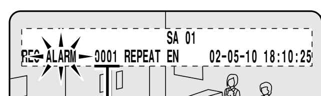
**② アラーム録画を設定する**

- メニュー画面で〈アラーム記録設定〉を表示させて、「アラーム記録」(入、タイマー中アラーム、タイマー外アラーム、タイマー中アラームのみ)と「アラームトリガー」の設定をおこなってください。(☞ P60)
- 終了/画面表示ボタンを押すと通常の画面に戻ります。




**2** **不審者の検知**

アラームが入ると、操作表示部の“ ALARM ”が点滅してアラーム録画(REC表示)になります。
アラーム記録領域にアラーム映像が録画されます。また、アラームが入るたびに操作表示のアラーム回数がカウントされます。
(※アラームが入っても本機前面パネルのアラームランプは点滅しません。)



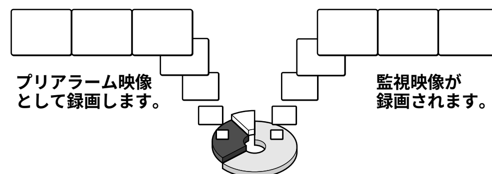

アラーム回数がカウントされます

**メモ**

- **通常録画中やタイマー録画中にアラームが入ると通常録画やタイマー録画は中止します。**
- **16,000件(内蔵ハードディスクが1台の場合。ミラーリング:切でハードディスク2台を内蔵した場合には32,000件)以上のアラーム記録をおこなうう場合には、通常記録領域を0%に設定してください。これにより、アラーム記録領域の許す限りアラーム記録をおこなうことが可能になります。アラーム記録設定画面においてアラームの記録可能件数が表示されます。記録可能件数が、100,000以上の場合には“ 99999 ”の表示になります。この件数は目安であり、アラーム記録中に次のアラームが入った場合には、アラーム記録時間が延長されるので、表示件数より実際の記録件数が少なくなることがあります。また、通常記録領域を0%に設定すると“ アラームサーチ ”、“ アラームサムネイルサーチ ”、“ モーション検出サーチ ”などは使用できません。“ 日時サーチ ”を使用してください。また、アラームスキップ機能も動作しません。早送り・早戻し再生を使用してください。**

**3** **アラーム録画の終了**

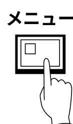
アラーム持続期間(初期設定:5秒)が終了すると操作表示部の「REC」と“ アラーム ”の点滅が終了し、録画が終了します。




## ■プリアラーム録画

**1** **時計を設定する**

メニュー画面で、日付・時刻の設定をおこなってください。設定後、終了/画面表示ボタンを押すと操作表示部に日付と時刻が表示されます。（☞ P46）







**2** **プリアラーム録画を設定する**

メニュー画面で〈アラーム記録設定〉を表示させて、「アラーム記録」（例：入）を設定してください。「プリアラーム記録」の＊＊＊が“ 切 ”になりますので“ 入 ”に切り換えてください。（☞ P63）

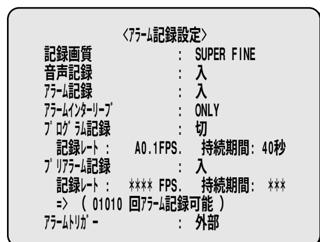
終了/画面表示ボタンを押すと通常画面に戻り操作表示部に“ PRE ”が表示され、プリアラーム録画（RECマークは表示しません）が始まります。

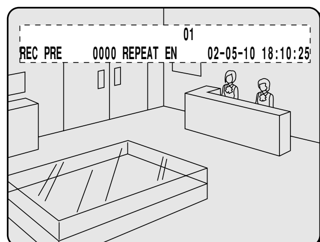
映像は通常記録領域と同じ監視映像をアラーム記録領域にくり返し録画されます。

ハードディスクには自動的（初期設定）に次の様な設定で録画されます。長時間録画から高画質録画まで5段階の設定ができます。（☞ P60）

- **ハードディスクの記録領域：**
  通常記録領域80%
  アラーム記録領域19%
  バックアップ領域1%
- **画質：**EN（準高画質）
- **録画スピード：**10FPS（67H）

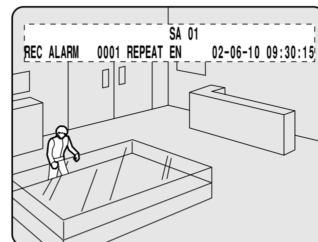



**3** **アラームを受けると、自動的にプリアラーム録画を終了してアラーム映像を録画する**

操作表示部の“ PRE ”が消えて“ ALARM ”表示の点滅になります。



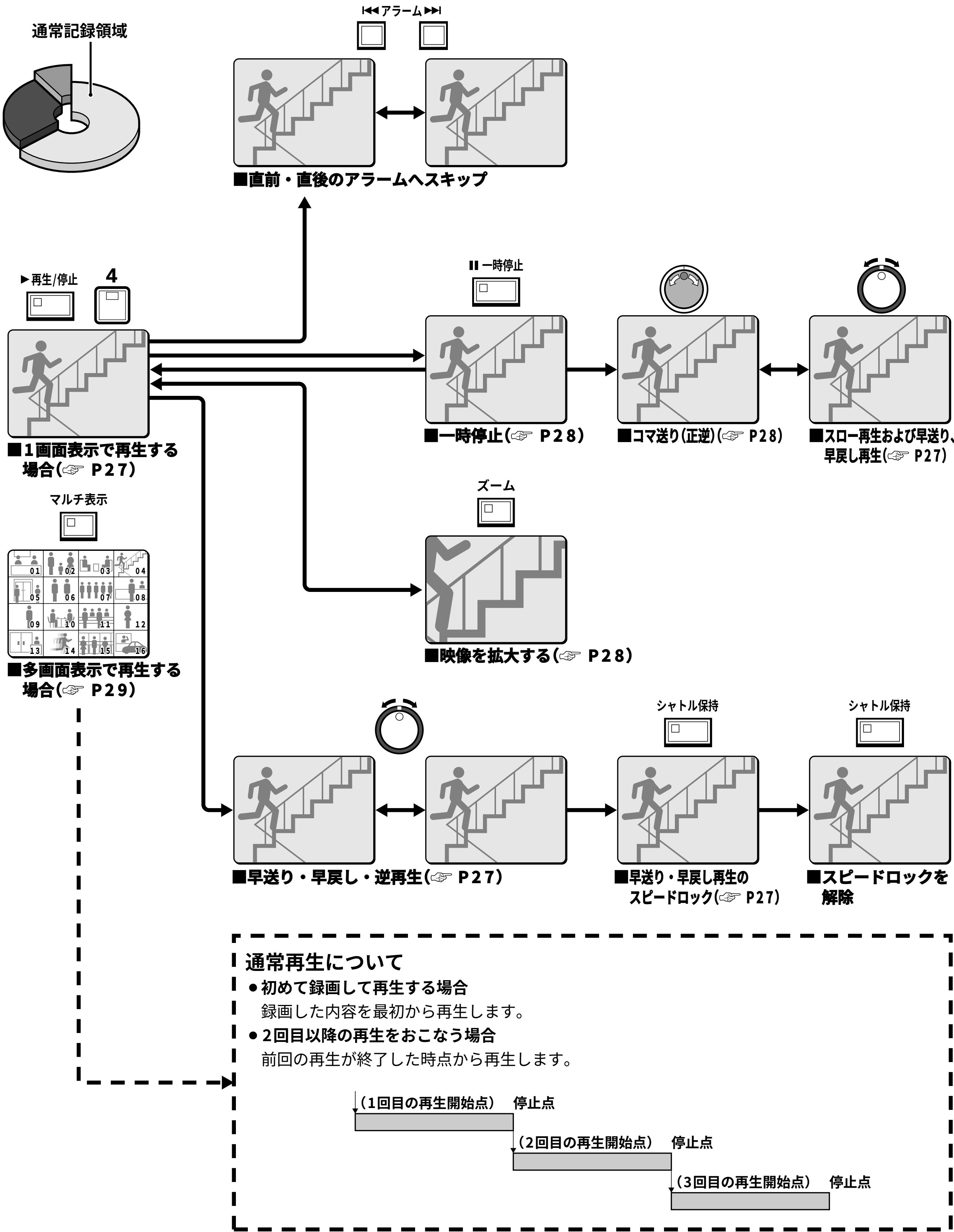

操

作

# 録画した映像を再生する

**録画した映像を1画面または多画面表示で再生します。**

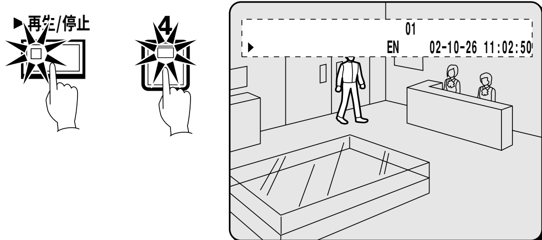
## 再生時の操作



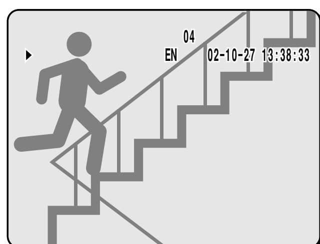
## ■1画面表示で再生する場合

**1** **再生/停止ボタンを押す**

操作表示部に ▶ が表示し、通常記録領域に記録された映像を再生します。カメラ選択ボタンで再生させたいカメラ映像を選択できます。




▼

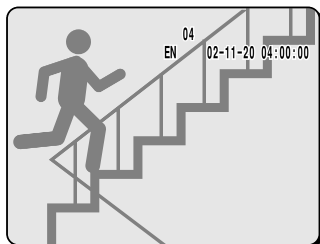



**注意：**
- **映像の再生は録画を開始した位置（時間）から再生します。録画を開始した位置がない場合やリセットされた場合は、もっとも古い録画映像から再生します。**
- **再生が終わると自動的に再生一時停止になります。操作表示部には停止中（ II ）表示となり一時停止ランプが点灯します。**
- **一度でも再生をおこなうと、最後に再生した位置から再生が始まります。**

**2** **再度、再生/停止ボタンを押す**

再生が終了します。



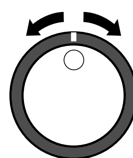



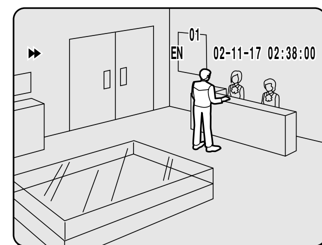

**注意：録画している付近を再生すると、記録を優先とした処理をおこなっているため再生画像が一時的に静止画になることがあります。**

## 早送り、早戻し、逆再生をするときは

**1** **「再生中」に、シャトルダイヤルを右（または左）へ回す**

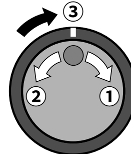
シャトルダイヤルを右に回すと操作表示に ▶▶ が表示し、早送りします。左に回すと操作表示に ◀◀ が表示し、早戻しになります。
シャトルダイヤルを離すと通常の再生になります。





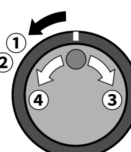

**注意：早送りは最高70倍速程度、早戻しは最高50倍速程度の速度となります。実際の速度は、記録画質などの記録条件によって変化します。**

**2** **再生中のスピードを変更する**



**（早送り・スロー再生）**

①ジョグダイヤルを右に回す
早送りになり操作表示部は ▶▶ 表示になります。
②ジョグダイヤルを左に回す
スロー再生になり操作表示部は II▶ 表示になります。
③通常再生に戻す
ジョグダイヤルを右に回して ▶ 表示にしてください。



**（早戻し再生）**

①シャトルダイヤルを少し左に回す（早戻し固定）
◀ 表示になりますので、シャトル保持ボタンを押してください。
シャトル保持ランプが点灯して、逆戻し再生スピードが固定されます。
②シャトルダイヤルをさらに左に回す
通常の早戻し再生より早くなります。操作表示部は ◀◀ 表示になります。
③ジョグダイヤルを右に回す
▶▶ 表示になります。
④通常再生に戻す
ジョグダイヤルを左に回して ▶ 表示してください。

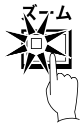


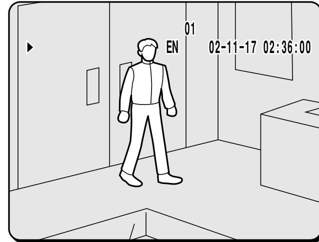

操作

## 再生中の映像を拡大するときは

**1** **「再生中」に、ズームボタンを押す**

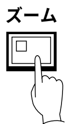
映像がズーム画になります。

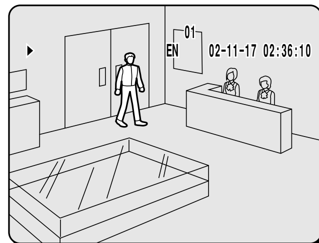


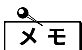




**2** **ズーム画を通常の映像に戻すときは再度、ズームボタンを押す**

ズームが解除され通常映像に戻ります。



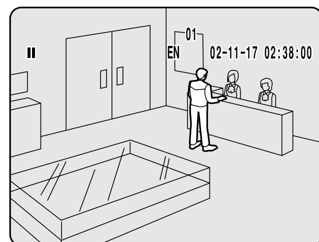

**ズーム位置を変更することができます。操作方法は「映像を拡大して見る」をご覧ください。（☞ P17）**

## 静止画で見るときは

**1** **「再生中」に、一時停止ボタンを押す**

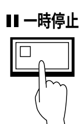
操作表示部に ⅠⅠ が表示し、映像が静止画になります。

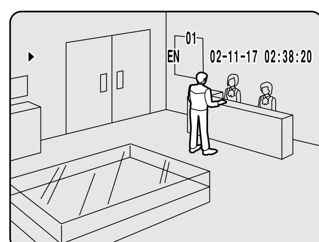



**2** **再度、一時停止ボタンを押す**

静止画が中止します。

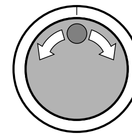


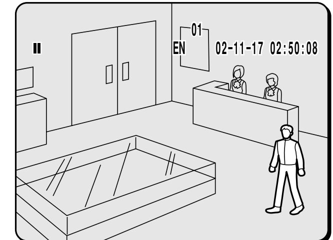



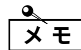

## コマ送り（正逆）するときは

**1** **「静止画中」に、ジョグダイヤルを右（または左）へ回す**

ジョグダイヤルを右に回すと静止画が1コマ（1フィールド）進みます。
左に回すと静止画が1コマ（1フィールド）戻ります。






**ジョグダイヤルを早く回すとコマ送り速度も上がります。ただし、早すぎると映像が停止します。適度な早さで再生してください。**

**下記の操作中は映像が乱れたり、一時的に映像が止まったように見えますが不良ではありません。**

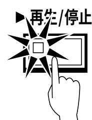
- **通常記録領域とアラーム記録領域を連続して再生する場合、各記録領域の切り換わり時に画像が乱れる場合があります。**
- **アラーム記録中の再生や通常記録領域とアラーム記録領域の連続再生中に、通常再生や早送り・早戻し再生をおこなうと、映像が止まったように見える場面があります。**

操作

## ■多画面表示で再生する場合

**録画した映像を分割画面で再生することができます。また、分割画面上の映像をお好みの位置に並べ換えることもできます。****（☞ P82）**

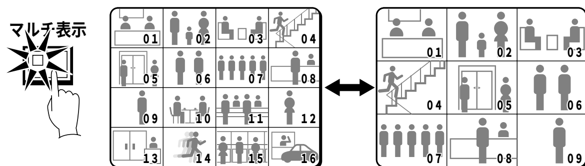
**1　再生/停止ボタンを押す**




### 9、16分割画面で再生する

**1　マルチ表示ボタンを押す**

ボタンを押すごとに16分割画面と9分割画面が切り換わります。1画面に戻すときはカメラ選択ボタンを押してください。
**品番 VDH-F900は9分割画面のみで画面の切り換えはできません。**

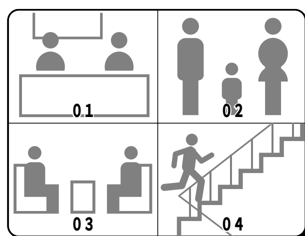



### 4分割画面で再生する

**1　4画面表示ボタンを押す**

4分割画面になります。

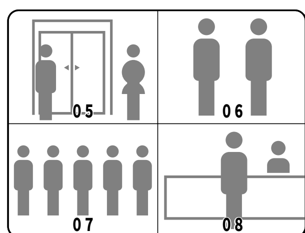



**2　再度、4画面表示ボタンを押す**

ボタンを押すごとにカメラ映像が4分割画面単位（カメラ1～4、5～8、9～12、13～16）で切り換わります。
1画面に戻すときはカメラ選択ボタンを押してください。
**品番 VDH-F900はボタンを押すたびに4分割画面（1～4、5～8、9～3）が切り換わります。**



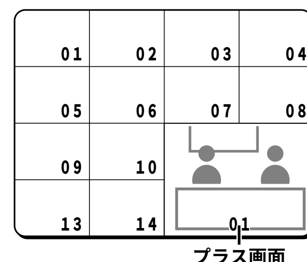




### 13分割、6分割画面で再生する（プラス画面）

**1　プラス表示ボタンを押す**

13分割または6分割画面の右下1/4画面がプラス画面になります。

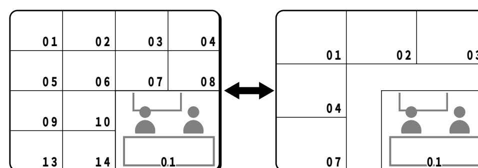



**2　マルチ表示ボタンを押す**

ボタンを押すごとに13分割と6分割が切り換わります。
**品番 VDH-F900は6分割画面のみで画面の切り換えはできません。**

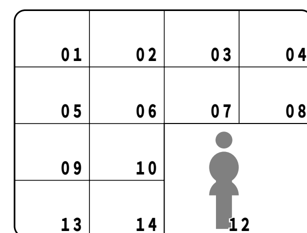



**3　カメラ選択ボタン（例：12）を押す**

選択したカメラの再生映像がプラス画面に表示します。
プラス画面の解除は、再度プラス表示ボタンを押します。
**品番 VDH-F900はカメラ選択ボタン9以内を押してください。**

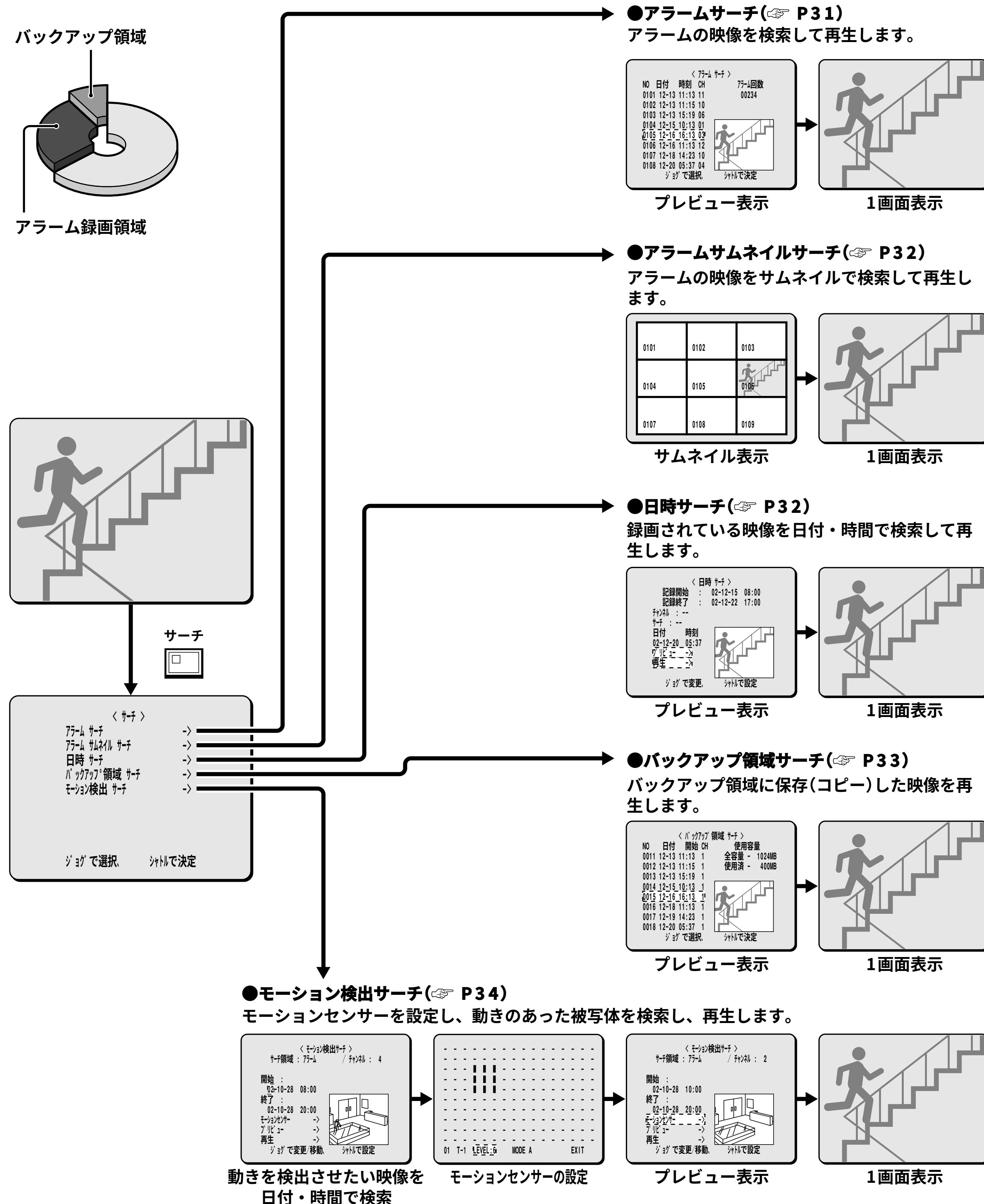



操作

# 録画した映像を検索する

アラーム記録領域やバックアップ領域に録画されている映像を再生します。また、日付・時間で録画されている映像の検索や、再生中の映像をセンサー検知により動きのあった被写体を検索することができます。

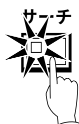


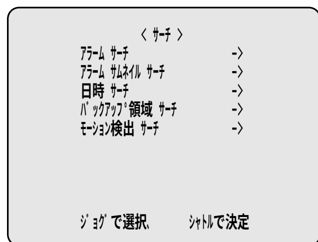
## アラームサーチ

**アラーム記録領域に記録されている全てのアラーム映像を検索して再生します。プリアラームの映像を録画している場合は、アラームの直前の映像も再生できます。**

**1** **「録画中または停止中」に、サーチボタンを押す**

〈サーチ〉画面が表示します。

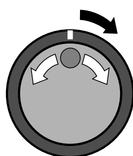



**2** **ジョグダイヤルで「アラームサーチ」を選択し、シャトルダイヤルを右に回す**

〈アラームサーチ〉画面が表示します。

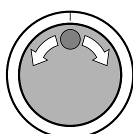
①**NO：**アラームの番号が表示します。
②**日付／時刻：**アラームを受けて録画した映像の日付・時間が表示します。
③**CH：**アラームを受けたチャンネル（カメラ番号）が表示します。
④**アラーム回数：**録画されているアラーム映像の総数を表示します。






**3** **ジョグダイヤルでカーソルを移動させ、再生したい映像を選択する**

選択したアラーム映像がプレビュー画面に表示します。



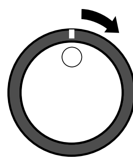


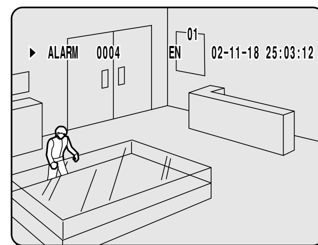

**メモ**

- **〈アラームサーチ〉画面で表示できるアラームの情報は8件までです。ジョグダイヤルを回すと前後のアラーム画面を見ることができます。**
- **本サーチモードを終了するときは、サーチボタンを押してください。**
- **探したいアラーム日時が離れている場合は、正または逆のアラームスキップボタンを押し続けると、正または逆に5画面分を送り続けることができます。**

**4** **シャトルダイヤルを右に回す**

プレビュー画面を1画面で表示して再生が始まります。






**メモ**

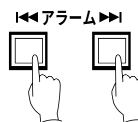
**シャトルまたはジョグダイヤル、各ボタン操作で静止画や早送りなどの操作もできます。**

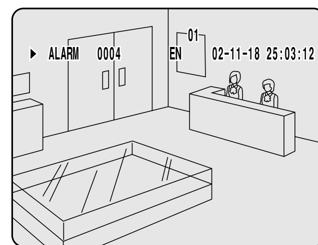
**注意：**
- **アラームサーチはアラームの発生した瞬間の映像から再生しますので、プリアラームの映像を見るときは、シャトル動作で逆再生操作をおこなってください。**
- **アラームサーチでは、1イベントのアラーム映像のみ再生します。再生が終わると停止しますので、次のアラームを再生したいときはアラームスキップボタンを押してください。**

## アラームサーチ2

**1** **「再生中」に、アラームスキップボタンを押す**

- ⏮ ボタンを押すと直前のアラーム映像へスキップします。
- ⏭ ボタンを押すと直後のアラーム映像へスキップします。



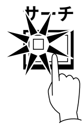

**注意：アラームサーチで再生した場合には、各アラーム記録の先頭および最後で静止画状態になります。アラームスキップボタンで前後のアラームを再生してください。**

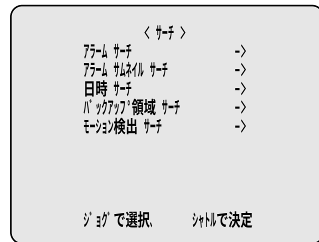
## アラームサムネイルサーチ

**アラームの映像をサムネイルから検索して再生します。アラーム記録領域に記録されている全てのアラーム映像がサムネイル表示されます。**

**1** **「録画中または停止中」に、サーチボタンを押す**

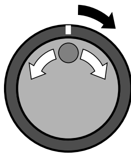
〈サーチ〉画面が表示します。

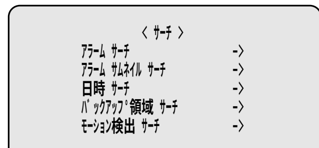


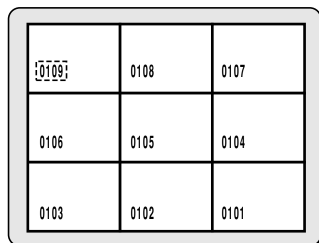




**2** **ジョグダイヤルで「アラームサムネイルサーチ」を選択し、シャトルダイヤルを右に回す**

最新のアラーム映像9件が表示します。
各アラーム映像にはアラーム番号が表示され、選択中のアラーム映像の番号が点滅しています。

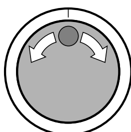


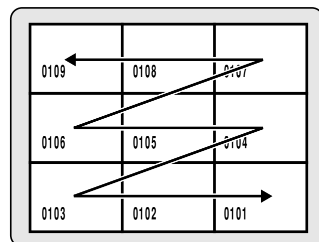



**3** **ジョグダイヤルでカーソルを移動させ、再生したい映像を選択する**

選択されている画像のアラーム番号が点滅します。



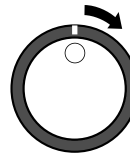


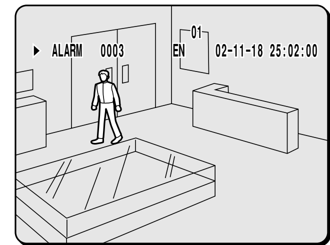

**メ モ**

- **サムネイルで表示できるアラームの情報は9件までです。ジョグダイヤルを回すと前後のアラーム画面を見ることができます。**
- **本サーチモードを終了するときは、サーチボタンを押してください。**

**4** **シャトルダイヤルを右に回す**

選択した映像を1画面で表示して再生が始まります。






**メ モ**

**シャトルまたはジョグダイヤル、各ボタン操作で静止画や早送りなどの操作もできます。**

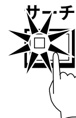
**注意：アラームサーチと同様に各アラーム記録内でしか再生できません。前後のアラームはアラームスキップボタンで再生してください。**

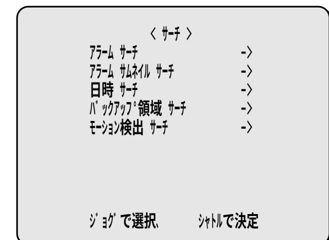
## 日時サーチ

**ハードディスクの通常記録領域（通常録画・タイマー録画の映像）とアラーム記録領域に記録した映像の日付と時間を指定して再生することができます。**

**1** **「録画中または停止中」に、サーチボタンを押す**

〈サーチ〉画面が表示します。

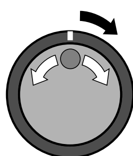


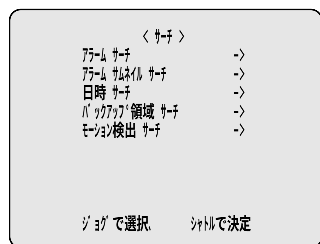



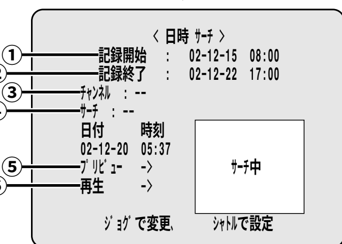
**2** **ジョグダイヤルで「日時サーチ」を選択し、シャトルダイヤルを右に回す**

〈日時サーチ〉画面が表示します。

①**記録開始：**一番最初に録画した映像の日付・時間が表示します。
②**記録終了：**一番最後（最新）に録画した映像の日付・時間が表示します。
③**チャンネル：**再生したいチャンネル（カメラ番号）を入力します。
④**サーチ：**この欄に再生したい日付・時間を入力します。
⑤**プリビュー：**選択するとプレビュー画面が表示します。
⑥**再生：**選択するとモニタに1画面表示します。

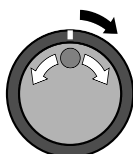


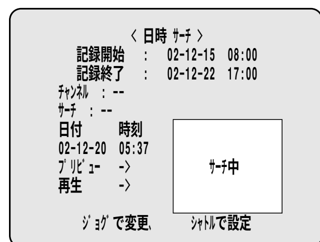



**3** **例：カメラ5の01年10月26日　午後8時を検索する**

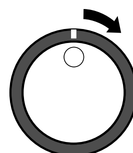
①ジョグダイヤルで「チャンネル」を5に設定してシャトルダイヤルを右に回す。
②シャトルダイヤルを右に回してジョグダイヤルで“ 25 ”を“ 26 ”に変更する。
③シャトルダイヤルを右に回して10を選択する。
④ジョグダイヤルを右に回して01を選択する。
⑤シャトルダイヤルを右に回してジョグダイヤルで“ 08 ”を20に変更する。
⑥シャトルダイヤルを右に回して“ 00 ”を選択してシャトルダイヤルを回す。
カーソルが「プリビュー」に移動しています。

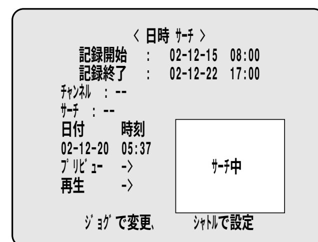





**4** **シャトルダイヤルを右に回す**

検索中は、サーチ表示になり、入力した日付と時間のプレビュー画面を表示します。

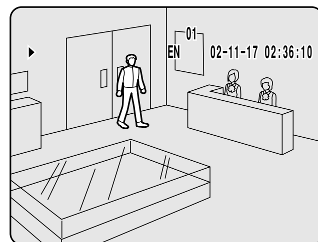





**注意：完全に時刻が一致する画像が無ければ、選択した時間帯にもっとも近い映像が表示されます。**

**5** **ジョグダイヤルで「再生」を選択し、シャトルダイヤルを右に回す**

プレビュー画面が1画面で再生されます。




**メモ**

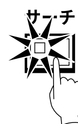
- **プレビュー画面を表示させなくても、日付・時間を入力して「再生」を選択すると1画面で表示させることができます。**
- **シャトルまたはジョグダイヤル、各ボタン操作で静止画や早送りなどの操作もできます。**

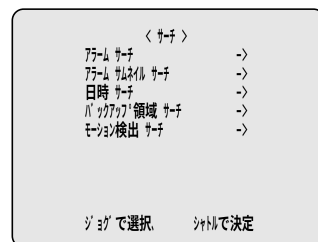
## バックアップ領域のサーチ

**バックアップ領域の映像を再生します。**

**1** **「録画中または停止中」に、サーチボタンを押す**

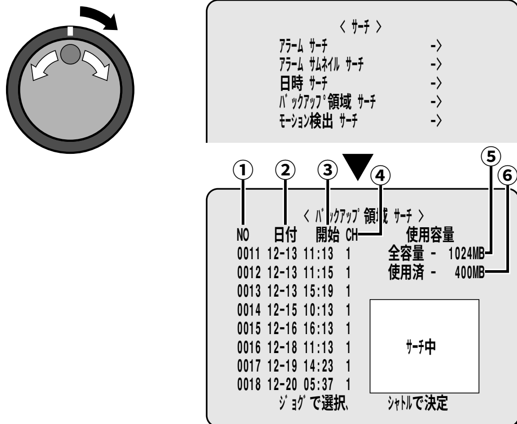
〈サーチ〉画面が表示します。



## 2 ジョグダイヤルで「バックアップ領域サーチ」を選択し、シャトルダイヤルを右に回す

〈バックアップ領域サーチ〉画面が表示します。
①**NO：**バックアップの番号が表示します。
②**日付：**録画した映像の日付が表示します。
③**時刻：**録画した映像の開始時間が表示します。
④**CH：**保存している映像のチャンネル（カメラ番号）が表示します。
⑤**全容量：**バックアップ領域の全容量を表示します。
⑥**使用済：**バックアップ領域の記録済み容量を表示します。




## 3 ジョグダイヤルでカーソルを移動させ、再生したい映像を選択する

選択した映像をプレビュー画面に表示します。

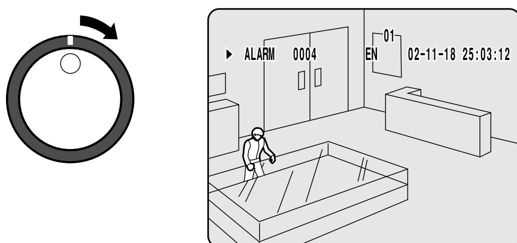



**メモ**

- **バックアップ領域サーチ画面で表示できるリストは8件までです。ジョグダイヤルを回すと前後のバックアップ画面を見ることができます。**
- **本サーチモードを終了するときは、サーチボタンを押してください。**

## 4 シャトルダイヤルを右に回す

選択した映像を1画面で再生します。




**メモ**

**シャトルまたはジョグダイヤル、各ボタン操作で静止画や早送りなどの操作もできます。**

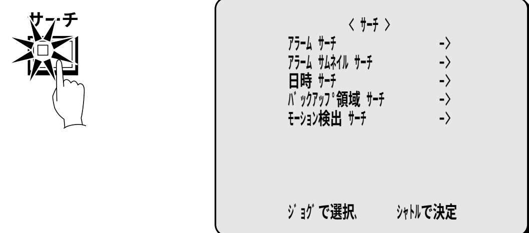
## モーション検出サーチ

**ハードディスクの通常記録領域（通常録画・タイマー録画の映像）またはアラーム記録領域に記録した映像にモーションセンサーを設定すると、侵入者などにより映像に変化があった箇所のみを検出し、再生することができます。**

**注意：カメラ番号（チャンネル）を指定して、そのカメラ映像のみを検出することができます。**

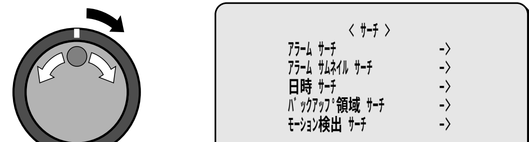
## 1 「録画中または停止中」に、サーチボタンを押す

〈サーチ〉画面が表示します。



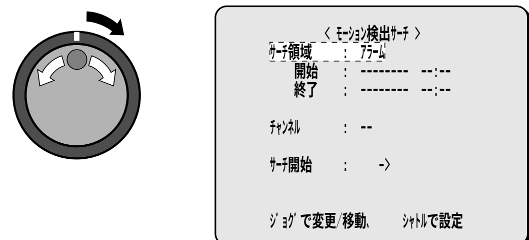

## 2 ジョグダイヤルで「モーション検出サーチ」を選択し、シャトルダイヤルを右に回す

〈モーション検出サーチ〉画面が表示します。




## 3 ジョグダイヤルで「サーチ領域」を選択し、シャトルダイヤルを右に回す

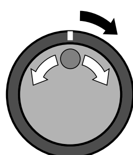
アラーム表示が点滅します。




操作

**4** **ジョグダイヤルでサーチ領域（例：通常）を選択し、シャトルダイヤルを右に回す**

カーソルが「チャンネル」に移動します。



< モーション検出サーチ >
サーチ領域 : 通常
開始 : 10-28-01 08:00
終了 : 10-28-01 20:00
チャンネル : --
サーチ開始 : ->
ジョグで変更/移動、 シャトルで設定

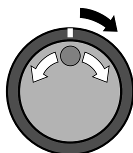
**注意：「映像入力設定」の「フレームスイッチャー」の設定が"なし"の場合は「サーチ開始」にカーソルが移動します。**

**サーチ領域の選択例：**

- **アラーム：**アラーム記録領域の映像のみを検出対象にします。
- **通常：**通常記録領域の映像のみを検出対象にします。
- **アラームと通常：**アラーム記録領域と通常記録領域の両方を検出対象にします。

**5** **シャトルダイヤルを右に回し、ジョグダイヤルでカメラ番号（例：4）を選択して、シャトルダイヤルを右に回す**

カーソルが「サーチ開始」に移動します。



< モーション検出サーチ >
サーチ領域 : 通常
開始 : 10-28-01 08:00
終了 : 10-28-01 20:00
チャンネル : 4
サーチ開始 : ->
ジョグで変更/移動、 シャトルで設定

**6** **シャトルダイヤルを右に回す**

画面が切り換わりカメラ番号4のプレビュー画面が表示されます。

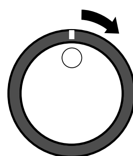
①**開始：**各記録領域に記録された最初の画面の日付と時間を表示します。
モーションセンサーを設定する画面の選択ができます。

②**終了：**各記録領域に記録された最後の日付と時間を表示します。表示する時間には1時間追加されて表示されます。
モーションセンサーを設定する画面の選択ができます。

③**モーションセンサー：**モーションセンサーを表示します。

④**プリビュー：**選択した開始点を表示します。
シャトルダイヤルを右に回すと終了点までの映像を確認できます。

⑤**再生：**選択した映像を1画面表示し、通常再生の画面になります。



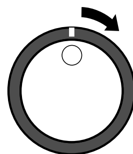
< モーション検出サーチ >
サーチ領域 : 通常
開始 : 10-28-01 08:00
終了 : 10-28-01 20:00
チャンネル : 4
サーチ開始 : ->
ジョグで変更/移動、 シャトルで設定

▼

< モーション検出サーチ >
サーチ領域 : アラーム / チャンネル : 4
① 開始 : 01-10-20 08:00
② 終了 : 01-10-20 10:00
③ モーションセンサー ->
④ プリビュー ->
⑤ 再生 ->
ジョグで変更/移動、 シャトルで設定

**7** **シャトルダイヤルを右に回す**

モーションセンサーを設定する開始の日付・時刻（例：同日の午前10時）をジョグダイヤルで設定して、シャトルダイヤルを右に回してください。
プレビュー画面で指定した時刻の映像になり、カーソルが終了の日付・時刻に移動します。



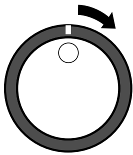
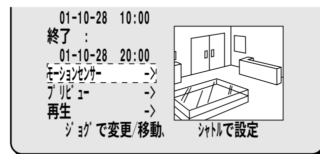
< モーション検出サーチ >
サーチ領域 : アラーム / チャンネル : 4
開始 : 01-10-28 08:00
終了 : 01-10-22 20:00
モーションセンサー ->
プリビュー ->
再生 ->
ジョグで変更/移動、 シャトルで設定

▼

< モーション検出サーチ >
サーチ領域 : アラーム / チャンネル : 4
開始 : 01-10-28 10:00
終了 : 01-10-28 20:00
モーションセンサー ->
プリビュー ->
再生 ->
ジョグで変更/移動、 シャトルで設定

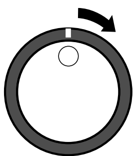
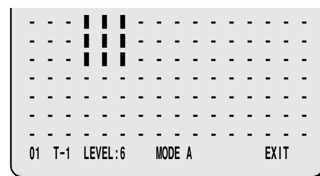
**8** **シャトルダイヤルを右に回す**

モーションセンサーを設定する終点の日付・時刻（例：同日の午後8時）をジョグダイヤルで設定して、シャトルダイヤルを右に回してください。
カーソルがモーションセンサーに移動します。

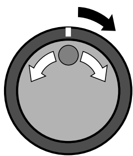
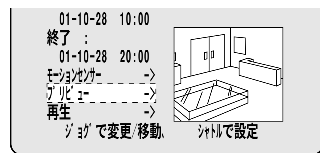

**9** **シャトルダイヤルを右に回す**

モーションセンサー設定画面になります。
動きのある場面を見たい箇所にモーションセンサーを設定してください。
カーソルを「戻る」に移動させてシャトルダイヤルを右に回してください。〈モーション検出サーチ〉の画面に戻ります。
「モーションセンサーの設定」（☞ P68）をご覧ください。


**10** **ジョグダイヤルで「プリビュー」にカーソルを移動させる**

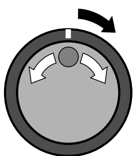
シャトルダイヤルを右に回すたびにモーションセンサーで検出した画面がプレビュー画面に表示します。


**注意：モーションセンサーを設定していない場合は「見つかりませんでした！」表示になりますので必ずモーションセンサー設定をおこなってください。**

**11** **モーションセンサーを1画面で見るときはジョグダイヤルでカーソルを「再生」に移動させてシャトルダイヤルを右に回す**

指定した映像から通常再生になります。



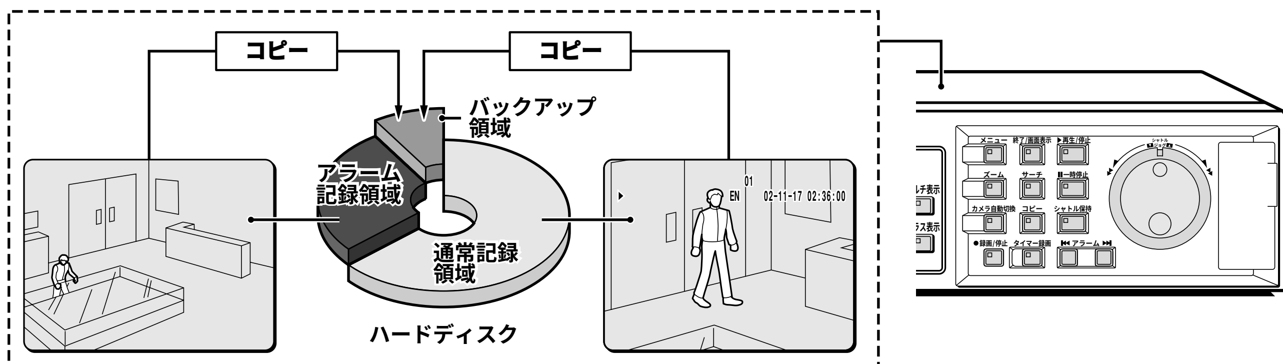
**注意：カメラ番号をチャンネルで指定して「モーション検出サーチ」をおこなった場合は、指定したカメラ番号のみを再生します。また、このときにタイトル情報や日時情報が部分的に表示されないことがあります。すべてのカメラを再生する場合は、一度再生を停止してからもう一度再生をおこなってください。**

操作

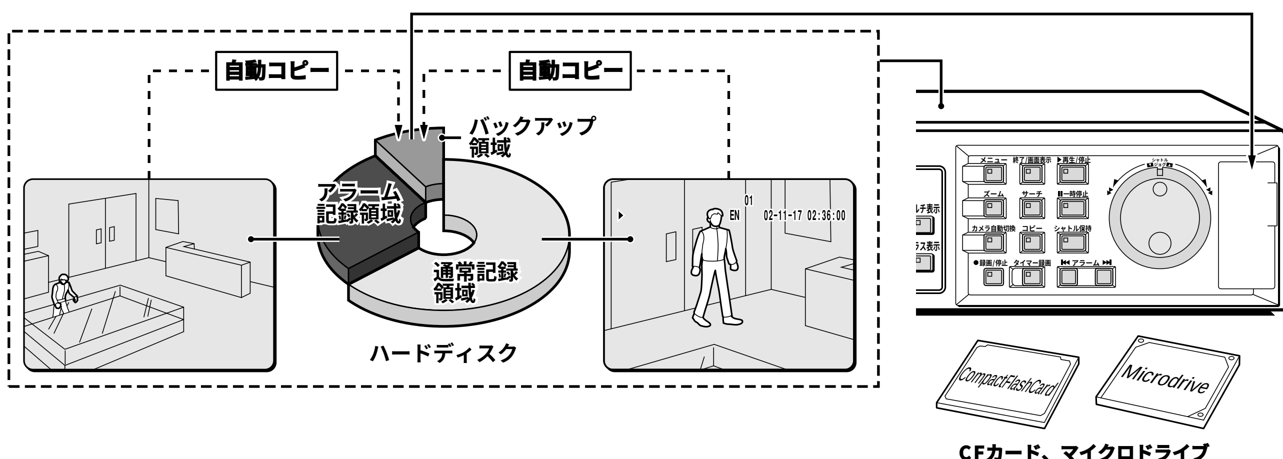
# 録画した映像を保存（コピー）する

**通常記録領域やアラーム記録領域に録画した映像の中から大切な映像のみを本機のバックアップ領域や次の媒体にコピーすることができます。**

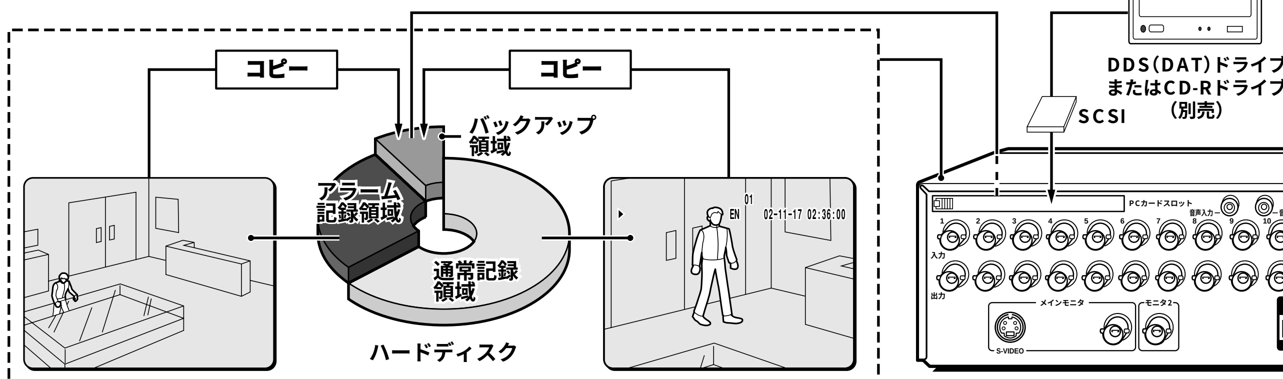
## A ハードディスクのバックアップ領域に映像をコピーする




## B コンパクトフラッシュカードまたはマイクロドライブに映像をコピーする



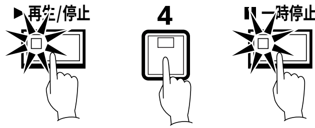

## C バックアップ領域の映像をDDS(DAT)ドライブまたはCD-Rドライブへコピーする




注意：
- コピーする映像は、1枚ずつの画像として保存されます。
- コンパクトフラッシュカードに画像をダウンロードさせる場合は、画像は自動的にバックアップ領域に保存された後、バックアップ領域からコンパクトフラッシュカードにコピーされます。ただし、バックアップ領域には画像は残りません。
- バックアップ領域の画像がいっぱいになった場合は、メニューの〈記録領域設定〉の「バックアップ領域の記録再開許可」で削除してください。

## A ハードディスクのバックアップ領域に映像をコピーする

**1** 通常記録領域の映像やアラーム記録領域の映像を再生してコピーしたい映像で静止画にしてください。(☞ P28)

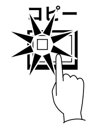



**注意：すべてのカメラ映像（1～16）を一度にコピーすることはできません。必ずコピーしたいカメラ映像をカメラ選択ボタンで選択して再生してください。**

### 例：指定した映像を10秒間分コピーする

**2 コピーしたい「静止画像」で、コピーボタンを押す**

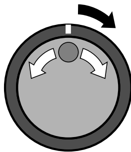
コピー画面が表示します。




ｺﾋﾟｰ先　：　ﾊﾞｯｸｱｯﾌﾟ領域
保存枚数：　20 枚
開始　　->
ｺﾝﾊﾟｸﾄﾌﾗｯｼｭのﾌｫｰﾏｯﾄ　->
ｼﾞｮｸﾞで移動、ｼｬﾄﾙで設定

**3 ジョグダイヤルで「コピー先」を選択し、シャトルダイヤルを右に回す**

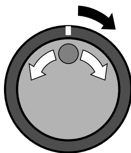
バックアップ領域表示が点滅します。



ｺﾋﾟｰ先　：　ﾊﾞｯｸｱｯﾌﾟ領域
保存枚数：　20 枚
開始　　->
ｺﾝﾊﾟｸﾄﾌﾗｯｼｭのﾌｫｰﾏｯﾄ　->
ｼﾞｮｸﾞで移動、ｼｬﾄﾙで設定

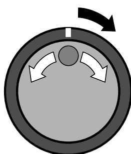
**4 ジョグダイヤルで「バックアップ領域」を選択し、シャトルダイヤルを右に回す**

カーソルが「保存枚数」に移動します。



ｺﾋﾟｰ先　：　ﾊﾞｯｸｱｯﾌﾟ領域
保存枚数：　20 枚
開始　　->

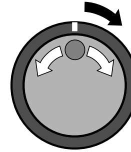
**5 シャトルダイヤルを右に回し、ジョグダイヤルで“10”に設定して、シャトルダイヤルを回す**



**6 ジョグダイヤルで“秒”を選択し、シャトルダイヤルを右に回す**

- **枚：**指定した映像から指定枚数をコピーする
- **秒：**指定した映像から指定秒間をコピーする
- **分：**指定した映像から指定分間をコピーする

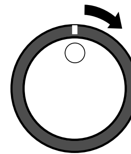
カーソルが「開始」に移動します。



ｺﾋﾟｰ先　：　ﾊﾞｯｸｱｯﾌﾟ領域
保存枚数：　10 枚
開始　　->

**7 シャトルダイヤルを右に回す**

バックアップ領域にコピーが開始します。コピーが終了すると、「コピー終了！」の表示がでます。



ｺﾋﾟｰ先　：　ﾊﾞｯｸｱｯﾌﾟ領域
保存枚数：　10 枚
開始　　->

**注意：コピー中にコピーボタンを押すとコピーが中止します。**

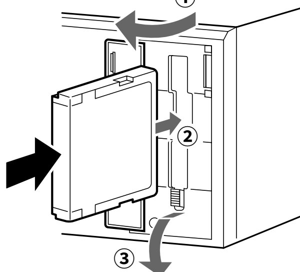
操作

## Ⓑコンパクトフラッシュカードまたはマイクロドライブに映像をコピーする

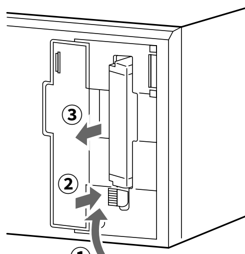
**本機前面パネルのコンパクトフラッシュスロットにコンパクトフラッシュカードまたはマイクロドライブを挿入する**

各カードまたはドライブを挿入するときは、挿入方向を確認してから挿入してください。

（装着）

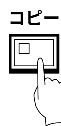


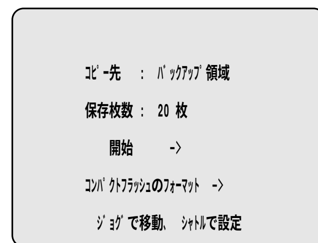

（取出し）




**1** **「バックアップ領域の静止画像」で、コピーボタンを押す**

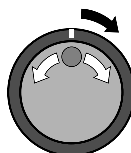
コピー画面が表示します。
バックアップ領域の再生のしかたは（☞ P33）をご覧ください。

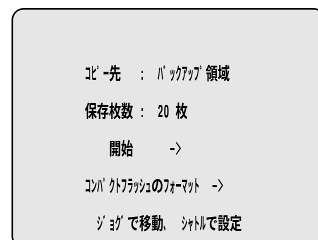



**2** **ジョグダイヤルで「コピー先」を選択し、シャトルダイヤルを右に回す**

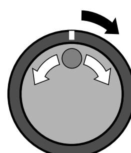
「バックアップ領域」表示が点滅します。

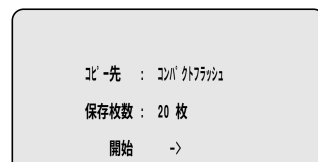





**3** **ジョグダイヤルで「コンパクトフラッシュ」を選択し、シャトルダイヤルを右に回す**

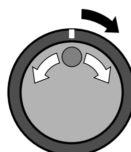
カーソルが「保存枚数」に移動します。

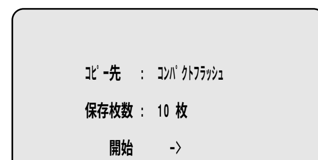





**4** **シャトルダイヤルを右に回し、ジョグダイヤルで“ 10 ”に設定して、シャトルダイヤルを右に回す**

カーソルが“ 枚 ”に移動します。

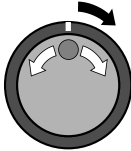
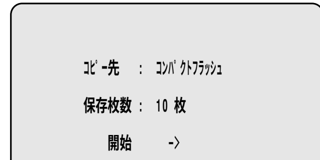





操作

**5** **ジョグダイヤルで“ 秒 ”を選択し、シャトルダイヤルを右に回す**

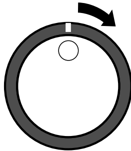
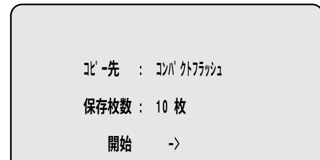
カーソルが「開始」に移動します。
- **枚：**指定した映像から指定枚数をコピーする
- **秒：**指定した映像から指定秒間をコピーする
- **分：**指定した映像から指定分間をコピーする


**注意：**
- **コピー枚数は40000枚まで可能です。40000枚になった時点でコピーを終了します。**
- **アラーム記録をコピーする場合には、アラーム1イベントずつしかコピーできません。**

**6** **シャトルダイヤルを右に回す**

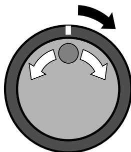
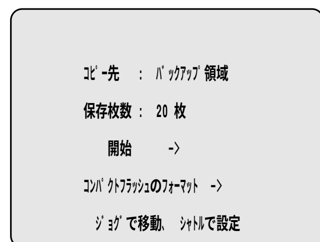
コピーランプが点灯し、「コンパクトフラッシュにコピー中」画面になり、コンパクトフラッシュカードにコピーが開始します。
コピーが終了すると、“ コピー終了 ”と表示します。

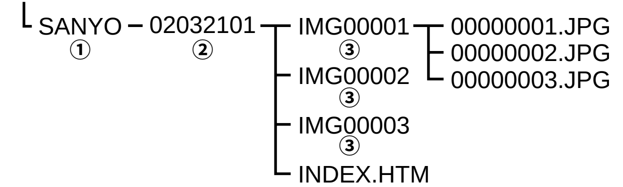

**注意：**
- **通常記録領域、アラーム記録領域の映像を直接コンパクトフラッシュカードにコピーする場合は、同じ映像が一時的にバックアップ領域にもコピーされます。ただし、コピー終了後削除されます。**
- **コピー中にコピーボタンを押すとコピーが中止します。**
- **音声が記録されていれば、映像とともに音声もコピーされます。**

### （コンパクトフラッシュのフォーマット）

「コンパクトフラッシュのフォーマット」を選択すると、コンパクトフラッシュやマイクロドライブをフォーマットします。
FAT16でのフォーマットになります。


### （コンパクトフラッシュ記録領域について）




**①ルートディレクトリの下にフォルダー「SANYO」を作成する。**
**②「SANYO」の下に、コピーした映像の日付でフォルダーを作成する。**
**③日付フォルダーの下に「IMG00001」から始まるサブディレクトリーを作成する。各サブディレクトリーには200枚ずつの画像が保存される。**
**④パソコンで閲覧する場合には、日付フォルダーの下にある「INDEX.HTM」をブラウザー（インターネットエクスプローラー5.0以上）で開いてください。JPEG画像のスライドショーなどの再生ができます。**

**注意：**
- **JPEG画像はフィールド画像となっていますので、通常のimage viewerで見ると縦方向が1/2に圧縮して表示されます。必ずINDEX.HTMファイルで表示してください。**
- **コンパクトフラッシュにコピーした映像は、改竄検出用のコードが埋め込まれているため、改竄検出用のパソコンのアプリケーションで検出ができます。詳しくはお買い上げの販売店にご相談ください。**

## C バックアップ領域の映像をDDS（DAT）ドライブまたはCD-Rドライブへコピーする

### ☞ ドライブへの接続

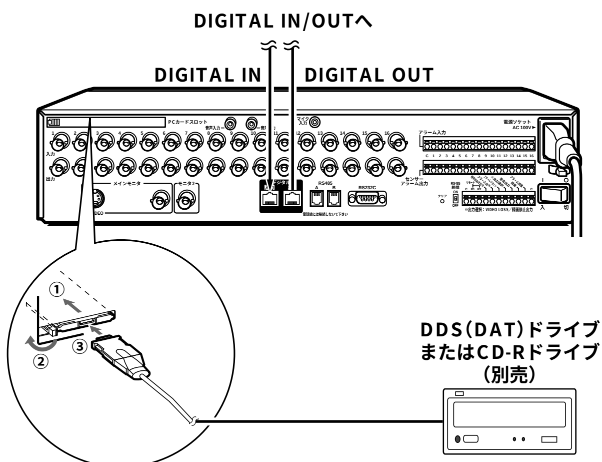
**本機後面部のPCスロットにDDS（DAT）ドライブ接続のSCSIカード（市販）を接続してください。**

バックアップ領域の映像をコピーしたり、DDS（DAT）ドライブに記録した映像をバックアップ領域に読み込むことができます。

●**推奨SCSIカード**
メーカー：ADAPTEC
型番：Slim SCSI 1460

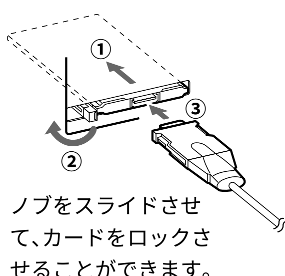
●**推奨DDS（DAT）ドライブDDS-3タイプ**
メーカー：ヒューレットパッカード
型番：Super Store dat 24e

●**推奨CD-Rドライブ**
メーカー：YAMAHA
型番：CRW2200SX-VK、CRW-F1SX



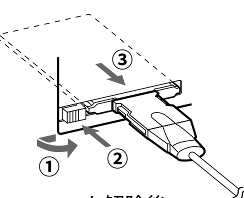

**市販のSCSIカードの取り付けかた**

**（装着）**



ノブをスライドさせて、カードをロックさせることができます。

**（取出し）**



ロック解除後ノブを起こす。

**注意：**
- **PCカードソケットは、16bit 5V専用です。32bit card Busタイプを使用すると本体PCカードソケットが破損する恐れがありますので挿入しないでください。**
- **SCSIカードの挿入方向を確認してから挿入してください。**
- **推奨以外のSCSIカードおよびDDS（DAT）、CD-Rドライブでの動作は保証いたしません。**
- **対応できるCD-RドライブはYAMAHA SCSI CD-R/RWでメディアはCD-Rのみです。CD-RWには対応できません。**

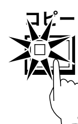
※**DDS（Digital data storage）／DAT（Digital audio tape）**

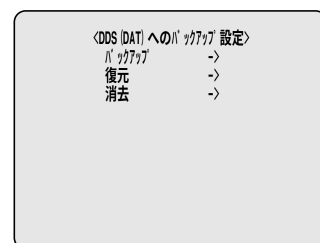
### DDS（DAT）ドライブにバックアップをする

**バックアップ領域の全てのデータをDDS（DAT）ドライブへバックアップします。**

**1 「録画中または停止中」にコピーボタンを押す**

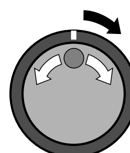
〈DDS（DAT）へのバックアップ設定〉画面が表示します。

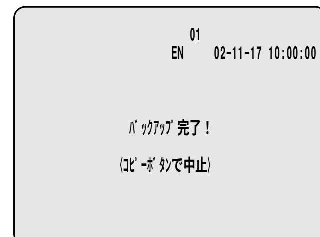



**2 ジョグダイヤルで「バックアップ」を選択し、シャトルダイヤルを右に回す**

「DDS（DAT）にデータをバックアップ中！」を表示してコピーが開始されます。
- コピーを途中で中止するときは再度コピーボタンを押してください。
- コピー終了すると、「バックアップ完了！」と表示されますので、いずれかのボタンを押してください。通常の画面に戻ります。






**注意：**
- **DDS（DAT）ドライブのデータ変換により、変換後のデータサイズが大きくなることがあります。12GBテープに画像をコピーする場合は、10GB程度しかコピーできなくなることがあります。**
- **DDS（DAT）ドライブに10GBの画像をコピーする場合は、約4時間必要です。**

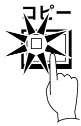
操作

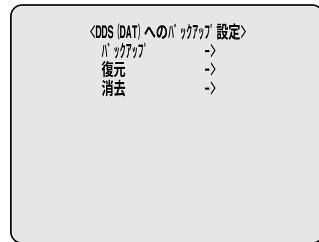
## DDS（DAT）ドライブの画像データをバックアップ領域に読み込む

**注意：読み込みをするとバックアップ領域の映像は全て消去されますので注意してください。**

**1 「録画中または停止中」にコピーボタンを押す**

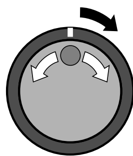
〈DDS（DAT）へのバックアップ設定〉画面が表示します。

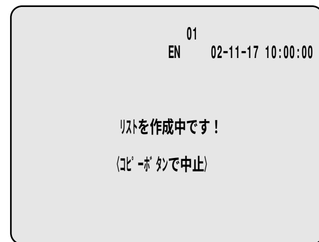



**2 ジョグダイヤルで「復元」を選択し、シャトルダイヤルを右に回す**

「リストを再生中です！」表示になり、終了すると〈DDS（DAT）からの復元〉画面になります。





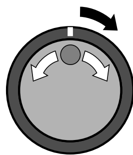

**3 ジョグダイヤルでバックアップ領域に読み込むデータを選択し、シャトルダイヤルを右に回す**

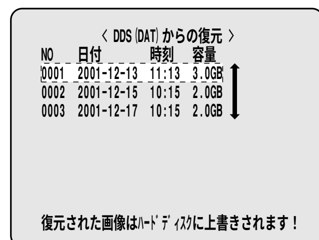
画像データの読み込みが開始され、「DDS（DAT）からデータを復元中！」の画面になります。

DDS（DAT）の映像データがバックアップ領域に読み込まれます。

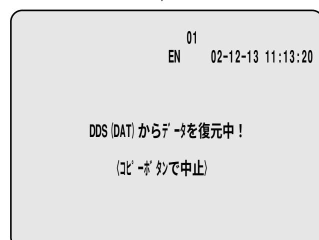
全てのデータがバックアップ領域に読み込まれると、「復元完了！」が表示されます。

バックアップ領域を再生状態にすると、読み込まれた映像データを再生することができます。





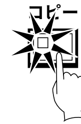

▼

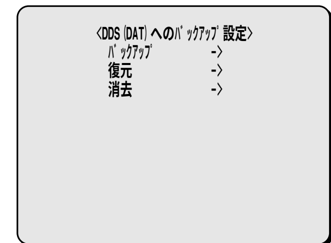



## DDS（DAT）ドライブの画像データを削除する

**1 「録画中または停止中」にコピーボタンを押す**

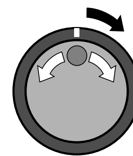
〈DDS（DAT）へのバックアップ設定〉画面が表示します。

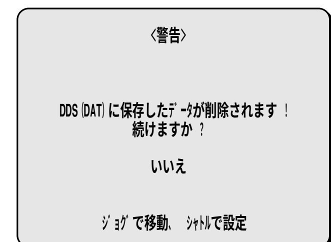



**2 ジョグダイヤルで「消去」を選択し、シャトルダイヤルを右に回す**

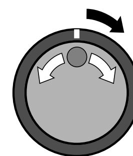
〈警告〉画面が表示します。

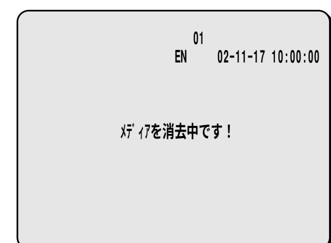





**3 ジョグダイヤルで「いいえ」を「はい」に選択して、シャトルダイヤルを右に回す**

「メディアを消去中です！」画面が表示され、テープのデータ消去が終わると、「消去完了！」が表示されます。



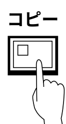



操作

## CD-Rドライブに映像をコピーする

**1** **コピーしたい「バックアップ領域の静止画像」で、コピーボタンを押す**

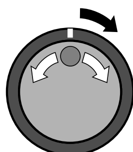
コピー画面が表示します。
バックアップ領域の再生のしかたは（☞ P33）をご覧ください。




ｺﾋﾟｰ先 ： ﾊﾞｯｸｱｯﾌﾟ領域
保存枚数 ： 20 枚
開始 ->
ｺﾝﾊﾟｸﾄﾌﾗｯｼｭのﾌｫｰﾏｯﾄ ->
ｼﾞｮｸﾞで移動、 ｼｬﾄﾙで設定

**2** **ジョグダイヤルで「コピー先」を選択し、シャトルダイヤルを右に回す**

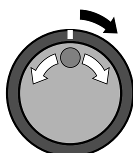
「バックアップ領域」表示が点滅します。



ｺﾋﾟｰ先 ： ﾊﾞｯｸｱｯﾌﾟ領域
保存枚数 ： 20 枚
開始 ->
ｺﾝﾊﾟｸﾄﾌﾗｯｼｭのﾌｫｰﾏｯﾄ ->
ｼﾞｮｸﾞで移動、 ｼｬﾄﾙで設定

**3** **ジョグダイヤルで「CD-R」を選択し、シャトルダイヤルを右に回す**

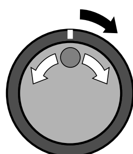
カーソルが「保存枚数」に移動します。



ｺﾋﾟｰ先 ： CD-R
保存枚数 ： 20 枚
開始 ->

**4** **シャトルダイヤルを右に回し、ジョグダイヤルで“ 10 ”に設定して、シャトルダイヤルを右に回す**

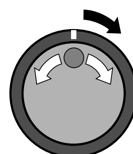
カーソルが“ 枚 ”に移動します。



ｺﾋﾟｰ先 ： CD-R
保存枚数 ： 10 枚
開始 ->

**5** **ジョグダイヤルで“ 秒 ”を選択し、シャトルダイヤルを右に回す**

カーソルが「開始」に移動します。
- **枚：**指定した映像から指定枚数をコピーする
- **秒：**指定した映像から指定秒間をコピーする
- **分：**指定した映像から指定分間をコピーする
- **イベント：**指定した映像から1イベントずつコピーする

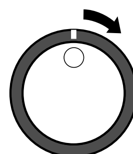


ｺﾋﾟｰ先 ： CD-R
保存枚数 ： 10 枚
開始 ->

**注意：**
- **1回コピーするたびに、1イベントずつ別のグループとしてバックアップ領域にコピーされます。バックアップ領域の容量は、10GBまでの範囲で自由に設定できます。**
- **CD-Rドライブへのコピーは、バックアップ領域の映像のみコピーできます。通常記録領域、アラーム記録領域から直接CD-Rドライブへのコピーはできません。**
- **記録されているイベント時間によっては、指定の設定イベント数がコピーできない場合があります。（最大、約650MBまで）**
- **イベントのみは“ ＞60 ”の表示があり、選択するとCD-Rドライブが一杯になるまで記録を続けます。**

**6** **シャトルダイヤルを右に回す**

コピーランプが点灯し、「CD-Rにコピー中」画面になり、CD-Rにコピーが開始します。
コピーが終了すると、“ コピー終了 ”と表示します。



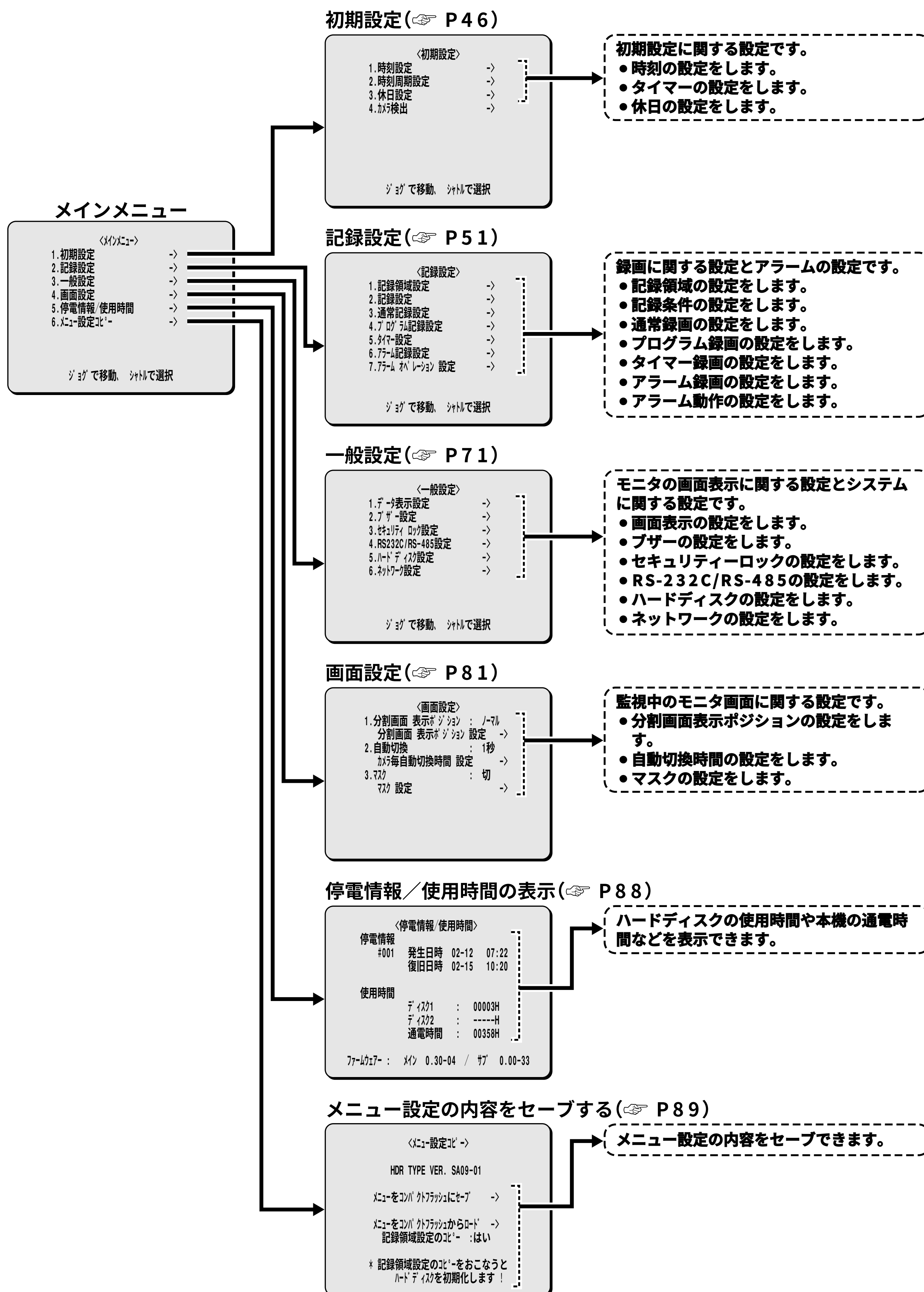
ｺﾋﾟｰ先 ： CD-R
保存枚数 ： 10 枚
開始 ->

**注意：**
- **書き込み速度は、1倍速で約70分以上必要となります。**
- **書き込みは、一般的なファイル形式ではなく、専用のPCアプリケーションソフトが必要です。お買い上げの販売店にお問い合わせください。**
- **コピーしたCD-Rドライブから本体に読み戻すことはできません。また、一度CD-Rドライブにコピーするとディスクがクローズし、再書き込みはできなくなります。**
- **コピー中にコピーボタンを押すとコピーが中止します。**

# メニューの流れとメニューの操作

録画に関する設定やフレームスイッチャー機能に関する設定をします。
各メニュー設定をしていないと録画や監視ができませんので必ず使用状況に応じて設定してください。

## ■メニューの流れ

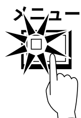


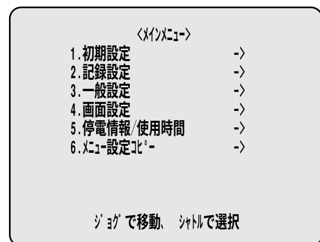

設定

## ■メニュー画面の基本操作

**1　メニューボタンを押す**

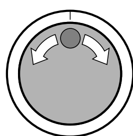
〈メインメニュー〉が表示します。

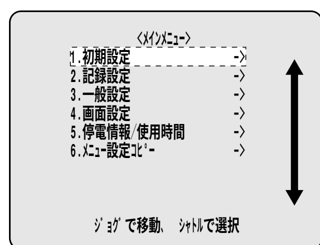



**2　ジョグダイヤルを左右に回してカーソルをメニュー（例：初期設定）に移動させる**

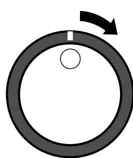
選択項目が反転します。

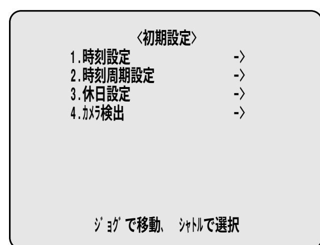





**3　シャトルダイヤルを右に回す**

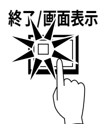
サブメニューが表示します。





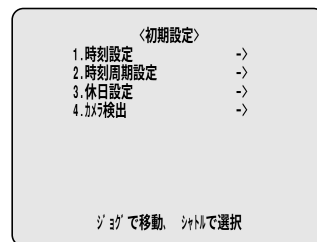

**4　終了/画面表示ボタンを押す**

通常の画面に戻ります。



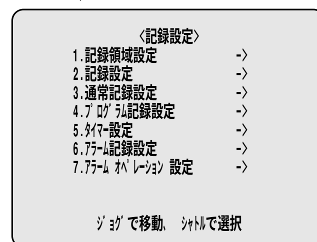

## ■サブメニュー画面表示中の操作

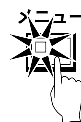
**サブメニュー画面でメニューボタンを押すと、各サブメニュー画面を確認できます。**

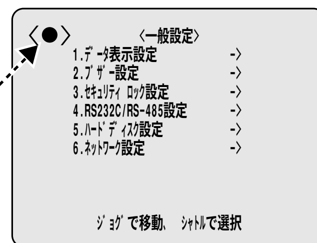









**注意：各記録領域に映像を録画中でもメニュー画面の表示はできます。この時、画面上には録画シンボル〈●〉が表示します。この場合、メニュー設定の内容を確認できるだけで設定内容を変更することはできません。変更するときは録画を停止させてください。再生中は、メニュー画面の表示はできません。**

## ■数字入力のしかた

**メニュー画面の上部に[K]が表示されているときには、ジョグダイヤルでの数字入力以外に、本機の数字キー（カメラ選択ボタン1〜9）での直接入力が可能になります。**

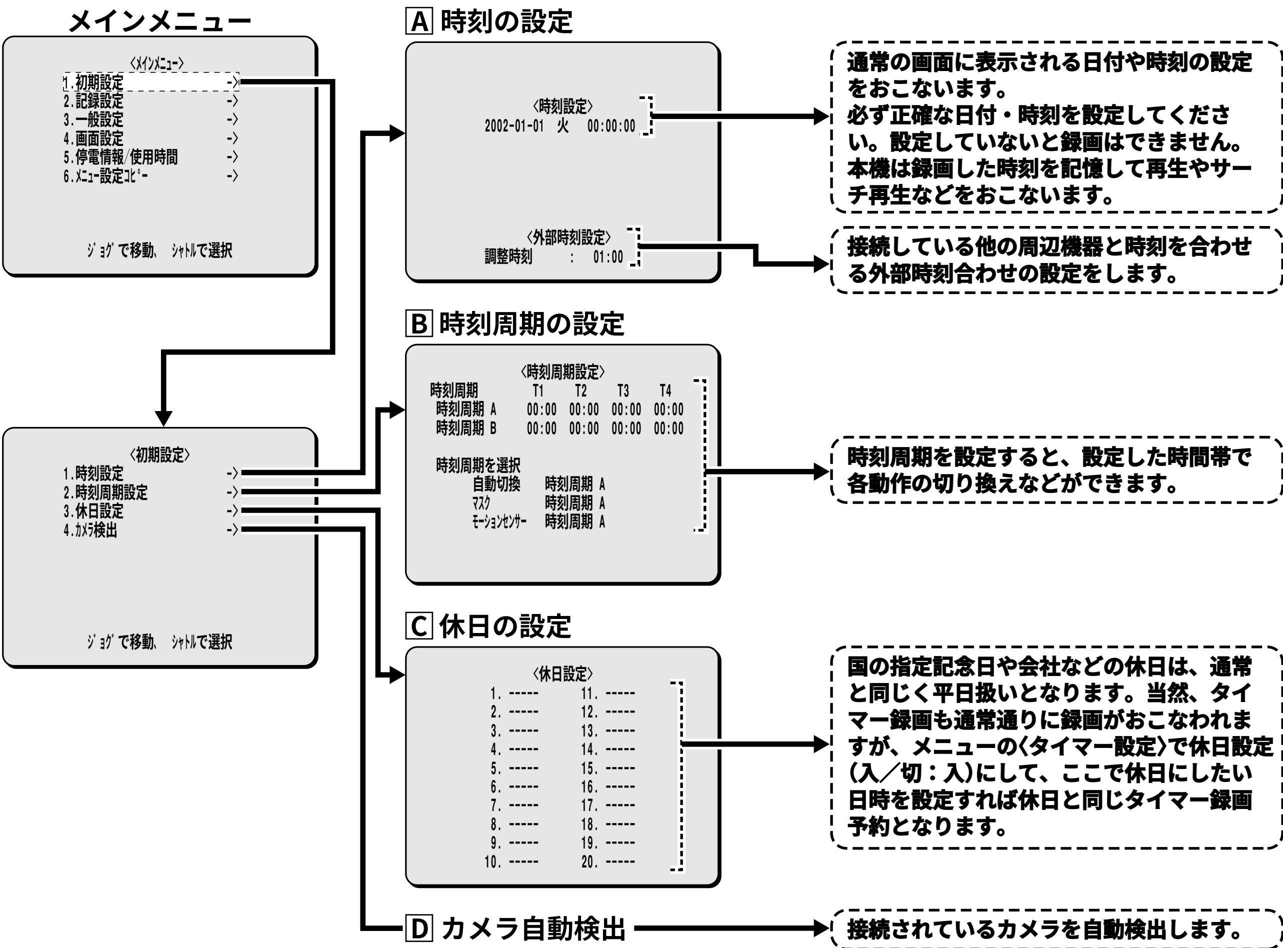



**1〜9のカメラ選択ボタンを使用します。0を入力するときは4画面表示ボタンを押してください。**

設定

# 初期設定

**初期設定に関する設定をおこないます。**



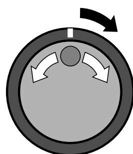

## A 時刻の設定

通常画面に表示される日付や時刻の設定をおこないます。さらに複数の機器を接続したときにすべての機器（SANYOの対応機種のみ）の時刻を同じにすることができます。

### ■時刻の設定
### （初期設定：2002-01-01 火 00：00：00）

必ず正確な日付・時刻の設定をおこなってください。本機は録画した時刻を記憶して再生やサーチ再生などをおこないます。

**例** 2002年5月22日の8時30分に設定する






**1** カーソルが「CLOCK SET」の時刻に移動している状態で、シャトルダイヤルを右に回す

“ 2002（年）”が点滅します。

**2** ジョグダイヤルを回して、「2002：年」を選択し、シャトルダイヤルを右に回す

カーソルが月の“ 01 ”で点滅します。

2002-01-01 火 00:00:00

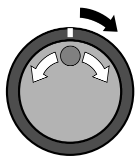
**3** 同じ手順で月（05）、日（22）、時（08）、分（30）を設定する

分の設定が終了すると、カーソルが〈外部時刻設定〉の「調整時刻」へ移動します。

注意：
- 時計の設定中は時刻が停止します。分設定後、時間が刻まれます。
- 時刻は、数字キー入力でも設定できます。ただし、年設定入力をするときは西暦の下2桁を入力してください。（☞ P45）

## ■外部時刻の設定
### （初期設定：01：00）

設定した時刻になると、接続した他の機器も同じ時刻に調整されます。





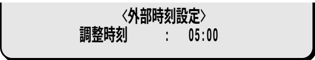

**1** **本機後面パネルの時刻合わせ出力端子（時計合わせ出力）と入力端子（時計合わせ入力）間を接続している他機と接続する**




**2** **ジョグダイヤルを回してカーソルを〈外部時刻設定〉の「調整時刻」に移動させ、シャトルダイヤルを右に回す**

“ 01 ”が点滅します。

**3** **ジョグダイヤルを回して時刻（例：05時）を設定し、シャトルダイヤルを右に回す**



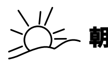

**4** **終了/画面表示ボタンを押す**

通常の画面へ戻ります。




## B 時刻周期の設定
### （初期設定：00時00分）

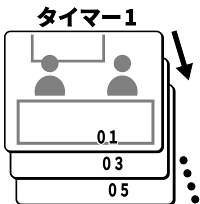
時刻周期とは、タイマーAとタイマーBの2タイマー設定を用いて、各タイマー設定ごとに一日を4つの時間帯（例：真夜中、朝、昼、夜）にタイマー設定することができます。例えば、タイマーAの時間帯は自動切換画面の設定にし、タイマーBの時間帯はカメラ映像にグレーパターンを覆うなどの設定ができます。

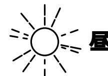


朝

6：00〜11：00
カメラ1、3、5、6の映像を自動切換で表示。

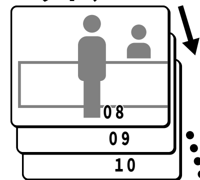
タイマー1



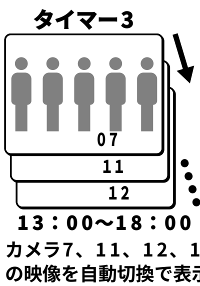
昼

タイマー2




11：00〜13：00
カメラ8、9、10、16の映像を自動切換で表示。

タイマー3



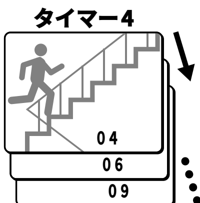

13：00〜18：00
カメラ7、11、12、13の映像を自動切換で表示。



夜

18：00〜6：00
カメラ4、6、9、12、16の映像を自動切換で表示。

タイマー4

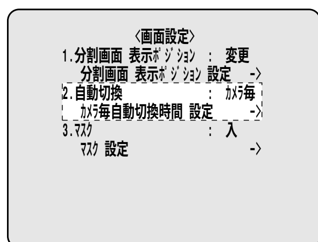



設定

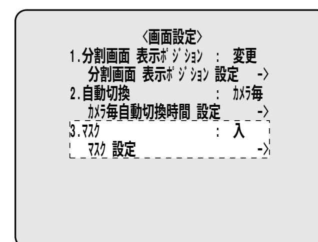
## ☞ 時刻周期設定時間中に動作可能な機能

**この時刻周期を動作させるには次の各メニューの設定が必要です。必ずメニュー設定をおこなった後、タイマー設定をおこなってください。**

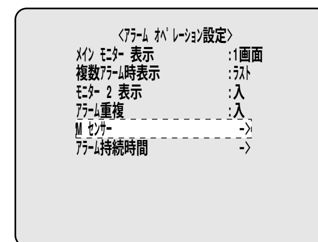
● **カメラ映像を自動切換画面にする**
〈画面設定〉の「自動切換」設定をおこなう




● **カメラ映像をグレーパターンで覆う**
〈画面設定〉の「マスク」設定をおこなう



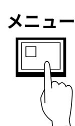

● **カメラ映像にアラーム入力があると検知する**
〈アラームオペレーションン設定〉の「Mセンサー」設定をおこなう

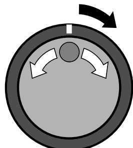



**この設定は例1と例2を続けて設定してください。**

**例1** **タイマーAとタイマーBの時間帯を次の様に設定する**

| (タイマーA設定) | (タイマーB設定) |
|---|---|
| T1を午前4時(4時00分) | T1を午前6時(6時00分) |
| T2を午前6時30分(6時30分) | T2を午前8時(8時00分) |
| T3を午後12時30分(12時30分) | T3を午後2時30分(14時30分) |
| T4を午後6時(18時00分) | T4を午後8時(20時00分) |



〈時刻周期設定〉
時刻周期　T1　T2　T3　T4
時刻周期 A　00:00　00:00　00:00　00:00
時刻周期 B　00:00　00:00　00:00　00:00

時刻周期を選択
自動切換　時刻周期 A
マスク　時刻周期 A
モーションセンサー　時刻周期 A

**1** **メニューボタンを押して「初期設定」でシャトルダイヤルを右に回す**

〈初期設定〉のサブメニューになり、カーソルが「時刻設定」に移動しています。

**2** **ジョグダイヤルで「時刻周期設定」にカーソルを移動させ、シャトルダイヤルを右に回す**

〈時刻周期設定〉のサブメニューになります。

**3** **ジョグダイヤルを回して、「時刻周期A」を選択し、シャトルダイヤルを右に回す**

**注意：数字キー入力でも設定できます。(☞ P45)**

T1の“ 00： ”(時)が点滅します。

〈時刻周期設定〉
時刻周期　T1　T2　T3　T4
時刻周期 A　00:00　00:00　00:00　00:00
時刻周期 B　00:00　00:00　00:00　00:00

**4** **ジョグダイヤルを回してT1の時間を“ 04 ”(時)に設定し、シャトルダイヤルを右に回す**

T1の“ ：00 ”(分)が点滅します。

**5** **ジョグダイヤルを回してT1の時間を“ 00 ”(分)に設定し、シャトルダイヤルを右に回す**

T2の“ 00： ”(時)が点滅します。

**6** **ジョグダイヤルを回してT2の時間を“ 06 ”(時)に設定し、シャトルダイヤルを右に回す**

T2の“ ：00 ”(分)が点滅します。

〈時刻周期設定〉
時刻周期　T1　T2　T3　T4
時刻周期 A　04:00　06:00　00:00　00:00
時刻周期 B　00:00　00:00　00:00　00:00

**7** **ジョグダイヤルを回してT2の時間を“ 30 ”(分)に設定し、シャトルダイヤルを右に回す**

T3の“ 00： ”(時)が点滅します。
手順3〜6と同じ操作でT3、T4の“ 時 ”、“ 分 ”を設定してください。

**8** **同じ操作で「時刻周期B」のT1、T2、T3、T4の“ 時 ”、“ 分 ”を設定する**

〈時刻周期設定〉
時刻周期　T1　T2　T3　T4
時刻周期 A　04:00　06:30　12:30　18:00
時刻周期 B　06:00　08:00　14:30　20:00

時刻周期を選択
自動切換　時刻周期 A
マスク　時刻周期 A
モーションセンサー　時刻周期 A

**注意：T1が“ 00:00 ”の時は午前0時とみなし、T2〜T4が“ 00:00 ”であれば時刻に関係なくスキップとみなされます。T1〜T4が“ 00:00 ”の時、T1だけを有効とみなし、午前0時から翌日の午前0時までタイマー動作をおこないます。**

**例2** **タイマー動作を次の様に設定する**

☞ **「タイマーA」の時間帯を自動切換画面とモニターマスクに設定する。**
☞ **「タイマーB」の時間帯をモーションセンサーに設定する。**

〈時刻周期設定〉

| 時刻周期 | T1 | T2 | T3 | T4 |
|---|---|---|---|---|
| 時刻周期 A | 04:00 | 06:30 | 12:30 | 18:00 |
| 時刻周期 B | 06:00 | 08:00 | 14:30 | 20:00 |

時刻周期を選択
自動切換　時刻周期 A
マスク　時刻周期 A
モーションセンサー　時刻周期 A

**1** **ジョグダイヤルを回して、カーソルを「時刻周期を選択」の「自動切換」に移動させ、シャトルダイヤルを右に回す**

カーソルが“ 時刻周期A ”に移動します。

**2** **ジョグダイヤルを回して、“ 時刻周期A ” に設定して（タイマーAの設定）シャトルダイヤルを右に回す**

カーソルが「マスク」に移動します。

**3** **シャトルダイヤルを右に回し、カーソルを“ 時刻周期A ”に移動させ、ジョグダイヤルで「マスク」を“ 時刻周期A ”に設定して（タイマーAの設定）シャトルダイヤルを右に回す**

カーソルが「モーションセンサー」に移動します。

**4** **シャトルダイヤルを右に回し、カーソルを“ 時刻周期A ”に移動させ、ジョグダイヤルで「モーションセンサー」を“ 時刻周期B ”に設定する（タイマーBの設定）**

時刻周期を選択
自動切換　時刻周期 A
マスク　時刻周期 A
モーションセンサー　時刻周期 B

**5** **終了/画面表示ボタンを押す**

タイマーの設定が終了し、通常の画面に戻ります。




## C 休日の設定

**注意：必ず「タイマー設定」の日曜日（[日]）の時間設定などをおこなってから「入／切」を“ 入 ”にしてください。（☞ P57）**

〈タイマー設定〉

| 曜日 | 開始 | 終了 | プログラム | FPS | 入/切 |
|---|---|---|---|---|---|
| [日] | 08:00 | 18:00 | 切 | 10 | 入 |
| [月] | 08:00 | 18:00 | 切 | 10 | 入 |
| [火] | 08:00 | 18:00 | 切 | 10 | 入 |
| [水] | 08:00 | 18:00 | 切 | 10 | 入 |
| [木] | 08:00 | 18:00 | 切 | 10 | 入 |
| [金] | 08:00 | 18:00 | 切 | 10 | 切 |
| [土] | --:-- | --:-- | -- | 10 | 切 |
| 毎日 | --:-- | --:-- | -- | 10 | 切 |

**例** **11月17日を休日に設定する**

メニュー

〈休日設定〉

| | |
|---|---|
| 1. ----- | 11. ----- |
| 2. ----- | 12. ----- |
| 3. ----- | 13. ----- |
| 4. ----- | 14. ----- |
| 5. ----- | 15. ----- |
| 6. ----- | 16. ----- |
| 7. ----- | 17. ----- |
| 8. ----- | 18. ----- |
| 9. ----- | 19. ----- |
| 10. ----- | 20. ----- |

**1** **メニューボタンを押して「初期設定」でシャトルダイヤルを右に回す**

〈初期設定〉のサブメニューになり、カーソルが「時刻設定」に移動しています。

**2** **ジョグダイヤルで「休日設定」にカーソルを移動させ、シャトルダイヤルを右に回す**

〈休日設定〉のサブメニューになります。

**3** **シャトルダイヤルを右に回す**

「1.」のーー（月）が点滅します。

1. -----

**4** **ジョグダイヤルでーーを“ 11 ”に設定し、シャトルダイヤルを回す**

「1.」のーー（日）が点滅します。

1. 11---

**5** **ジョグダイヤルでーーを“ 17 ”に設定し、シャトルダイヤルを右に回す**

カーソルが「2.」に移動します。

1. 11-17
2. -----

**6** **同じ手順で他の休日を設定してください**

**7** **終了/画面表示ボタンを押す**

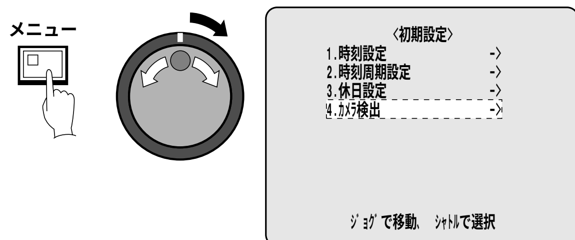
通常の画面へ戻ります。




設定

## D カメラ自動検出

**接続されているカメラの自動検出をおこない、接続されていないカメラの設定を「切」にします。**



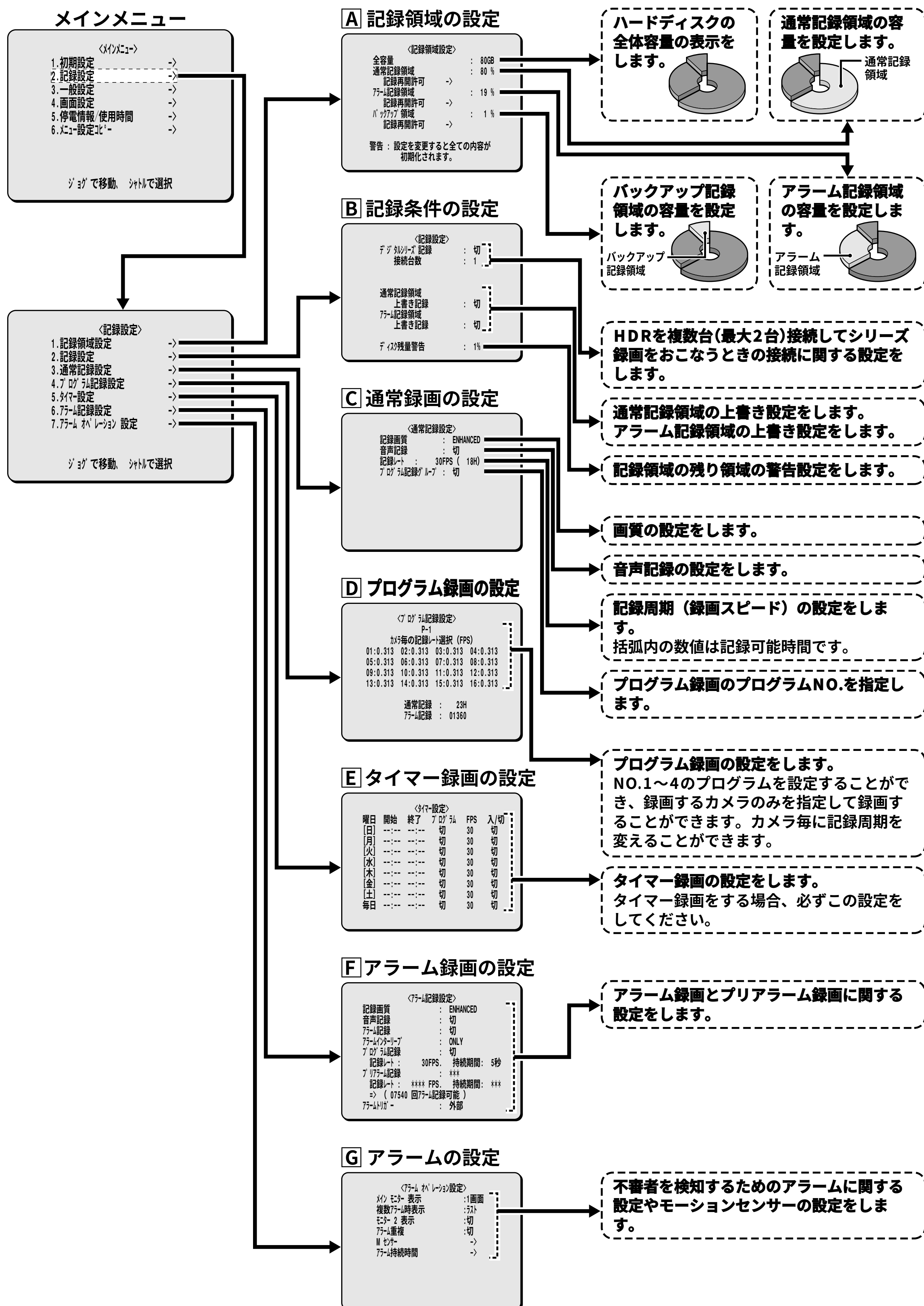

**1** **メニューボタンを押して「初期設定」でシャトルダイヤルを右に回す**

〈初期設定〉のサブメニューになり、カーソルが「時刻設定」に移動しています。

**2** **ジョグダイヤルで「カメラ検出」にカーソルを移動させ、シャトルダイヤルを右に回す**

接続されているカメラの自動検出をおこないます。接続されていないカメラの設定を「切」にします。

# 記録設定


メインメニュー
〈メインメニュー〉
1.初期設定 ->
2.記録設定 ->
3.一般設定 ->
4.画面設定 ->
5.停電情報/使用時間 ->
6.メニュー設定コピー ->
ジョグで移動、シャトルで選択
〈記録設定〉
1.記録領域設定 ->
2.記録設定 ->
3.通常記録設定 ->
4.プログラム記録設定 ->
5.タイマー設定 ->
6.アラーム記録設定 ->
7.アラーム オペレーション 設定 ->
ジョグで移動、シャトルで選択
A 記録領域の設定
〈記録領域設定〉
全容量 : 80GB
通常記録領域 : 80 %
記録再開許可 ->
アラーム記録領域 : 19 %
記録再開許可 ->
バックアップ領域 : 1 %
記録再開許可 ->
警告 : 設定を変更すると全ての内容が初期化されます。
ハードディスクの全体容量の表示をします。
通常記録領域の容量を設定します。
通常記録領域
バックアップ記録領域の容量を設定します。
バックアップ記録領域
アラーム記録領域の容量を設定します。
アラーム記録領域
B 記録条件の設定
〈記録設定〉
デジタルシリーズ記録 : 切
接続台数 : 1
通常記録領域
上書き記録 : 切
アラーム記録領域
上書き記録 : 切
ディスク残量警告 : 1%
HDRを複数台(最大2台)接続してシリーズ録画をおこなうときの接続に関する設定をします。
通常記録領域の上書き設定をします。
アラーム記録領域の上書き設定をします。
記録領域の残り領域の警告設定をします。
C 通常録画の設定
〈通常記録設定〉
記録画質 : ENHANCED
音声記録 : 切
記録レート : 30FPS ( 18H)
プログラム記録グループ : 切
画質の設定をします。
音声記録の設定をします。
記録周期(録画スピード)の設定をします。
括弧内の数値は記録可能時間です。
プログラム録画のプログラムNO.を指定します。
D プログラム録画の設定
〈プログラム記録設定〉
P-1
カメラ毎の記録レート選択 (FPS)
01:0.313 02:0.313 03:0.313 04:0.313
05:0.313 06:0.313 07:0.313 08:0.313
09:0.313 10:0.313 11:0.313 12:0.313
13:0.313 14:0.313 15:0.313 16:0.313
通常記録 : 23H
アラーム記録 : 01360
プログラム録画の設定をします。
NO.1～4のプログラムを設定することができ、録画するカメラのみを指定して録画することができます。カメラ毎に記録周期を変えることができます。
E タイマー録画の設定
〈タイマー設定〉
曜日 開始 終了 プログラム FPS 入/切
[日] --:-- --:-- 切 30 切
[月] --:-- --:-- 切 30 切
[火] --:-- --:-- 切 30 切
[水] --:-- --:-- 切 30 切
[木] --:-- --:-- 切 30 切
[金] --:-- --:-- 切 30 切
[土] --:-- --:-- 切 30 切
毎日 --:-- --:-- 切 30 切
タイマー録画の設定をします。
タイマー録画をする場合、必ずこの設定をしてください。
F アラーム録画の設定
〈アラーム記録設定〉
記録画質 : ENHANCED
音声記録 : 切
アラーム記録 : 切
アラームインターリーブ : ONLY
プログラム記録 : 切
記録レート : 30FPS. 持続期間: 5秒
プリアラーム記録 : ***
記録レート : **** FPS. 持続期間: ***
=> ( 07540 回アラーム記録可能 )
アラームトリガー : 外部
アラーム録画とプリアラーム録画に関する設定をします。
G アラームの設定
〈アラーム オペレーション設定〉
メイン モニター 表示 :1画面
複数アラーム時表示 :ラスト
モニター 2 表示 :切
アラーム重複 :切
M センサー ->
アラーム持続時間 ->
不審者を検知するためのアラームに関する設定やモーションセンサーの設定をします。

設定

## A 記録領域の設定

**各記録領域の設定をします。**

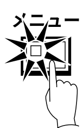
### ■全容量の表示

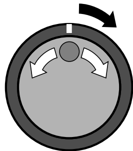
ハードディスクの全記録容量を表示します。この表示はハードディスクの容量を変更する以外は変更できません。
ハードディスクの初期設定は通常記録領域が80%、アラーム記録領域が19%、バックアップ領域が1%に設定されます。バックアップ領域の上限は10GB（80GBハードディスク使用時：12.5%　160GBハードディスク使用時：6%）ですので、これ以上の値の設定はできません。
各記録領域の割り当ては、百分率で表示され通常記録領域とアラーム記録領域で最大99%まで設定できます。
バックアップ領域は手動での設定はできません。強制的に最低でも1%が割り当てられます。よって、通常記録領域とアラーム記録領域の合計を88%に設定した場合は、映像保存領域は自動的に12%に設定されます。
例えば、通常記録領域を0%に設定し、アラーム記録領域を99%にすると通常記録領域の映像は録画されません。アラーム記録領域のみに映像が記録されます。各記録領域の記録容量を設置場所に合わせてうまく割り当ててください。
なお、ハードディスクを増設した場合は、増設した容量の合計が全容量に表示されます。

**注意：**
- **ハードディスクの各記録領域の割り当てを記録途中で変更することは、現在まで記録した内容を消去することになります。これはハードディスクを初期化することになりますので、各記録領域を設定するときは慎重におこなってください。やむをえず記録領域を変更する場合は記録映像をコンピュータなどの記録媒体に保存してください。**
- **〈ハードディスク設定〉の「ミラーリング」を“入”にした場合、〈記録領域設定〉の「全容量」表示はハードディスク容量の小さい方が表示されます。**

### ■各記録領域を設定し直す

**例**　**通常記録領域を50%、アラーム記録領域を49%にする**



〈記録領域設定〉
全容量　：80GB
通常記録領域　：80 %
　記録再開許可　->
アラーム記録領域　：19 %
　記録再開許可　->
バックアップ領域　：1 %
　記録再開許可　->
警告：設定を変更すると全ての内容が初期化されます。

**1** **メニューボタンを押して「記録設定」でシャトルダイヤルを右に回す**

〈記録設定〉のサブメニューになり、カーソルが「記録領域設定」に移動しています。

**2** **ジョグダイヤルで「記録領域設定」にカーソルを移動させ、シャトルダイヤルを右に回す**

〈記録領域設定〉のサブメニューになり、カーソルが「通常記録領域」に移動しています。

**3** **ジョグダイヤルで「通常記録領域」にカーソルを移動させ、シャトルダイヤルを右に回す**

“80%”が点滅します。

**4** **ジョグダイヤルで80%を例えば50%に設定し、シャトルダイヤルを右に回す**

カーソルが「アラーム記録領域」に移動します。

**5** **シャトルダイヤルを右に回す**

“35%”が点滅します。

**6** **ジョグダイヤルで35%を例えば49%に設定し、シャトルダイヤルを右に回す**

カーソルが「記録再開許可」に移動します。

〈記録領域設定〉
全容量　：80GB
通常記録領域　：80 %
　記録再開許可　->
アラーム記録領域　：19 %
　記録再開許可　->
バックアップ領域　：1 %
　記録再開許可　->

**7** **シャトルダイヤルを左に回す**

〈警告〉の画面に切り換わります。これはハードディスクを初期化するためのメッセージです。

**8** **記録領域を変更する場合はジョグダイヤルを回して「はい」表示にして、シャトルダイヤルを右に回す**

〈記録領域設定〉の画面になり変更した記録容量になります。

〈警 告〉
設定を変更すると全ての記録内容が失われます。
変更しますか ?
いいえ
ジョグで移動、シャトルで設定

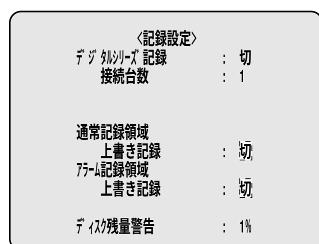
**注意：「いいえ」のままシャトルダイヤルを右に回すと〈記録領域設定〉の画面になり変更前の記録容量に戻ります。記録容量の変更はされていません。**

設定

## ■記録再開許可の設定

**ハードディスクの通常記録領域とアラーム記録領域は記録容量が満杯になると自動的に上書き（古い記録が消える）されるように設定されています。**
**しかし、録画の確認や編集などのため記録容量が満杯になったときの上書きを中止させることができます。その場合、各記録領域に一度だけ上書き指示をおこなう必要があります。ここではその方法を説明します。**

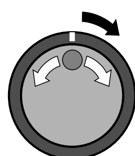
**1** **メニューの〈記録設定〉で上書きする「通常記録領域」または「アラーム記録領域」の「上書き領域」の項を“ 切 ”に選択する（☞ P54）**

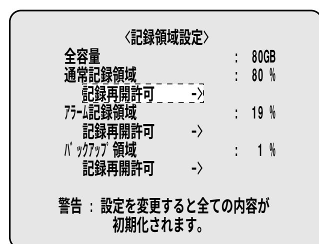



この設定をおこなうことで、ハードディスクの残容量が画面上の操作表示部に表示されると同時に前面パネルの通常記録領域残量警告またはアラーム記録領域残量警告ランプが点滅するようになります。ハードディスクの書き込みが終了したら再生操作で録画の確認などをおこなってください。

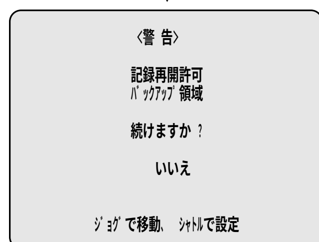
**2** **ジョグダイヤルで「通常記録領域」の「記録再開許可」にカーソルを移動させ、シャトルダイヤルを右に回す**

〈警告〉の「いいえ」が点滅します。






▼



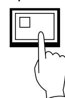

**3** **ジョグダイヤルで「いいえ」を「はい」に設定して、シャトルダイヤルを右に回す**

「通常記録領域」が1回上書き状態になります。

**4** **同じ手順で「アラーム記録領域」の設定をおこなってください**

**5** **終了/画面表示ボタンを押す**

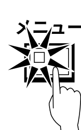
通常の画面へ戻ります。

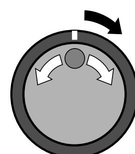


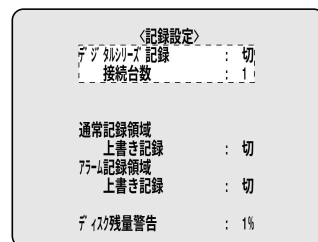

**注意：自動的に上書きをおこなうときは「通常記録領域」または「アラーム記録領域」の「上書き記録」の項目を“ 入 ”に設定してください。**

## B 記録条件の設定

**記録に関する設定をします。**






## ■デジタルシリーズ（本機を含めて最大3台）録画の設定

**1** **本機のデジタル入出力端子に接続する機器を接続してください（☞ P10）**

**注意：機器間の接続には、ストレートタイプのLAN用ETHERNETケーブルをご使用ください。ケーブル長は3m以下のものをお使いください。シールドタイプをお使いください。**

**2** **メニューボタンを押して「記録設定」でシャトルダイヤルを右に回す**

〈記録設定〉のサブメニューになり、カーソルが「記録領域設定」に移動しています。

**3** **ジョグダイヤルで「記録設定」にカーソルを移動させ、シャトルダイヤルを右に回す**

〈記録設定〉のサブメニューになり、カーソルが「デジタルシリーズ記録」に移動しています。

**4** **シャトルダイヤルを右に回す**

“ 切 ”が点滅します。

**5** **ジョグダイヤルで“ 入 ”を選択し、シャトルダイヤルを右に回す**

カーソルが「接続台数」へ移動します。

設定

**6** **シャトルダイヤルを右に回し、ジョグダイヤルで本機の合計接続台数（例：3）を設定して、シャトルダイヤルを右に回す**

カーソルが「上書き記録」へ移動します。

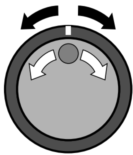
〈記録設定〉
デジタルシリーズ記録　：入
　接続台数　：3

通常記録領域
　上書き記録　：切
アラーム記録領域
　上書き記録　：切

**注意：〈ネットワーク設定〉で「ネットワーク操作」が“入”の場合は、「デジタルシリーズ記録」は選択できません。（☞ P79）**
**逆に「デジタルシリーズ記録」が“入”の場合は「ネットワーク操作」を“入”にはできません。**

## ■通常記録領域の上書き設定と操作表示部への残容量の設定

**ハードディスクの各記録領域が満杯になったときに、上書きして（古い映像を消去）録画するか、停止するかの設定をおこないます。停止する場合は操作表示部上にハードディスクの現在の残容量がパーセントで表示されます。残量の設定は「ディスク残量警告」でおこないます。**



〈記録設定〉
デジタルシリーズ記録　：切
　接続台数　：1

通常記録領域
　上書き記録　：切
アラーム記録領域
　上書き記録　：切

ディスク残量警告　：1%

**1** **カーソルが「上書き記録」にある状態でシャトルダイヤルを右に回す**

“入”が点滅します。

**2** **ジョグダイヤルで設定（例：切）を選択して、シャトルダイヤルを右に回す**

「ディスク残量警告」の＊＊が1%に変わります。

**表示例**

- **切：**通常記録領域が満杯になると録画が停止する。
- **入：**通常記録領域が満杯になると自動的に最初から映像を上書きする。

**注意：設定を“切”にすると「ディスク残量警告」にハードディスクの残容量が何パーセントになったら本機前面パネルの残量警告およびアラーム残量警告ランプを点滅させるかを表示します。**

**3** **同じ手順で「アラーム記録領域」の設定（切）もおこなってください**

**注意：デジタル接続した場合でもメニューの各種設定は、1台ずつおこなってください。2台目以降の「上書き記録」の設定は、必ず1台目に合わせてください。**

**4** **カーソルが「ディスク残量警告」にある状態で、シャトルダイヤルを右に回して、ジョグダイヤルで残量表示数値（例：5）を設定する**

**注意：残量表示は1%（初期値）から10%まで設定が可能です。**

〈記録設定〉
デジタルシリーズ記録　：切
　接続台数　：1

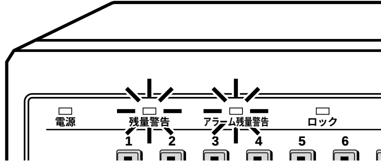
通常記録領域
　上書き記録　：切
アラーム記録領域
　上書き記録　：切

ディスク残量警告　：5%

**5** **終了/画面表示ボタンを押す**

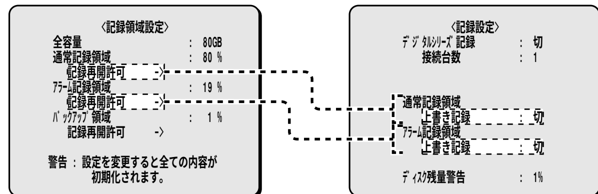
通常の画面へ戻ります。操作表示部には各領域の残容量が5%になると警告表示します。本機前面パネルの通常記録領域残量警告（通常記録領域）またはアラーム記録領域残量警告（アラーム記録領域）ランプが点滅します。




設定

### 〈記録領域設定〉と「上書き記録」について



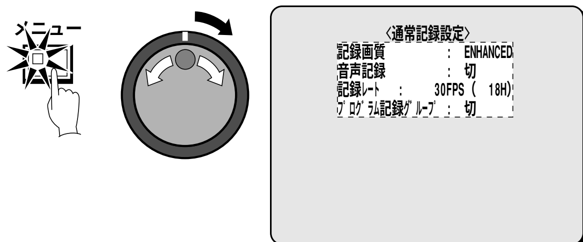

通常記録領域およびアラーム記録領域がいっぱいになった場合は〈記録領域設定〉の通常記録領域およびアラーム記録領域の「記録再開許可」を選んで実行してください。(☞ P53)

**注意：デジタル入力端子からは音声入力はされません。音声入力は音声入力端子（マイクなど）からアナログ音声の入力になります。詳しくは「接続のしかた」を参照ください。(☞ P9)**

## C 通常録画の設定

**通常記録領域の録画の画質、音声記録、記録スピードの設定をおこないます。また、「プログラム記録グループ」で設定したプログラムNO.も指定することができます。**

### ■通常記録の設定




**1 メニューボタンを押して「記録設定」でシャトルダイヤルを右に回す**

〈記録設定〉のサブメニューになり、カーソルが「記録領域設定」に移動しています。

**2 ジョグダイヤルで「通常記録設定」にカーソルを移動させ、シャトルダイヤルを右に回す**

〈記録領域設定〉のサブメニューになり、カーソルが「記録画質」に移動しています。

**3 シャトルダイヤルを右に回す**

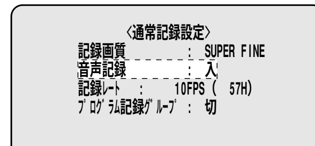
“ENHANCED（準高画質）”が点滅します。

**表示例：画質の選択**

- **BASIC**（BQ）／ラフ画質　15kB
- **NORMAL**（NQ）／標準画質　22kB
- **ENHANCED**（EN）／準高画質　30kB
- **FINE**（FI）／高画質　42kB
- **SUPER FINE**（SF）／最高画質　56kB

**4 ジョグダイヤルで画質［例：SUPER FINE（最高画質）］を選択し、シャトルダイヤルを右に回す**

カーソルが「音声記録」へ移動します。




**5 シャトルダイヤルを右に回し、ジョグダイヤルで音声記録（例：入）を設定して、シャトルダイヤルを右に回す**

カーソルが「記録レート」へ移動します。

**注意：**
- **音声記録は「記録レート」が1FPSから60FPSの範囲のときに設定できます。**
- **“入”設定にすると、「記録レート」の録画スピードの前に“A（音声記録表示）”が表示します。通常記録領域に音声も記録されるので通常記録領域の記録容量は少なくなります。**

**6 シャトルダイヤルを右に回し、ジョグダイヤルで録画スピード（例：0.1）を設定して、シャトルダイヤルを右に回す**

カーソルが「プログラム記録グループ」へ移動します。

**注意：録画スピードは「記録画質」の画質の選択により異なります。詳しくは「録画スピード一覧表」を参照ください。(☞ P13)**

**7 シャトルダイヤルを右に回し、ジョグダイヤルでプログラムNO.（例：P-1）を設定して、シャトルダイヤルを右に回す**

カーソルが「記録画質」へ移動します。

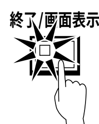



**表示例**
- **切：**すべてのカメラ映像をすべて同じ録画スピードで記録します。
- **P-1：**プログラムNO.1で記録する場合。
- **P-2：**プログラムNO.2で記録する場合。
- **P-3：**プログラムNO.3で記録する場合。
- **P-4：**プログラムNO.4で記録する場合。

**注意：プログラムNO.を指定する場合は〈プログラム録画の設定〉をしてください。(☞ P55)**

**8 終了/画面表示ボタンを押す**

通常の画面へ戻ります。




設定

## D プログラム録画の設定

**録画したいカメラを指定して録画できます。プログラムはNO.1〜4まで設定することができます。たとえば、プログラムNO.1には、カメラ1〜4の映像のみを録画してプログラムNO.2には、カメラ3〜9の映像を録画するというような設定ができます。また、タイマー録画、プリアラーム録画時にもこのプログラムを適用させることができます。**

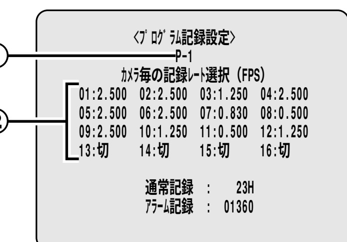
**表示例**

プログラムNO.1にカメラ1〜3の映像のみを録画するように設定した場合

**選択したカメラ**
**映像（1〜3）のみを録画**




・・・・



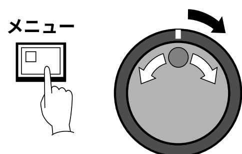

① **P-1**
プログラムNO.1〜4を選択します。

② **カメラの記録レート選択（FPS）**
接続しているカメラ（1〜16）から録画したいカメラを選択します。録画スピードも各カメラ毎に設定することができます。
（プログラム録画記録率 ☞ P91）

**注意：プログラム録画での最高速は30FPSとなります。各カメラの最高速は、30FPSをON設定されているカメラの台数で割った値になります。例えば、ON設定されているカメラが10台の場合、1台当たり3FPSが最高となります。**

**例　プログラムNO.1に、カメラ1、2、3の映像のみを録画するように設定する**

**品番 VDH-F900はカメラ1〜9までで設定してください。**







**1　メニューボタンを押して「記録設定」でシャトルダイヤルを右に回す**

〈記録設定〉のサブメニューになり、カーソルが「記録領域設定」に移動しています。

**2　ジョグダイヤルで「プログラム記録設定」にカーソルを移動させ、シャトルダイヤルを右に回す**

〈プログラム記録設定〉のサブメニューになり、カーソルが「P-1」に移動しています。

**3　シャトルダイヤルを右に回し、ジョグダイヤルでプログラムNO.（例：P-1）を選択し、シャトルダイヤルを右に回す**

カーソルが「01」に移動します。

**4　シャトルダイヤルを右に回す**

“ 0.313 ”（カメラ番号）が点滅します。




**5　シャトルダイヤルを右に回し、ジョグダイヤルで録画スピード（例：0.625）を設定し、シャトルダイヤルを右に回す**

カメラ1は、0.625の録画スピードで録画されます。カーソルが“ 02 ”に移動します。

**6　同じ手順でカメラ2と3の録画スピードを設定する**

**7　“ 04 ”（カメラ番号）の項目にカーソルがある状態で、ジョグダイヤルで“ 切 ”に設定し、シャトルダイヤルを右に回す**

カメラ4は、録画されません。

**8　同じ手順で5〜16を“ 切 ”に設定する**

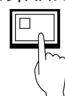



**9　他のプログラムNO.（2〜4）を設定する場合は、同じ操作で設定してください**

**10　終了/画面表示ボタンを押す**

通常の画面に戻ります。

**終了/画面表示**



設定

## E タイマー録画の設定

**タイマー録画をおこなうときは必ず設定してください。**

①②③④⑤⑥

〈タイマー設定〉

| 曜日 | 開始 | 終了 | プログラム | FPS | 入/切 |
|---|---|---|---|---|---|
| [日] | --:-- | --:-- | 切 | 10 | 切 |
| [月] | 08:00 | 18:00 | 切 | 10 | 入 |
| [火] | 08:00 | 18:00 | 切 | 10 | 入 |
| [水] | 08:00 | 18:00 | 切 | 10 | 入 |
| [木] | 08:00 | 18:00 | 切 | 10 | 入 |
| [金] | 08:00 | 18:00 | 切 | 10 | 切 |
| [土] | --:-- | --:-- | -- | 10 | 切 |
| 毎日 | --:-- | --:-- | -- | 10 | 切 |

⑦

### ■タイマーの設定

**曜日毎に、録画の開始・終了時間の設定や録画スピードの設定をおこないます。**

**①曜日**
タイマー設定をおこなう曜日を選択します。曜日が点滅中は他の曜日の変更ができます。また、7行目（土曜）と8行目（毎日）は24時間以上のタイマー録画の設定に使用します。

**②開始**
タイマー録画の開始時間を入力します。

**③終了**
タイマー録画の終了時間を入力します。

**④プログラム**
プログラム録画機能（P-1～4）を使用してタイマー録画する場合に設定します。プログラム録画については（☞ P56）をご覧ください。

**⑤記録周期**
録画スピードを設定します。
プログラムを設定していると入力は不要です。

**⑥入／切**
タイマー録画をする場合は、“ 入 ”にしてください。
タイマー録画をしない場合は、“ 切 ”にしてください。

**⑦24時間以上のタイマー録画設定項目**
24時間以上のタイマー録画をおこなうときはこの項目を使用します。

**注意：タイマー録画での画質、音声記録の設定は、通常記録領域で設定した設定値になります。**

### ■毎日、同時間、同画質のタイマー予約

| 例 | 毎日、午前8時30分から午後6時30分まで同じ録画スピードでタイマー録画をする |
|---|---|

メニュー

〈タイマー設定〉

| 曜日 | 開始 | 終了 | プログラム | FPS | 入/切 |
|---|---|---|---|---|---|
| [日] | --:-- | --:-- | 切 | 30 | 切 |
| [月] | --:-- | --:-- | 切 | 30 | 切 |
| [火] | --:-- | --:-- | 切 | 30 | 切 |
| [水] | --:-- | --:-- | 切 | 30 | 切 |
| [木] | --:-- | --:-- | 切 | 30 | 切 |
| [金] | --:-- | --:-- | 切 | 30 | 切 |
| [土] | --:-- | --:-- | 切 | 30 | 切 |
| 毎日 | --:-- | --:-- | 切 | 30 | 切 |

**1 メニューボタンを押して「記録設定」でシャトルダイヤルを右に回す**

〈記録設定〉のサブメニューになり、カーソルが「記録領域設定」に移動しています。

**2 ジョグダイヤルで「タイマー設定」にカーソルを移動させ、シャトルダイヤルを右に回す**

〈タイマー設定〉のサブメニューになり、カーソルが“ 日 ”に移動しています。

**3 シャトルダイヤルを右に回す**

「曜日」の“ 日 ”が点滅します。

日 --:-- --:-- 切 30 切

**4 ジョグダイヤルで“ 日 ”を“ 毎日 ”に設定し、シャトルダイヤルを右に回す**

「開始」のーー（時間）が点滅します。

毎日 --:-- --:-- 切 30 切

**5 ジョグダイヤルでーーを“ 08 ”に設定し、シャトルダイヤルを右に回す**

「開始」のーー（分）が点滅します。

**注意：数字キー入力でも設定できます。（☞ P45）**

毎日 08:-- --:-- 切 30 切

**6 ジョグダイヤルでーーを“ 30 ”に設定し、シャトルダイヤルを右に回す**

「終了」のーー（時間）が点滅します。

毎日 08:30 --:-- 切 30 切

**7 ジョグダイヤルでーーを“ 18 ”に設定し、シャトルダイヤルを右に回す**

「終了」のーー（分）が点滅します。

毎日 08:30 18:-- 切 30 切

**8 ジョグダイヤルでーーを“ 30 ”に設定し、シャトルダイヤルを右に回す**

「プログラム」の“ 切 ”が点滅します。

毎日 08:30 18:30 切 30 切

設定

**9** **ジョグダイヤルでプログラムを“ 切 ”に設定し、シャトルダイヤルを右に回す**

「FPS」の“ 30 ”が点滅します。

毎日 08:30 18:30 切 30 切

**10** **ジョグダイヤルで記録周期を“ 10 ”に設定し、シャトルダイヤルを右に回す**

「入/切」の“ 切 ”が点滅します。

毎日 08:30 18:30 切 10 切

**注意：タイマー記録の画質はサブメニューの〈通常記録設定〉の「記録画質」で設定した画質［例：NORMAL（標準画質）］で記録されます。また、録画スピードも〈通常記録設定〉で設定された録画スピードで記録されます。**

**11** **ジョグダイヤルで“ 切 ”設定を“ 入 ”に設定し、シャトルダイヤルを右に回す**

カーソルが“ 月 ”に移動します。

〈タイマー設定〉

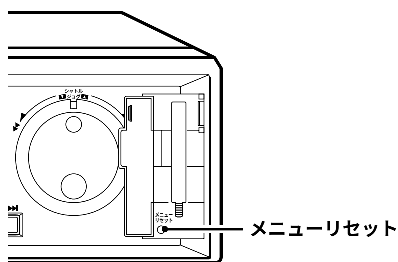
| 曜日 | 開始 | 終了 | プログラム | FPS | 入/切 |
|---|---|---|---|---|---|
| [日] | 08:30 | 18:30 | 切 | 10 | 入 |
| [月] | --:-- | --:-- | 切 | 30 | 切 |
| [火] | --:-- | --:-- | 切 | 30 | 切 |
| [水] | --:-- | --:-- | 切 | 30 | 切 |
| [木] | --:-- | --:-- | 切 | 30 | 切 |
| [金] | --:-- | --:-- | 切 | 30 | 切 |
| [土] | --:-- | --:-- | 切 | 30 | 切 |
| 毎日 | --:-- | --:-- | 切 | 30 | 切 |

**12** **終了/画面表示ボタンを押す**

通常の画面へ戻ります。



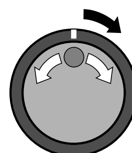

**注意：**
- **曜日によって録画時間や録画スピードを変えてタイマー録画をする場合は、各曜日の項目で録画時間などを設定してください。**
- **タイマー予約が重なった場合は、設定した時間の早い方を優先して録画します。**
- **タイマー予約の全取り消し（時間などの削除）は本機前面パネルのメニューリセットボタンを押してください。**




## ■24時間以上のタイマー予約

**24時間タイマーの予約は、〈タイマー設定〉画面の7行目（土）と8行目（毎日）でおこないます。**

**例** **月曜日の午前10時30分から水曜日の午後8時30分までのタイマー録画**



〈タイマー設定〉

| 曜日 | 開始 | 終了 | プログラム | FPS | 入/切 |
|---|---|---|---|---|---|
| [日] | --:-- | --:-- | 切 | 30 | 切 |
| [月] | --:-- | --:-- | 切 | 30 | 切 |
| [火] | --:-- | --:-- | 切 | 30 | 切 |
| [水] | --:-- | --:-- | 切 | 30 | 切 |
| [木] | --:-- | --:-- | 切 | 30 | 切 |
| [金] | --:-- | --:-- | 切 | 30 | 切 |
| [土] | --:-- | --:-- | 切 | 30 | 切 |
| 毎日 | --:-- | --:-- | 切 | 30 | 切 |

**1** **ジョグダイヤルで7行目（土）にカーソルを移動させ、シャトルダイヤルを回す**

「曜日」の“ 土 ”が点滅します。

**2** **ジョグダイヤルで“ 土 ”を“ 月 ”に設定し、シャトルダイヤルを右に回す**

「開始」のーー（時）が点滅します。

**注意：数字キー入力でも設定できます。（☞ P45）**

[月] --:-- --:-- 切 30 切

**3** **ジョグダイヤルでーーを“ 10 ”に設定し、シャトルダイヤルを右に回す**

「開始」のーー（分）が点滅します。

**4** **ジョグダイヤルでーーを“ 30 ”に設定し、シャトルダイヤルを右に回す**

「終了」のーー（時間）が点滅します。

[月] 10:30 --:-- 切 30 切

**5** **ジョグダイヤルでーーを“ ＊＊ ”に設定し、シャトルダイヤルを右に回す**

8行目の“ 毎日 ”が自動的に7行目に設定した次の曜日（火）に切り換わり点滅します。そして、設定不要箇所に＊印が表示されます。

[月] 10:30 **:** *** **** ***
[火] --:-- --:-- 切 30 切

**6** **ジョグダイヤルで“ 火 ”を“ 水 ”に設定し、シャトルダイヤルを右に回す**

「終了」のーー（時間）が点滅します。

[水] **:** --:-- 切 30 切

設定

**7** **ジョグダイヤルでーーを“ 20 ”に設定し、シャトルダイヤルを右に回す**

「終了」のーー（分）が点滅します。

**8** **ジョグダイヤルでーーを“ 30 ”に設定し、シャトルダイヤルを右に回す**

「プログラム」の“ 切 ”が点滅します。

[水]　**:**　20:30　切　30　切

**9** **ジョグダイヤルでプログラムを“ 切 ”に設定し、シャトルダイヤルを右に回す**

「FPS」の“ 30 ”が点滅します。

[水]　**:**　20:30　切　30　切

**10** **ジョグダイヤルで記録周期を“ 20 ”に設定し、シャトルダイヤルを右に回す**

「入/切」の“ 切 ”が点滅します。

[水]　**:**　20:30　切　20　切

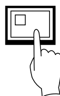
**11** **ジョグダイヤルで“ 切 ”設定を“ 入 ”に設定し、シャトルダイヤルを右に回す**

カーソルが1行目に移動します。

[月]　10:30　**:**　***　****　***
[水]　**:**　20:30　切　20　入

**12** **終了/画面表示ボタンを押す**

通常の画面へ戻ります。



## F アラーム録画の設定

**アラーム録画に関する設定をします。**

**サブメニュー**

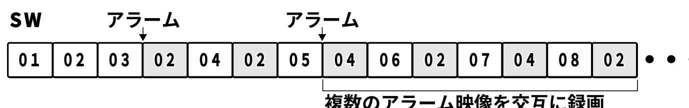
```
〈ｱﾗｰﾑ記録設定〉
記録画質          : ENHANCED
音声記録          : 切
ｱﾗｰﾑ記録          : 切
ｱﾗｰﾑｲﾝﾀｰﾘｰﾌﾞ      : ONLY
ﾌﾟﾛｸﾞﾗﾑ記録        : 切
  記録ﾚｰﾄ :    30FPS.  持続期間: 5秒
ﾌﾟﾘｱﾗｰﾑ記録        : ***
  記録ﾚｰﾄ :  **** FPS.  持続期間: ***
  =>  ( 07540 回ｱﾗｰﾑ記録可能 )
ｱﾗｰﾑﾄﾘｶﾞｰ         : 外部
```

**画質の設定をします。**
**音声記録の設定をします。**
**アラーム録画の設定をします。**
**アラームインターリーブの設定をします。**
アラーム映像の録画方法を選択します。

```
〈ｱﾗｰﾑ記録設定〉
記録画質          : SUPER FINE
音声記録          : 入
ｱﾗｰﾑ記録          : 入
ｱﾗｰﾑｲﾝﾀｰﾘｰﾌﾞ      : ONLY
ﾌﾟﾛｸﾞﾗﾑ記録        : 切
```

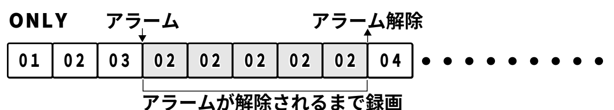
どの録画方法で録画するか選択します。

**SW**　アラーム　アラーム




複数のアラーム映像を交互に録画

**ONLY**　アラーム　アラーム解除




アラームが解除されるまで録画

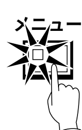
**プログラム録画のプログラムNO.（プリアラームに対して）を指定します。**
**記録周期（録画スピード）とアラーム持続時間の設定をします。**

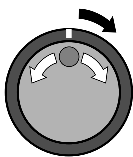
**プリアラーム録画の設定をします。**
**プリアラーム録画の記録レート（録画スピード）とアラーム持続時間の設定をします。**

**アラームトリガーの設定をします。**

### ■アラーム録画の設定

**アラーム記録領域の録画の画質、音声記録、録画スピードの設定をおこないます。**



```
〈ｱﾗｰﾑ記録設定〉
記録画質          : ENHANCED
音声記録          : 切
ｱﾗｰﾑ記録          : 切
ｱﾗｰﾑｲﾝﾀｰﾘｰﾌﾞ      : ONLY
ﾌﾟﾛｸﾞﾗﾑ記録        : 切
  記録ﾚｰﾄ :    30FPS.  持続期間: 5秒
ﾌﾟﾘｱﾗｰﾑ記録        : ***
  記録ﾚｰﾄ :  **** FPS.  持続期間: ***
  =>  ( 07540 回ｱﾗｰﾑ記録可能 )
ｱﾗｰﾑﾄﾘｶﾞｰ         : 外部
```

**1　メニューボタンを押して「記録設定」でシャトルダイヤルを右に回す**

〈記録設定〉のサブメニューになり、カーソルが「記録領域設定」に移動しています。

**2　ジョグダイヤルで「アラーム記録設定」にカーソルを移動させ、シャトルダイヤルを右に回す**

〈アラーム記録設定〉のサブメニューになり、カーソルが「記録画質」に移動しています。

**3　シャトルダイヤルを右に回す**

“ ENHANCED（準高画質）”が点滅します。

```
〈ｱﾗｰﾑ記録設定〉
記録画質          : ENHANCED
音声記録          : 切
ｱﾗｰﾑ記録          : 切
ｱﾗｰﾑｲﾝﾀｰﾘｰﾌﾞ      : ONLY
ﾌﾟﾛｸﾞﾗﾑ記録        : 切
```

**4　ジョグダイヤルで画質［例：SUPER FINE（最高画質）］を選択し、シャトルダイヤルを右に回す**

カーソルが「音声記録」へ移動します。

**注意：アラームの各種設定に応じた最大記録枚数を下記（画面下部）に表示します。**
**=〉（30721 回 アラーム記録可能）**

**（画質の選択）**
- **BASIC**（BQ）／ラフ画質　15kB
- **NORMAL**（NQ）／標準画質　22kB
- **ENHANCED**（EN）／準高画質　30kB
- **FINE**（FI）／高画質　42kB
- **SUPER FINE**（SF）／最高画質　56kB

設定

**5** **シャトルダイヤルを右に回し、ジョグダイヤルで音声記録（例：入）を設定して、シャトルダイヤルを右に回す**

カーソルが「アラーム記録」へ移動します。

〈ｱﾗｰﾑ記録設定〉
記録画質　：SUPER FINE
音声記録　：切
ｱﾗｰﾑ記録　：切
ｱﾗｰﾑｲﾝﾀｰﾘｰﾌﾞ　：ONLY
ﾌﾟﾛｸﾞﾗﾑ記録　：切
記録ﾚｰﾄ：　A30FPS.　持続期間：5秒
ﾌﾟﾘｱﾗｰﾑ記録　：＊＊＊

**注意：**
- **音声記録は「記録レート」が1FPS～60FPSのときに設定できます。**
- **“入”に設定にすると、「記録レート」の録画スピードの前に［A（音声記録表示）］表示と最大記録枚数を下記（画面下部）に表示します。**
  **=〉（30200 回 アラーム記録可能）**

**6** **シャトルダイヤルを右に回し、ジョグダイヤルでアラーム記録（例：入）を設定して、シャトルダイヤルを回す**

カーソルが「アラームインターリーブ」へ移動します。

**表示例：アラーム録画の選択**
- **切：**アラーム録画をおこなわない。
- **入：**タイマー録画に関係なく常時、アラーム録画をおこないます。
- **タイマー中アラーム：**タイマー録画中のみアラーム録画をおこないます。
- **タイマー外アラーム：**タイマー録画中以外のときのみアラーム録画をおこないます。
- **タイマー中アラームのみ：**タイマー設定で設定した時間中のみアラーム録画をおこないます。タイマー記録はおこないません。

**注意：アラーム録画を“入”などに選択すると「プリアラーム記録」の設定が可能（＊＊＊から“切”になる）になります。**

**7** **シャトルダイヤルを右に回し、ジョグダイヤルでアラームインターリーブ（例：SW）を選択して、シャトルダイヤルを右に回す**

カーソルが「プログラム記録」へ移動します。

〈ｱﾗｰﾑ記録設定〉
記録画質　：SUPER FINE
音声記録　：切
ｱﾗｰﾑ記録　：入
ｱﾗｰﾑｲﾝﾀｰﾘｰﾌﾞ　：SW
ﾌﾟﾛｸﾞﾗﾑ記録　：切
記録ﾚｰﾄ：　A30FPS.　持続期間：5秒
ﾌﾟﾘｱﾗｰﾑ記録　：＊＊＊

**表示例**
- **ONLY：** （☞ P62）
- **SW：** （☞ P62）

**8** **シャトルダイヤルを右に回し、ジョグダイヤルで記録レート（例：10）を設定して、シャトルダイヤルを右に回す**

「持続期間」の“5秒”が点滅します。

**注意：記録レートを選択すると、最大記録枚数を下記（画面下部）に表示します。**
**=〉（20480 回 アラーム記録可能）**

**9** **ジョグダイヤルを回して持続時間（例：5秒）を設定して、シャトルダイヤルを右に回す**

カーソルが「プリアラーム記録」へ移動します。

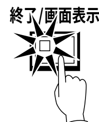
**表示例：**
- **5秒～15分：**すべてのカメラの持続時間が設定されます。
- **CC：**アラームが“入”の間（最短1秒）動作します。
- **カメラ毎：**各カメラごとに持続時間を設定します。

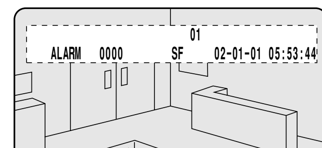
〈ｱﾗｰﾑ記録設定〉
記録画質　：SUPER FINE
音声記録　：切
ｱﾗｰﾑ記録　：入
ｱﾗｰﾑｲﾝﾀｰﾘｰﾌﾞ　：SW
ﾌﾟﾛｸﾞﾗﾑ記録　：P-1
記録ﾚｰﾄ：　A10FPS.　持続期間：5秒
ﾌﾟﾘｱﾗｰﾑ記録　：＊＊＊
記録ﾚｰﾄ：　＊＊＊＊ FPS.　持続期間：＊＊＊
=〉（16000 回ｱﾗｰﾑ記録可能）
ｱﾗｰﾑﾄﾘｶﾞｰ　：外部

**10** **終了/画面表示ボタンを押す**

通常の画面へ戻ります。アラーム設定表示が操作表示部に表示します。アラームが入ると「アラームインターリーブ」のアラーム録画方法でアラーム映像が録画されます。また、モニタにはアラーム回数が表示されます。

終了/画面表示





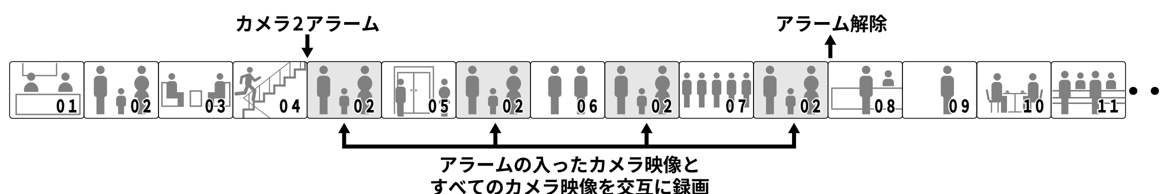

**注意：アラーム記録中に異なるチャンネルのアラームを受けると、アラームカウントが増えてアラームとしては2つのアラームとなります。同じチャンネルの場合は、1つのアラーム（アラームカウントを数えない）となります。**

設定

## A SW

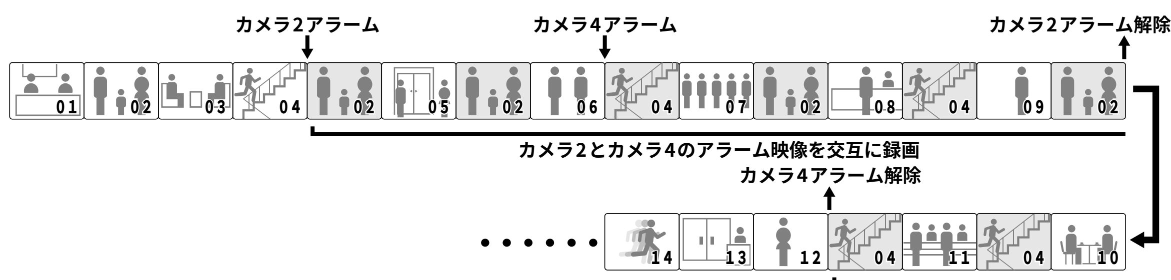
アラームが入ったカメラ映像と接続されているすべてのカメラ映像を交互に録画します。複数のアラームが入った場合は、アラーム映像を1つずつ録画し、その間に通常のカメラ映像を録画します。

**●カメラ2にアラームが入った場合の録画パターン**




**注意：「プログラム記録」を指定した場合は、そのプログラムで“ 入 ”になっているカメラ映像と交互で録画されます。**

**●2つ以上のアラーム「カメラ2、4」が入った場合の録画パターン**



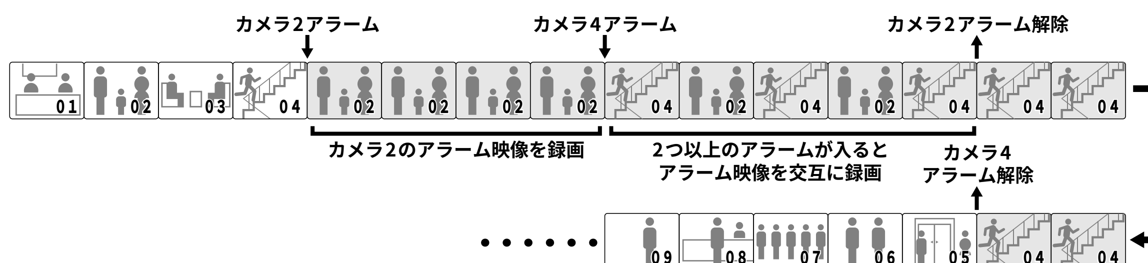

## B ONLY

アラームが入ったカメラ映像のみを録画します。
複数のアラームが入った場合は、アラーム映像を交互に録画します。

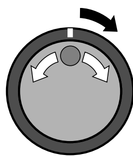
**●カメラ2にアラームが入った場合の録画パターン**




**●2つ以上のアラーム「カメラ2、4」が入った場合の録画パターン**



## ■プリアラーム録画の設定



```
〈ｱﾗｰﾑ記録設定〉
記録画質              :  SUPER FINE
音声記録              :  切
ｱﾗｰﾑ記録              :  入
ｱﾗｰﾑｲﾝﾀｰﾘｰﾌﾞ          :  SW
ﾌﾟﾛｸﾞﾗﾑ記録           :  切
  記録ﾚｰﾄ :     10FPS.   持続期間:  5秒
ﾌﾟﾘｱﾗｰﾑ記録           :  入
  記録ﾚｰﾄ :   **** FPS.   持続期間:  ***
  => ( 01010 回ｱﾗｰﾑ記録可能 )
ｱﾗｰﾑﾄﾘｶﾞｰ             :  外部
```

**1** **ジョグダイヤルで「アラーム記録」にカーソルを移動しシャトルダイヤルを右に回す**

"切"が点滅します。

**2** **ジョグダイヤルで"切"を他のモード（例：入）に選択して、シャトルダイヤルを右に回す**

「プリアラーム記録」の＊＊＊が"切"になります。カーソルは「記録レート」へ移動します。

**3** **ジョグダイヤルでカーソルを「プリアラーム記録」に移動させ、シャトルダイヤルを右に回す**

"切"が点滅します。

**4** **ジョグダイヤルで"切"を"入"に設定し、シャトルダイヤルを右に回す**

自動速度調整の警告メッセージが表示されます。

```
〈警告〉

ﾒﾆｭｰ内の各速度設定は、
自動的に修正されます。

設定変更しますか ?

いいえ

ｼﾞｮｸﾞで移動、  ｼｬﾄﾙで設定
```

**5** **警告メッセージに対してジョグダイヤルで"はい"を選択し、シャトルダイヤルを右に回す**

カーソルが「持続期間」の"5秒"に移動し点滅します。

**6** **ジョグダイヤルで持続時間を選択し、シャトルダイヤルを右に回す**

```
ｱﾗｰﾑｲﾝﾀｰﾘｰﾌﾞ          :  SW
ﾌﾟﾛｸﾞﾗﾑ記録           :  切
  記録ﾚｰﾄ :     10FPS.   持続期間:  5秒
ﾌﾟﾘｱﾗｰﾑ記録           :  入
  記録ﾚｰﾄ :   12.5FPS.   持続期間:  5秒
  => ( 01010 回ｱﾗｰﾑ記録可能 )
ｱﾗｰﾑﾄﾘｶﾞｰ             :  外部
```

**7** **ジョグダイヤルで持続時間（例：10秒）を設定し、シャトルダイヤルを右に回す**

カーソルが「アラームトリガー」へ移動します。

```
ｱﾗｰﾑｲﾝﾀｰﾘｰﾌﾞ          :  SW
ﾌﾟﾛｸﾞﾗﾑ記録           :  切
  記録ﾚｰﾄ :     10FPS.   持続期間:  5秒
ﾌﾟﾘｱﾗｰﾑ記録           :  入
  記録ﾚｰﾄ :   12.5FPS.   持続期間: 10秒
  => ( 01010 回ｱﾗｰﾑ記録可能 )
ｱﾗｰﾑﾄﾘｶﾞｰ             :  外部
```

**8** **ジョグダイヤルでカーソルを「プログラム記録」に移動させてシャトルダイヤルを右に回し、ジョグダイヤルでプログラムNO.（例：P-1）を設定して、シャトルダイヤルを右に回す**

カーソルが「記録レート」に移動します。

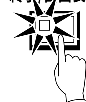
**表示例**

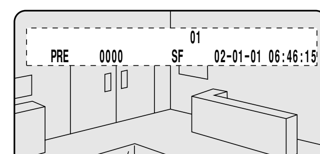
- **切：**すべてのカメラと同じ録画スピードでのプリアラーム映像を記録します。
- **P-1：**プログラムNO.1で記録する場合。
- **P-2：**プログラムNO.2で記録する場合。
- **P-3：**プログラムNO.3で記録する場合。
- **P-4：**プログラムNO.4で記録する場合。

**注意：プリアラーム録画を設定した場合は、プリアラームの録画スピードと通常録画の録画スピードは15FPSに固定されます。警告画面で確認を求めてきますので、"はい"を選択してください。**

**9** **終了/画面表示ボタンを押す**

通常の画面へ戻ります。操作表示部には"PRE"が表示されます。アラームが入ると"ALARM"表示に切り換わります。

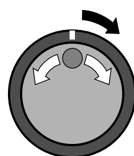



**注意：**

- **プリアラーム録画は、アラーム信号の入る前に「持続期間」で設定した時間で録画がおこなわれます。プリアラーム録画の映像を再生するときは、アラームサーチ（サーチボタン）操作をおこなってください。**
  **アラーム発生時点からの映像になりますので、シャトル操作で逆方向の再生をおこなってください。**
- **通常記録とプリアラーム記録を同時におこなう場合は、プリアラーム記録の映像には音声は記録されません。**

## ■アラームトリガーの設定



```
          <ｱﾗｰﾑ記録設定>
記録画質              :  SUPER FINE
音声記録              :  切
ｱﾗｰﾑ記録              :  入
ｱﾗｰﾑｲﾝﾀｰﾘｰﾌﾞ          :  ONLY
ﾌﾟﾛｸﾞﾗﾑ記録           :  切
  記録ﾚｰﾄ :    0.2FPS.  持続期間:  5秒
ﾌﾟﾘｱﾗｰﾑ記録           :  入
  記録ﾚｰﾄ :    0.2FPS.  持続期間:  5秒
  => ( 01010 回ｱﾗｰﾑ記録可能 )
ｱﾗｰﾑﾄﾘｶﾞｰ             :  外部
```

**1** **ジョグダイヤルでカーソルを「アラームトリガー」に移動する**

**2** **シャトルダイヤルを右に回し、ジョグダイヤルで侵入者の検出方法（例：Mセンサー）を選択し、シャトルダイヤルを右に回す**

カーソルが「記録画質」に移動します。

```
ｱﾗｰﾑｲﾝﾀｰﾘｰﾌﾞ          :  ONLY
ﾌﾟﾛｸﾞﾗﾑ記録           :  切
  記録ﾚｰﾄ :    0.2FPS.  持続期間:  5秒
ﾌﾟﾘｱﾗｰﾑ記録           :  入
  記録ﾚｰﾄ :    0.2FPS.  持続期間:  5秒
  => ( 01010 回ｱﾗｰﾑ記録可能 )
ｱﾗｰﾑﾄﾘｶﾞｰ             :  Mｾﾝｻｰ
```

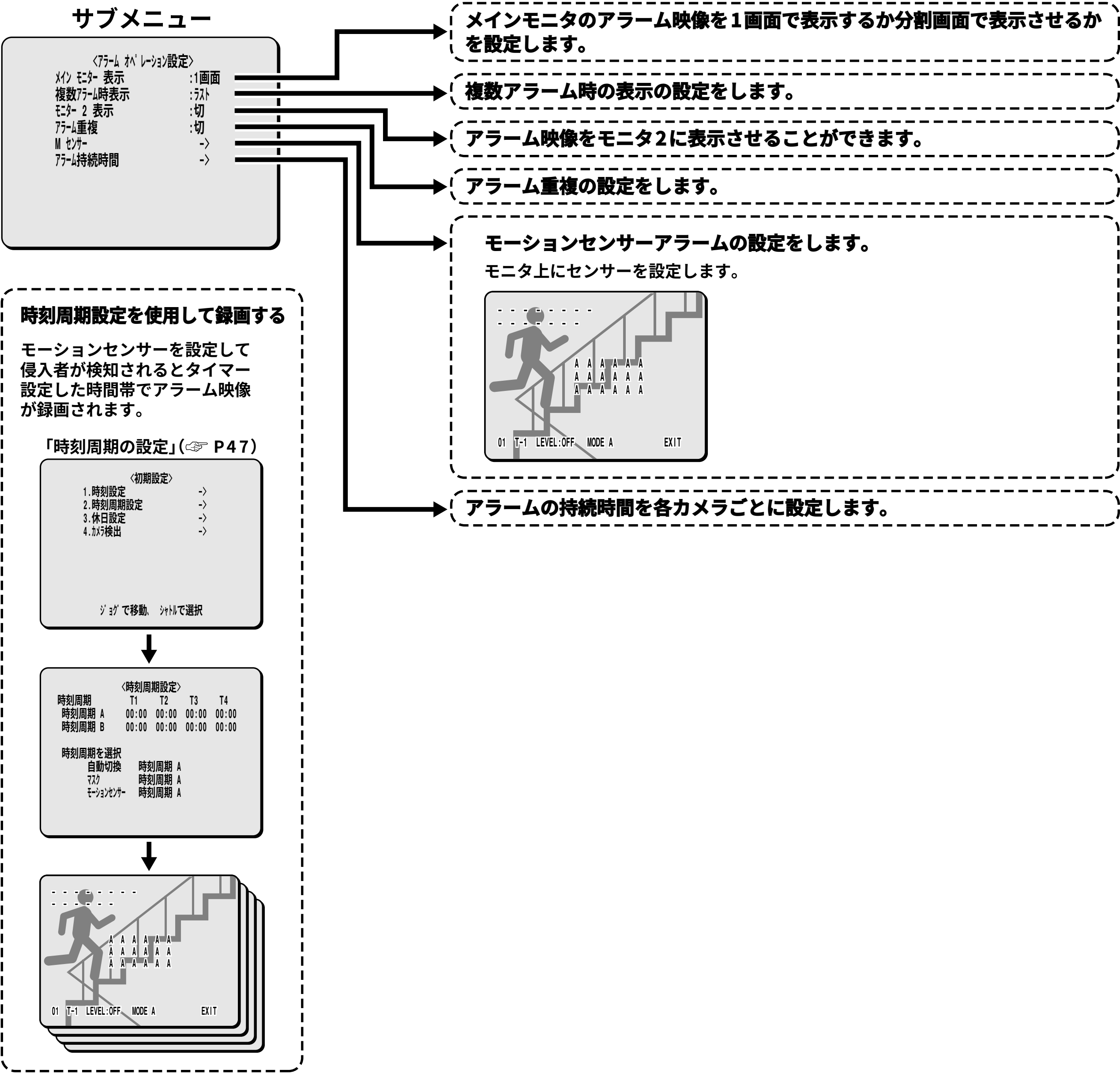
**表示例：アラーム記録のトリガーの種類を選択**

- **外部：**外部アラーム（後面パネルのアラーム入力端子にスイッチを取り付け、開閉による検出）が入ったときにアラーム録画します。
- **Mセンサー：**モーションセンサーが動きを検出したときのみアラーム録画します。モーションセンサーの設定をご覧ください。(☞ P68)
- **外部 AND Mセンサー：**外部アラームとモーションセンサーの両方が同時に反応するとアラーム録画する。
- **外部 OR Mセンサー：**外部アラームかモーションセンサーのどちらかが反応するとアラーム録画する。

**注意：**

- **Mセンサー（外部 AND Mセンサー、外部 OR Mセンサー）を選択した場合はモーションセンサーの設定が必要です。**
- **モーションセンサーでアラーム記録中に記録を中止するときは、メニュー画面の〈アラームオペレーション設定〉でシャトルダイヤルを右に回してください。モーションセンサーの画面になりますので「LEVEL」を“ OFF ”にしてください。**

## G アラームの設定

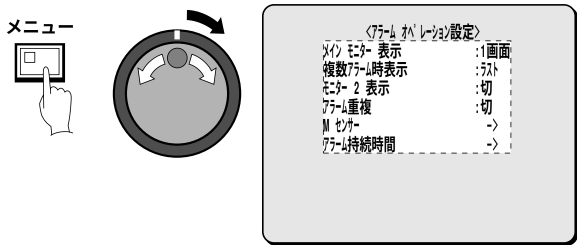

サブメニュー
<アラーム オペレーション設定>
メイン モニター 表示 :1画面
複数アラーム時表示 :ラスト
モニター 2 表示 :切
アラーム重複 :切
M センサー ->
アラーム持続時間 ->
メインモニタのアラーム映像を1画面で表示するか分割画面で表示させるかを設定します。
複数アラーム時の表示の設定をします。
アラーム映像をモニタ2に表示させることができます。
アラーム重複の設定をします。
モーションセンサーアラームの設定をします。
モニタ上にセンサーを設定します。
01 T-1 LEVEL:OFF MODE A EXIT
アラームの持続時間を各カメラごとに設定します。
時刻周期設定を使用して録画する
モーションセンサーを設定して侵入者が検知されるとタイマー設定した時間帯でアラーム映像が録画されます。
「時刻周期の設定」(☞ P47)
<初期設定>
1.時刻設定 ->
2.時刻周期設定 ->
3.休日設定 ->
4.カメラ検出 ->
ジョグで移動、 シャトルで選択
<時刻周期設定>
時刻周期 T1 T2 T3 T4
時刻周期 A 00:00 00:00 00:00 00:00
時刻周期 B 00:00 00:00 00:00 00:00
時刻周期を選択
自動切換 時刻周期 A
マスク 時刻周期 A
モーションセンサー 時刻周期 A
01 T-1 LEVEL:OFF MODE A EXIT

設定

アラーム検出には、外部アラーム、モーションセンサーアラーム、無信号検出アラームの3種類があります。
アラーム設定とは、各アラーム時のモニタ表示やアラーム時の映像の録画方法などを設定します。

| アラームの種類 | 本体側の動作 | モニタ画面上の表示 |
|---|---|---|
| **外部アラーム検知**<br>本機後面のアラーム入力端子にドアスイッチなど設置して開閉すると侵入者の検知をおこなうことができます。 | アラームが発生すると、アラームが発生したカメラ選択ボタンのランプ（例：4）とアラームランプが点滅します。 | アラームが発生したカメラ映像（例：4）になり、画面に外部アラーム表示（EA）がでます。<br>外部アラームの場合<br>カメラ番号<br>EA 04<br>EN 02-06-16 18:18:13 |
| **モーションセンサーアラーム検知**<br>モーションセンサーの感度設定によりモニタ画面上で侵入者の検知をおこなうことができます。検知するとブザーが鳴ります。<br>01 T-1 LEVEL:OFF MODE A EXIT | 電源 残量警告 アラーム残量警告<br>1 2 3 4<br>9 10 11 12<br>4 | アラームが発生したカメラ映像（例：4）になり、画面にセンサーアラーム表示（SA）がでます。<br>センサーアラームの場合<br>カメラ番号<br>SA 04<br>EN 02-06-16 14:18:13 |
| **無信号検出アラーム**<br>突然の事故などでカメラ映像が途切れた場合は、途切れる直前の映像（静止画またはテストパターン）を録画することができます。 | | アラームが発生すると画面は静止画またはテストパターンになり、画面に無信号検出アラーム表示（VIDEO LOSS）がでます。<br>VIDEO LOSS<br>静止画<br>VIDEO LOSS<br>テストパターン |

## ■アラーム表示の設定

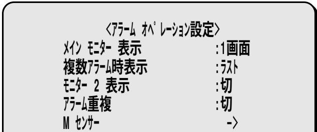



**1 メニューボタンを押して「記録設定」でシャトルダイヤルを右に回す**

〈記録設定〉のサブメニューになり、カーソルが「記録領域設定」に移動しています。

**2 ジョグダイヤルで「アラームオペレーション設定」にカーソルを移動させ、シャトルダイヤルを右に回す**

〈アラームオペレーション設定〉のサブメニューになり、カーソルが「メインモニター表示」に移動しています。




**3 シャトルダイヤルを右に回す**

“ 1画面 ”が点滅します。

**表示例**

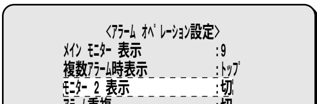
- **1画面：**アラーム検出時、メインモニタはアラームを受けたチャンネルの映像が1画面表示します。
- **16画面：**アラーム検出時、16画面表示します。
- **9画面：**アラーム検出時、メインモニタは9画面表示します。
- **NC：**アラームを検出してもメインモニタは変化しません。

**4 ジョグダイヤルでメインモニター表示（例：9画面）を選択し、シャトルダイヤルを右に回す**

カーソルが「複数アラーム時表示」へ移動します。

**5 シャトルダイヤルを右に回し、ジョグダイヤルで複数アラーム時表示（例：トップ）を設定して、シャトルダイヤルを右に回す**

カーソルが「モニター2表示」へ移動します。




**表示例**

- **ラスト：**複数のアラームが重なった場合、後ろから受けたアラーム映像を優先して表示します。
- **トップ：**複数のアラームが重なった場合、最初に受けたアラーム映像のみを表示し、後ろから入ったアラーム映像は表示しません。
- **切換：**複数のアラームが重なった場合、重なったアラーム映像を1秒間隔で切り換えて表示します。

**6 ジョグダイヤルでモニタ2表示（例：切）を設定して、シャトルダイヤルを右に回す**

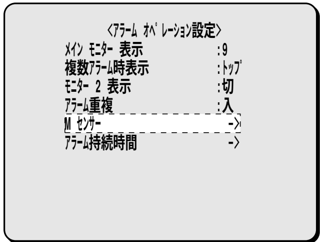
カーソルが「アラーム重複」へ移動します。

**表示例**

- **入：**アラームが入るとモニタ2にアラーム映像が表示します。
- **切：**モニタ2にはアラーム映像は表示されません。

**7 シャトルダイヤルを右に回し、ジョグダイヤルでアラーム重複を（例：入）に設定してシャトルダイヤルを右に回す**

カーソルが「Mセンサー」へ移動します。




**表示例**

- **入：**アラーム録画のアラーム接続時間中に同じチャンネルのアラームを受けると、持続時間が延長されます。
- **切：**同じチャンネルのアラームを受けても持続時間は延長されません。

**8 終了/画面表示ボタンを押す**

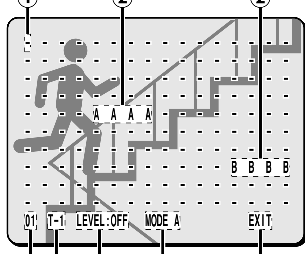
通常の画面に戻ります。




設定

## ■モーションセンサーの設定
### （初期設定：切）

**各カメラの映像上にモーションセンサーを表示させて、侵入者などの検知設定をおこないます。モーションセンサーは下記の様な働きをします。**




**①モーションセンサー「切」の状態**
ジョグダイヤルを回すと、カーソルが移動します。

**②センサー設定**
シャトルダイヤルを右に回と、「A」「B」「ー」の設定ができます。センサー検出位置に応じてAまたはBを設定してください。1行単位でセンサー設定する場合は、カーソルをその行に移動して、“ メニューリセット ”を押し、「A」「B」「ー」を設定してください。

**③カメラの表示**
カメラ選択ボタンを押すと、カメラ番号が切り換わります。センサーアラームを設定するカメラをカメラ選択ボタンで選んでください。

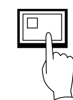
**④モーションセンサー作動時間の設定**
「時刻周期設定」で設定した時間帯（T-1～4）を選択します。選択した時間帯のみ、設定したセンサー感度のモーションセンサーでアラームの検知をすることができます。
（☞ P47）

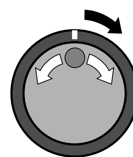
**⑤モーションセンサー感度の設定**
センサーの感度を設定します。
- センサー感度
  1、2、3、4・・・（数字が多いほど感度が悪い）、OFF

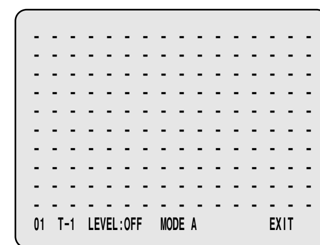
**⑥モーションセンサーの検知設定**
- **A：**Aに動きのある被写体を検知するとモーションセンサーアラームとなります。
- **A AND B：**AのポイントとBのポイントの両方のセンサーにふれている被写体を検知するとモーションセンサーアラームとなります。
- **A AND NB：**Aを重要品（被写体）のポイントにしてBを動きのない被写体にポイントを合わせておくと、画面全体の明るさなどには反応せずにポイントAの被写体を検知するとモーションセンサーアラームとなります。
- **B TO A：**BのポイントからAのポイントに通過する被写体の動きが変化するとモーションセンサーアラームとなります。
- **C：**画面全体が均一な状態に変化した場合にモーションセンサーアラームとなります。スプレーなどがかかると反応します。（センサー設定の必要はありません）

**⑦設定の終了**
選択すると前画面に戻ります。

メニュー








**1　〈時刻周期設定〉で「時刻周期A」と「時刻周期B」の各タイマー設定をおこなってから「モーションセンサー」を選択してください（☞ P47）**

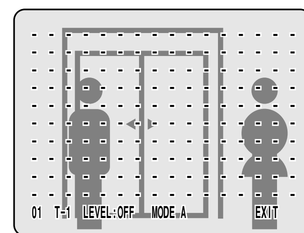
**2　メニューボタンを押して「記録設定」でシャトルダイヤルを右に回す**
〈記録設定〉のサブメニューになり、カーソルが「記録領域設定」に移動しています。

**3　ジョグダイヤルで「アラームオペレーション設定」にカーソルを移動させ、シャトルダイヤルを右に回す**
〈アラームオペレーション設定〉のサブメニューになり、カーソルが「メインモニター表示」に移動しています。

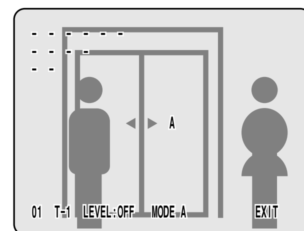
**4　ジョグダイヤルで「Mセンサー」にカーソルを移動させ、シャトルダイヤルを右に回す**
モーションセンサーの設定画面が表示します。

**5　カメラ選択ボタン（例：5）を押す**
モーションセンサーを設定させたいカメラ番号を選択してください。




**6　ジョグダイヤルでカーソルを画面中央に移動させ、シャトルダイヤルを右に回して「A」を表示させる**
同じ手順で中央に「A」を表示させます。



**7** **ジョグダイヤルでカーソルを「T-1」に移動させ、シャトルダイヤルを右に回して、“ T-2 ”に設定する**

01　T-2　LEVEL:OFF　MODE A　　EXIT

**8** **ジョグダイヤルでカーソルを「LEVEL」の“ OFF ”に移動させ、シャトルダイヤルを右に回して、感度を“ 2 ”に設定する**

01　T-2　LEVEL:2　MODE A　　EXIT

**9** **ジョグダイヤルでカーソルを「MODE」に移動させ、シャトルダイヤルを右に回して、“ A ”を選択する**

01　T-2　LEVEL:5　MODE A　　EXIT

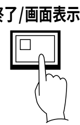
**10** **ジョグダイヤルでカーソルを「EXIT」に移動させ、シャトルダイヤルを右に回す**

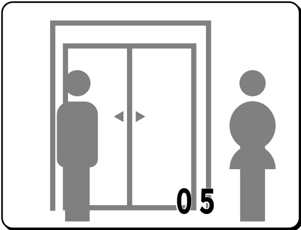
設定が終了します。

01　T-2　LEVEL:5　MODE A　　EXIT

**11** **終了/画面表示ボタンを押す**

カメラ映像の表示画面に戻ります。
カメラ05の映像の中央部に侵入者が侵入するとアラームとなります。

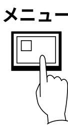


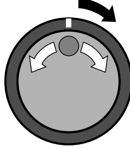



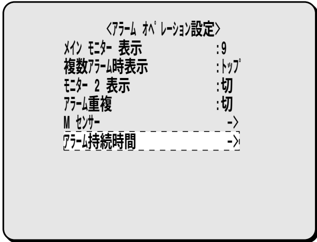

**注意：設定画面で感度のチェックができます。検知するとブザー（ピッ音）が鳴ります。感度を強くしすぎると光の多少の変化にも反応します。設置環境に応じて設定してください。**

## ■アラーム持続時間の設定

**各カメラに、アラームの持続時間を個別に設定することができます。〈アラーム記録設定〉の「持続期間」が“ カメラ毎 ”のときのみ設定できます。（☞ P60）**






**1** **メニューボタンを押して「記録設定」でシャトルダイヤルを右に回す**

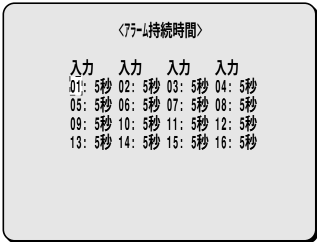
〈記録設定〉のサブメニューになり、カーソルが「記録領域設定」に移動しています。

**2** **ジョグダイヤルで「アラームオペレーション設定」にカーソルを移動させ、シャトルダイヤルを右に回す**

〈アラームオペレーション設定〉のサブメニューになり、カーソルが「メインモニター表示」に移動しています。

**3** **ジョグダイヤルで「アラーム持続時間」にカーソルを移動させ、シャトルダイヤルを右に回す**

〈アラーム持続時間〉のサブメニューになり、カーソルが「01（カメラ1）」に移動しています。



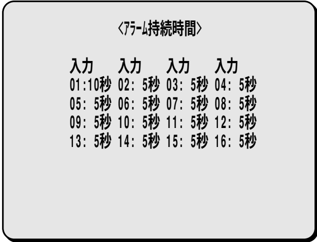

**4** **シャトルダイヤルを右に回し、ジョグダイヤルでアラーム持続時間（例：10秒）を設定し、シャトルダイヤルを右に回す**

カメラ1がアラームを受けると、10秒間アラームを受け付けます。カーソルが「02」に移動します。

**表示例：**

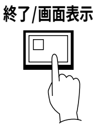
- **5秒～15分：**アラーム接続時間を設定してください。
- **CC：**アラームが“ 入 ”の間（最短1秒）動作します。

**5** **同じ手順で他のカメラのアラーム持続時間を設定する**




**6** **終了/画面表示ボタンを押す**

通常の画面に戻ります。



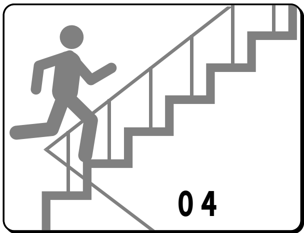

## ■アラーム解除

### ☞ アラームの入ったカメラ映像が1画面表示されている場合

**1** **1画面表示されているカメラ選択ボタンを約3秒間押す**

アラームが解除されます。




### ☞ アラームの入ったカメラ映像が多画面表示されている場合

**1** **アラームの入っているカメラ映像のカメラ選択ボタンを押す**

アラーム映像が1画面表示します。



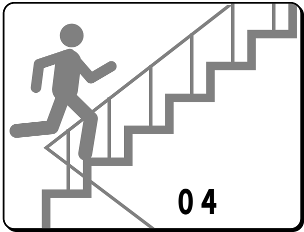


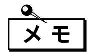


**2** **再度、カメラ選択ボタンを約3秒間押す**

アラームが解除されます。

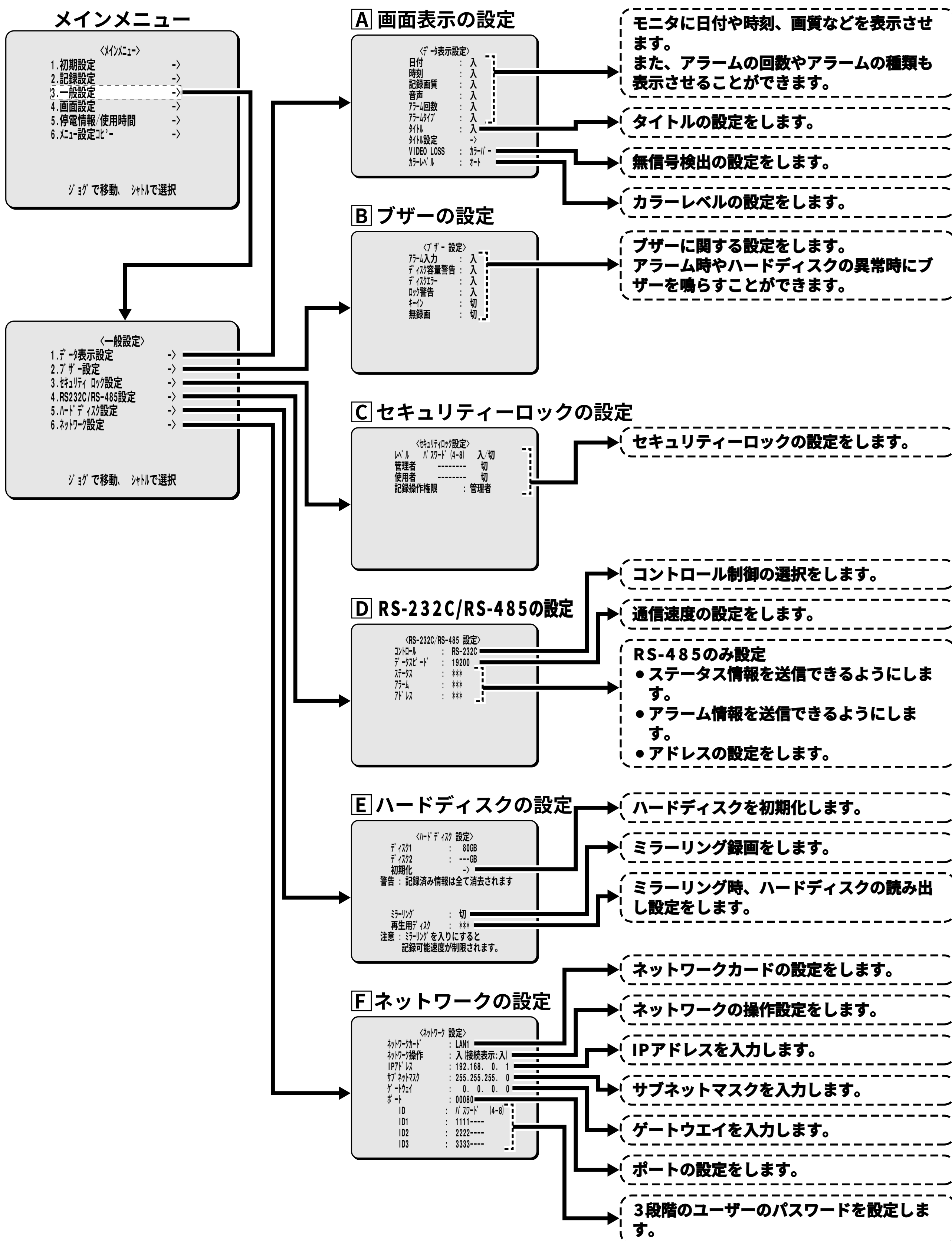



**アラームの解除は、本機後面パネルのクリアボタンでも解除できます。**

# 一般設定



メインメニュー
〈メインメニュー〉
1.初期設定 ->
2.記録設定 ->
3.一般設定 ->
4.画面設定 ->
5.停電情報/使用時間 ->
6.メニュー設定コピー ->
ジョグで移動、シャトルで選択
〈一般設定〉
1.データ表示設定 ->
2.ブザー設定 ->
3.セキュリティ ロック設定 ->
4.RS232C/RS-485設定 ->
5.ハードディスク設定 ->
6.ネットワーク設定 ->
ジョグで移動、シャトルで選択
A 画面表示の設定
〈データ表示設定〉
日付 : 入
時刻 : 入
記録画質 : 入
音声 : 入
アラーム回数 : 入
アラームタイプ : 入
タイトル : 入
タイトル設定 ->
VIDEO LOSS : カラーバー
カラーレベル : オート
モニタに日付や時刻、画質などを表示させます。
また、アラームの回数やアラームの種類も表示させることができます。
タイトルの設定をします。
無信号検出の設定をします。
カラーレベルの設定をします。
B ブザーの設定
〈ブザー 設定〉
アラーム入力 : 入
ディスク容量警告 : 入
ディスクエラー : 入
ロック警告 : 入
キーイン : 切
無録画 : 切
ブザーに関する設定をします。
アラーム時やハードディスクの異常時にブザーを鳴らすことができます。
C セキュリティーロックの設定
〈セキュリティロック設定〉
レベル パスワード (4-8) 入/切
管理者 -------- 切
使用者 -------- 切
記録操作権限 : 管理者
セキュリティーロックの設定をします。
D RS-232C/RS-485の設定
〈RS-232C/RS-485 設定〉
コントロール : RS-232C
データスピード : 19200
ステータス : ***
アラーム : ***
アドレス : ***
コントロール制御の選択をします。
通信速度の設定をします。
RS-485のみ設定
● ステータス情報を送信できるようにします。
● アラーム情報を送信できるようにします。
● アドレスの設定をします。
E ハードディスクの設定
〈ハードディスク 設定〉
ディスク1 : 80GB
ディスク2 : ---GB
初期化 ->
警告 : 記録済み情報は全て消去されます
ミラーリング : 切
再生用ディスク : ***
注意 : ミラーリングを入りにすると
記録可能速度が制限されます。
ハードディスクを初期化します。
ミラーリング録画をします。
ミラーリング時、ハードディスクの読み出し設定をします。
F ネットワークの設定
〈ネットワーク 設定〉
ネットワークカード : LAN1
ネットワーク操作 : 入(接続表示:入)
IPアドレス : 192.168. 0. 1
サブネットマスク : 255.255.255. 0
ゲートウェイ : 0. 0. 0. 0
ポート : 00080
ID : パスワード (4-8)
ID1 : 1111----
ID2 : 2222----
ID3 : 3333----
ネットワークカードの設定をします。
ネットワークの操作設定をします。
IPアドレスを入力します。
サブネットマスクを入力します。
ゲートウエイを入力します。
ポートの設定をします。
3段階のユーザーのパスワードを設定します。

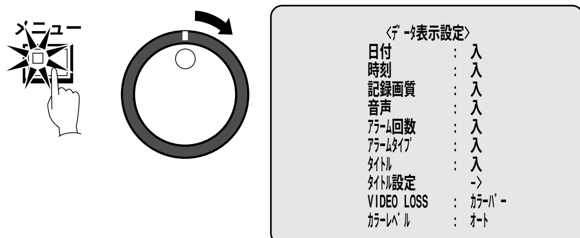

設定

## A 画面表示の設定

**モニタに表示される操作表示部の表示設定をします。**

### ■データ表示の設定

**録画中や再生中に〈時刻設定〉で設定した日付・時刻などをモニタ画面に表示することができます。初期設定はすべて“ 入 ”設定ですので本設定項目は全て画面表示しています。必要に応じて“ 切 ”に切り換えてください。**




**1 メニューボタンを押して「一般設定」でシャトルダイヤルを右に回す**

〈一般設定〉のサブメニューになり、カーソルが「データ表示設定」に移動しています。

**2 シャトルダイヤルを右に回す**

〈データ表示設定〉のサブメニューになり、カーソルが「日付」に移動しています。

**3 シャトルダイヤルを右に回す**

“ 入 ”が点滅します。ジョグダイヤルで“ 切 ”にすると日付が操作表示から消えます。

**4 シャトルダイヤルを右に回す**

カーソルが「時刻」に移動します。

**5 シャトルダイヤルを右に回す**

“ 入 ”が点滅します。ジョグダイヤルで“ 切 ”にすると時刻が操作表示から消えます。

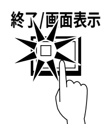
**6 同じ手順（3と4）で、必要に応じて次の設定の入／切を切り換えてください。**

- **記録画質（切）：**記録中および再生中の画質モードを表示しません。
- **音声（切）：**記録中および再生中の音声記録表示をしません。
- **アラーム回数（切）：**現在のアラーム件数を表示しません。
- **アラームタイプ（切）：**アラーム録画の種類を表示しません。
- **タイトル（切）：**カメラタイトルを表示しません。

**注意：**
- **〈アラーム記録設定〉の「アラーム記録」が“ 切 ”の場合には、「アラーム回数」と「アラームタイプ」は表示されません。**
- **“ 入 ”設定の場合**
  - **・アラーム録画の場合は操作表示部には“ ALARM ”表示になる**
  - **・プリアラーム録画の場合は操作表示部には“ PRE ”表示になる**
  - **・バックアップ領域を再生している場合は“ ARCHIVE ”になる**

**7 終了/画面表示ボタンを押す**

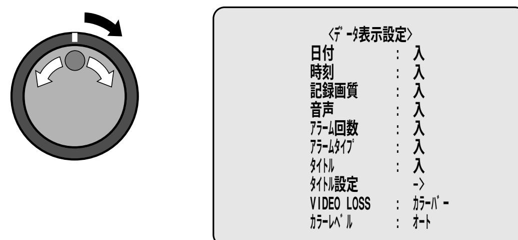
通常の画面へ戻ります。




### ■タイトルの設定

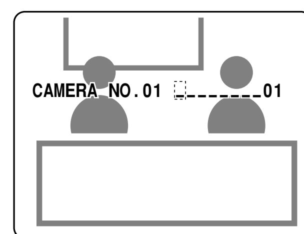
**各カメラに、設置している場所などのタイトルを設定するとモニタ上にタイトルを表示させることができます。**

**例 カメラ3に「HALL-1F」のタイトルを付ける**



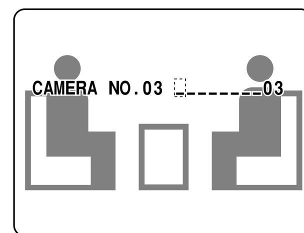

**1 ジョグダイヤルで「タイトル設定」にカーソルを移動させ、シャトルダイヤルを右に回す**

通常の監視画面になり、タイトルの設定項目が画面中央部に表示します。




**2 カメラ選択ボタン3を押す**

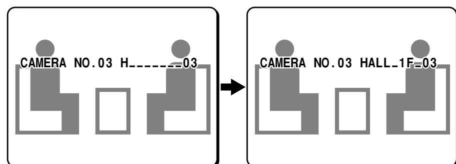
モニタにカメラ3の映像が表示され、カーソルがタイトル設定の最初の位置になります。




設定

**3** **ジョグダイヤルで“ H ”を表示させて、シャトルダイヤルを右に回す**

カーソルが右に移動します。同じ操作でタイトル「HALL-1F」を入力してください。



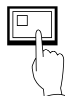

メモ

**タイトルを変更する場合は、シャトルダイヤルを右に回して変更する文字にカーソルを移動させてから文字を再入力してください。**

**注意：タイトルで表示できる文字**
- **アルファベット：A～Z**
- **数字：0～9**
- **記号：-、:、.、/、＊、ブランク**

**4** **終了/画面表示ボタンを押す**

通常の画面に戻ります。




## ■無信号検出の設定

**ジョグダイヤルで「VIDEO LOSS」にカーソルを移動させ、シャトルダイヤルを右に回す**

“ 静止画 ”が点滅します。この状態でカメラ映像などが途切れると画面に“ 無信号検出！ ”と表示され映像が静止画になります。

**表示例**
- **切：**映像が途切れても途切れたままの状態で表示します。
- **静止画：**映像が途切れる前の映像を静止画で表示します。
- **カラーバー：**映像が途切れるとテストパターンで表示します。

**注意：コントロール端子の出力選択は静止画、カラーバーを選択した場合、VIDEO LOSSの信号出力となり、切 を選択した場合は録画停止出力の信号となります。**

## ■カラーレベルの設定

**1** **ジョグダイヤルで「カラーレベル」にカーソルを移動させ、シャトルダイヤルを右に回す**

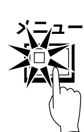
“ オート ”が点滅します。

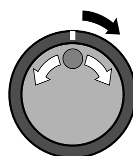
**2** **ジョグダイヤルで（例：オート）を選択し、シャトルダイヤルを右に回す**

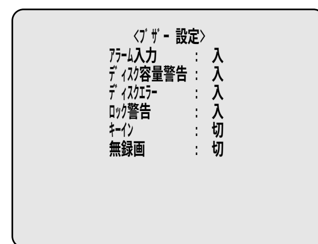
**表示例：**
- **オート：**カラーレベルを自動で調節します。
- **1～10：**手動で10段階の調節をします。

## B ブザーの設定

**アラーム時やハードディスクの容量が不足すると、ブザーを鳴らし警告を音で知らせることができます。**






**1** **メニューボタンを押して「一般設定」でシャトルダイヤルを右に回す**

〈一般設定〉のサブメニューになり、カーソルが「データ表示設定」に移動しています。

**2** **ジョグダイヤルでカーソルを「ブザー設定」に移動させ、シャトルダイヤルを右に回す**

〈ブザー設定〉のサブメニューになり、カーソルが「アラーム入力」に移動しています。

**3** **シャトルダイヤルを右に回す**

“ 切 ”が点滅します。ジョグダイヤルで“ 入 ”または“ 切 ”のどちらかを選択してください。
- **入：**アラームが入るとブザーが鳴ります。

**4** **同じ手順で必要に応じてブザー設定（入／切）を切り換えてください。**

- **ディスク容量警告（入）：**上書き禁止の場合に、ハードディスクの残量が不足するとブザーを鳴らす設定です。
- **ディスクエラー（入）：**ハードディスクに異常が発生したときに、ブザーを鳴らす設定です。
- **ロック警告（入）：**セキュリティーロック時にロックされたボタンを押すと、ブザーを鳴らす設定です。

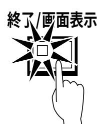
**注意：“ 入 ”設定の場合、0.5秒程度の周期で2回ブザーがなります。**

- **キーイン（入）：**操作ボタンを操作するたびにブザーを鳴らす設定です。
- **無録画（入）：**録画を停止したときや他の者が故意に録画を停止させたときにブザーを鳴らす設定です。

設定

**5** **終了/画面表示ボタンを押す**

通常の画面へ戻ります。



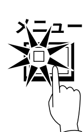

## C セキュリティーロックの設定

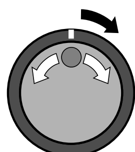
**本機は管理者、使用者または双方によるパスワード設定ができます。パスワード設定により録画・再生時の操作優先権の選択ができます。そして、セキュリティーロック設定後にパスワード設定者以外の者が本機の操作ボタンに触れるとブザーが鳴りパスワード入力が必要になります。設定したパスワードは必ず控えておいてください。**

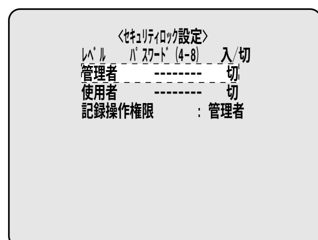
### ■操作権の設定とセキュリティーロック

**☞ 管理者のパスワード設定**

**例 パスワードを「123456AB」に設定する**






**1** **メニューボタンを押して「一般設定」でシャトルダイヤルを右に回す**

〈一般設定〉のサブメニューになり、カーソルが「データ表示設定」に移動しています。

**2** **ジョグダイヤルでカーソルを「セキュリティーロック設定」に移動させ、シャトルダイヤルを右に回す**

〈セキュリティロック設定〉のサブメニューになり、カーソルが「管理者」に移動しています。

**注意：**
- **レベル パスワード（4--8）入／切はタイトルです。変更はできません。**
- **「管理者」の設定が“ 切 ”の場合は「使用者」のパスワード設定はできません。**
- **パスワードは4桁から8桁の数字とアルファベットの組合せで設定できます。**
- **ハードディスクの初期化や記録領域の設定、記録再開許可をおこなう場合は、管理者のパスワードが必要です。初期値は"0000"です。**

**3** **シャトルダイヤルを右に回す**

パスワード入力の最初の“ **-** ”が点滅します。

**管理者 -------- 切**

**4** **ジョグダイヤルで“ 1 ”を表示させ、シャトルダイヤルを回す**

パスワード入力の2番目の“ **-** ”が点滅します。
- **パスワード入力の選択項目：** 0、1〜9、A、B〜Z

**注意：数字キー入力でも設定できます。(☞ P45)**

**管理者 1------- 切**

**5** **ジョグダイヤルで“ 2 ”を表示させ、シャトルダイヤルを回す**

パスワード入力の3番目の“ **-** ”が点滅します。

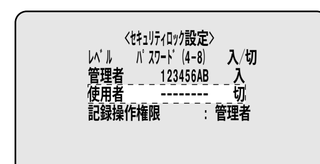
**管理者 12------ 切**

**6** **同じ手順で“ 3456AB ”を設定し、シャトルダイヤルを右に回す**

カーソルが“ 切 ”(点滅) に移動します

**7** **ジョグダイヤルで“ 入 ”に設定し、シャトルダイヤルを右に回す**

カーソルが「使用者」に移動します。



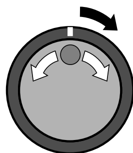

**8** **「使用者」のパスワードを設定する**

「**使用者のパスワード設定**」をおこなってください。使用者設定をおこなわない場合はこれで終了です。
ジョグダイヤルでカーソルを「記録操作権限」に移動させて「**録画・再生時の操作優先権の設定**」をおこなってください。(☞ P75)

**注意：4桁のパスワードを設定する場合は5桁目に“ − ”を表示した状態でシャトルダイヤルを右に回してください。**

### ☞ 使用者のパスワード設定

**例　パスワードを「AB123456」に設定する**



〈セキュリティロック設定〉
レベル　パスワード（4-8）　入/切
管理者　123456AB　切
使用者　AB123456　切
記録操作権限　：管理者

**1** **ジョグダイヤルでカーソルを「使用者」に移動させてシャトルダイヤルを右に回す**

パスワード入力の最初の“ - ”が点滅します。

使用者　--------　切

**2** **ジョグダイヤルで“ A ”を表示させ、シャトルダイヤルを回す**

パスワード入力の2番目の“ - ”が点滅します。

● **パスワード入力の選択項目：** 0、1〜9、A、B〜Z

使用者　A-------　切

**3** **ジョグダイヤルで“ B ”を表示させ、シャトルダイヤルを回す**

パスワード入力の3番目の“ - ”が点滅します。

使用者　AB------　切

**4** **同じ手順で“ 123456 ”を設定し、シャトルダイヤルを右に回す**

カーソルが“ 切 ”（点滅）に移動します。

**5** **ジョグダイヤルで“ 入 ”に設定し、シャトルダイヤルを右に回す**

カーソルが「記録操作権限」に移動します。
「**録画・再生時の操作優先権の設定**」をおこなってください。

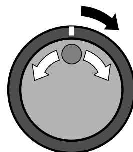
〈セキュリティロック設定〉
レベル　パスワード（4-8）　入/切
管理者　--------　切
使用者　AB123456　入
記録操作権限　：管理者

### ☞ 録画・再生時の操作優先権の設定

## ■ 操作優先権の選択

**各項目の入／切、管理者／使用者設定により動作内容が異なります。**

| 設定例 | 動作内容 |
|---|---|
| レベル　パスワード（4-8）　入/切<br>管理者　123456AB　入<br>使用者　AB123456　入<br>記録操作権限　：管理者 | すべての操作がロックされます。パスワード入力画面に使用者のパスワードを入力すると、再生関係の操作のみが操作できます。管理者のパスワードを入力するとすべての操作ができます。 |
| 管理者　123456AB　入<br>使用者　AB123456　入<br>記録操作権限　：使用者 | すべての操作がロックされます。パスワード入力画面に使用者のパスワードを入力すると、再生と録画関係の操作のみが操作できます。管理者のパスワードを入力するとすべての操作ができます。 |
| 管理者　123456AB　入<br>使用者　--------　切<br>記録操作権限　：管理者 | 録画とメニュー関係の操作がロックされます。再生関係はロックされません。パスワード入力画面に管理者のパスワードを入力するとすべての操作ができます。 |
| 管理者　123456AB　入<br>使用者　--------　切<br>記録操作権限　：使用者 | メニュー関係の操作がロックされます。録画と再生関係はロックされません。パスワード入力画面に管理者のパスワードを入力するとすべての操作ができます。 |



〈セキュリティロック設定〉
レベル　パスワード（4-8）　入/切
管理者　123456AB　入
使用者　AB123456　入
記録操作権限　：管理者

**1** **ジョグダイヤルでカーソルを「記録操作権限」に移動する**

**2** **シャトルダイヤルを右に回し、ジョグダイヤルで“ 管理者 ”または“ 使用者 ”を選択する**

これで設定は終了です。

〈セキュリティロック設定〉
レベル　パスワード（4-8）　入/切
管理者　123456AB　入
使用者　AB123456　入
記録操作権限　：管理者

**3** **終了/画面表示ボタンを押す**

通常の画面へ戻ります。

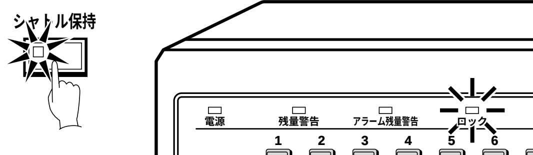



設定

### ☞ セキュリティーロックの設定

**1　通常の監視画面で、シャトル保持ボタンを約3秒間押す**

前面のロックランプが点灯してブザーが鳴り、セキュリティーロックが設定されます。

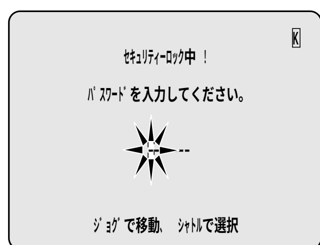



**2　セキュリティーロックの確認は、録画/停止ボタンかメニューボタンを押す**

パスワード入力画面が表示します。
表示は約5秒で消えます。

●録画/停止



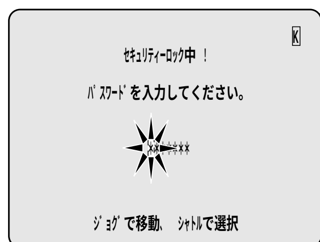



メモ

**＜解除方法＞**
**録画/停止、メニュー、再生/停止ボタンを押すとパスワード要求画面が表示します。パスワードを入力してください。数字のみ数字キー入力で入力できます。**

**3　ジョグダイヤルとシャトルダイヤルでパスワードを入力して、再度シャトルダイヤルを右に回す**

ロックランプが消えて通常画面に戻ります。



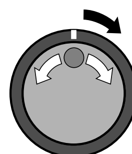

# D RS-232C/RS-485の設定

## ■RS-232C/RS-485の設定

**RS-232CとRS-485の通信に関する設定をします。**

**1　ジョグダイヤルで「コントロール」を選択し、シャトルダイヤルを右に回す**

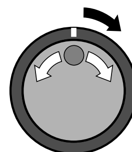
“ RS-232C ”が点滅します。ジョグダイヤルで“ RS-232C ”か“ RS-485 ”のどちらかを選択してください。



〈RS-232C/RS-485 設定〉
コントロール : RS-232C
データスピード : 19200
ステータス : ＊＊＊
アラーム : ＊＊＊
アドレス : ＊＊＊

## ■RS-232Cを選択する場合

**本機のRS-232C端子とパソコン間を別売のRS-232C専用ケーブルで接続してください。**（☞ P9）



〈RS-232C/RS-485 設定〉
コントロール : RS-232C
データスピード : 19200
ステータス : ＊＊＊
アラーム : ＊＊＊
アドレス : ＊＊＊

**1　ジョグダイヤルで“ RS-232C ”を選択し、シャトルダイヤルを右に回す**

カーソルが「データスピード」に移動しています。

**2　シャトルダイヤルを右に回し、ジョグダイヤルで通信速度（例：19200）を選択して、シャトルダイヤルを右に回す**

設定が終了し、カーソルが「コントロール」に移動します。

- **通信速度の選択項目：**
  2400、4800、9600、19200

〈RS-232C/RS-485 設定〉
コントロール : RS-232C
データスピード : 19200
ステータス : ＊＊＊
アラーム : ＊＊＊
アドレス : ＊＊＊

**3　終了/画面表示ボタンを押す**

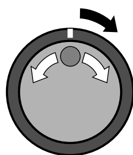
通常の画面へ戻ります




設定

### ■RS-485を選択する場合

**本機のコントロール端子のRS485（A、B）とシステムコントローラーなどを接続してください。（☞ P10）**



〈RS-232C/RS-485 設定〉
ｺﾝﾄﾛｰﾙ : RS-485
ﾃﾞｰﾀｽﾋﾟｰﾄﾞ : 19200
ｽﾃｰﾀｽ : 入
ｱﾗｰﾑ : 入
ｱﾄﾞﾚｽ : 000

**1** **シャトルダイヤルを右に回し、ジョグダイヤルで“RS-485”を選択し、シャトルダイヤルを右に回す**

カーソルが「データスピード」に移動しています。
「ステータス」、「アラーム」、「アドレス」の設定が可能になります。

**2** **シャトルダイヤルを右に回し、ジョグダイヤルで通信速度（例：19200）を選択して、シャトルダイヤルを右に回す**

- **通信速度の選択項目：**
  2400、4800、9600、19200

カーソルが「ステータス」に移動します。

**3** **シャトルダイヤルを右に回し、ジョグダイヤルでステータス情報（例：入）を選択して、シャトルダイヤルを右に回す**

- **入：**ステータス情報をRS485ラインで送信ができます。

カーソルが「アラーム」に移動します。

**4** **シャトルダイヤルを右に回し、ジョグダイヤルでアラーム情報（例：入）を選択して、シャトルダイヤルを右に回す**

- **入：**アラーム情報をRS485ラインで送信ができます。

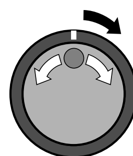
カーソルが「アドレス」に移動します。

**5** **シャトルダイヤルを右に回し、ジョグダイヤルでアドレス（例：37）を選択して、シャトルダイヤルを右に回す**

設定が終了し、カーソルが「コントロール」に移動します。

**注意：本機のアドレスを0～127までの間で設定してください。複数のハードディスクデジタルレコーダーを接続する場合には、アドレスが重複しないように注意してください。**

- **アドレス選択項目：**0から127まで



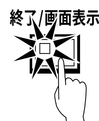
〈RS-232C/RS-485 設定〉
ｺﾝﾄﾛｰﾙ : RS-485
ﾃﾞｰﾀｽﾋﾟｰﾄﾞ : 19200
ｽﾃｰﾀｽ : 入
ｱﾗｰﾑ : 入
ｱﾄﾞﾚｽ : 037

▼

〈RS-232C/RS-485 設定〉
ｺﾝﾄﾛｰﾙ : RS-485
ﾃﾞｰﾀｽﾋﾟｰﾄﾞ : 19200
ｽﾃｰﾀｽ : 入
ｱﾗｰﾑ : 入
ｱﾄﾞﾚｽ : 037

**6** **終了/画面表示ボタンを押す**

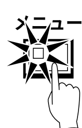
通常の画面へ戻ります。

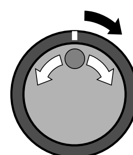



## E ハードディスクの設定

**ハードディスクの容量をディスク1（搭載）、ディスク2（搭載または増設用）に表示します。**

**注意：ハードディスクを増設（初期化）する前に、記録されている大切な映像はDAT、CD-Rドライブなどに事前に保存してください。**



〈ﾊｰﾄﾞﾃﾞｨｽｸ 設定〉
ﾃﾞｨｽｸ1 : 80GB
ﾃﾞｨｽｸ2 : ---GB
初期化 ->
警告 : 記録済み情報は全て消去されます

ﾐﾗｰﾘﾝｸﾞ : 切
再生用ﾃﾞｨｽｸ : ***
注意 : ﾐﾗｰﾘﾝｸﾞを入りにすると
記録可能速度が制限されます。

### ■ハードディスクの初期化

**1** **メニューボタンを押して「一般設定」でシャトルダイヤルを右に回す**

〈一般設定〉のサブメニューになり、カーソルが「データ表示設定」に移動しています。

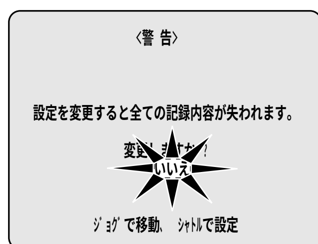
**2** **ジョグダイヤルでカーソルを「ハードディスク設定」に移動させ、シャトルダイヤルを右に回す**

〈ハードディスク設定〉のサブメニューになり、カーソルが「初期化」に移動しています。

設定

**3** **シャトルダイヤルを右に回す**

〈警告〉画面になり「いいえ」が点滅します。



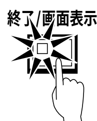

**4** **ジョグダイヤルで「はい」に設定し、シャトルダイヤルを回す**

“ハードディスク初期化中！”の画面になりハードディスクが初期化され、〈ハードディスク設定〉画面に戻ります。




**5** **終了/画面表示ボタンを押す**

通常の画面へ戻ります。




## ■ハードディスクを増設する

**ハードディスクの増設はお買い上げ販売店にご相談ください。増設の場合には、別売の増設用ハードディスクユニットをご使用ください。**

**注意：ハードディスクを増設した場合は必ず「初期化」をおこなってください。ハードディスクの初期化は2台とも初期化されますので既存のハードディスクのデータは消去されます。**

**参考：ハードディスク設定画面**

- **ミラーリング：** ハードディスクを増設または160GBハードディスクの場合、同じ映像を2台のハードディスクに録画することができます。そのため映像の書き込み不良が発生しても書き込み不良のない領域から読み出しができます。
- **再生ディスク：** ミラーリングを設定後、2台のハードディスクのどちらから録画映像を読み出すかの設定ができます。ミラーリングの設定をおこなった状態で、再生画像に異常が発生した場合は現在使用中のハードディスク（ディスク1）からハードディスク（ディスク2）を選択してください。

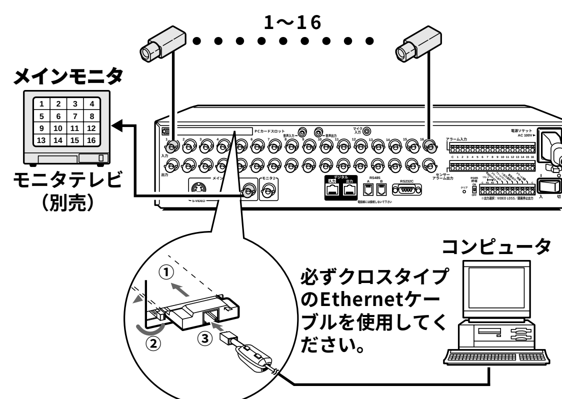
# F ネットワークの設定

## ■ネットワーク接続

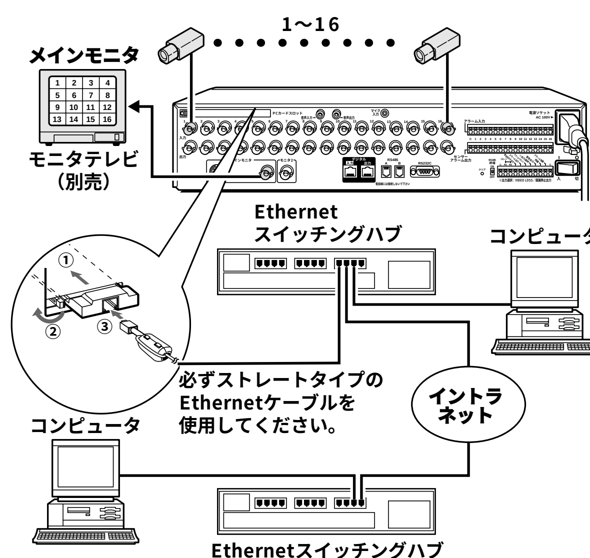
**本機後面のPCカードスロットに市販の推奨LANカードまたはPCカードタイプ（Ethernetカード）を装着してください。本機のメニュー設定や画像の監視をネットワーク（LAN）経由でパソコンから操作できます。**

**注意：PCカードソケットは、16bit 5V専用です。32bit card Busタイプを使用すると本体PCカードソケットが破損する恐れがありますので挿入しないでください。**

**●パソコンに直接接続するとき（Ethernetハブを使用しない）**

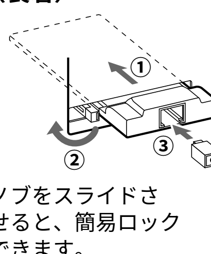



**●イントラネット接続のとき（Ethernetハブを使用する）**



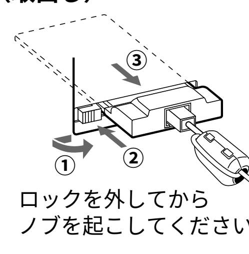

**推奨LANカードの取り付けかた**

**（装着）**




ノブをスライドさせると、簡易ロックできます。

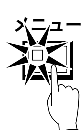
**（取出し）**

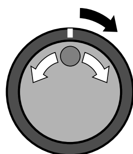



ロックを外してからノブを起こしてください。

**注意：LANカード接続ケーブルに、フェライトコアを1回巻き付けて取り付けてください。**

## ■ネットワークの設定



〈ネットワーク 設定〉
ネットワークカード : LAN1
ネットワーク操作 : 入 (接続表示:入)
IPアドレス : 192.168. 0. 1
サブネットマスク : 255.255.255. 0
ゲートウェイ : 0. 0. 0. 0
ポート : 00080
ID : パスワード (4-8)
ID1 : 1111----
ID2 : 2222----
ID3 : 3333----

**1** **メニューボタンを押して「一般設定」でシャトルダイヤルを右に回す**

〈一般設定〉のサブメニューになり、カーソルが「データ表示設定」に移動しています。

**2** **ジョグダイヤルでカーソルを「ネットワーク設定」に移動させ、シャトルダイヤルを右に回す**

〈ネットワーク設定〉のサブメニューになり、カーソルが「ネットワークカード」に移動しています。

**3** **シャトルダイヤルを右に回す**

“ LAN1 ”が点滅します。
使用するカードの種類に合わせて、“ LAN1 ”または“ LAN2 ”を選択してください。

- **LAN1**：COREGA FEther PCC-TXD“ CG-FEPCCTXD ”タイプ（10/100 BASE-T）
- **LAN2**：COREGA EtherⅡPCC-T（10 BASE-T）

**注意：上記の推奨LANカード以外は動作保証は致しません。**

**4** **ジョグダイヤルで「ネットワークカード」（例：LAN1）を選択し、シャトルダイヤルを右に回す**

カーソルが「ネットワーク操作」へ移動します。

**5** **シャトルダイヤルを右に回し、ジョグダイヤルでネッワーク操作（例：入）を選択し、シャトルダイヤルを右に回す**

カーソルが「IPアドレス」に移動します。
**表示例：**

- **入：**ネットワーク操作ができます。
- **切：**ネットワーク操作はできません。

**注意：**
- **「ネットワーク操作」を“ 入 ”に設定しないとネットワーク経由でのコントロールはできません。**
  **ネットワークに接続されている状態で、ネットワークからのコントロールをおこないたくない場合には、“ 切 ”に設定してください。**
- **〈記録設定〉の「デジタルシリーズ記録」が“ 入 ”の場合には、「ネットワーク操作」を“ 入 ”にできません。**

**6** **シャトルダイヤルを右に回し、ジョグダイヤルとシャトルダイヤルで「IPアドレス」（例：192.168. 0. 1）を入力し、シャトルダイヤルを右に回す**

最後のシャトルダイヤル動作で、カーソルが「サブネットマスク」に移動します。

〈ネットワーク 設定〉
ネットワークカード : LAN1
ネットワーク操作 : 入 (接続表示:入)
IPアドレス : 192.168. 0. 1
サブネットマスク : 255.255.255. 0
ゲートウェイ : 0. 0. 0. 0

**7** **シャトルダイヤルを右に回し、ジョグダイヤルとシャトルダイヤルで「サブネットマスク」（例：255. 255. 255. 0）を入力し、シャトルダイヤルを右に回す**

最後のシャトルダイヤル動作で、カーソルが「ゲートウェイ」に移動します。

〈ネットワーク 設定〉
ネットワークカード : LAN1
ネットワーク操作 : 入 (接続表示:入)
IPアドレス : 192.168. 0. 1
サブネットマスク : 255.255.255. 0
ゲートウェイ : 0. 0. 0. 0

**8** **シャトルダイヤルを右に回し、ジョグダイヤルとシャトルダイヤルで「ゲートウェイ」（例：192.168. 0. 1）を入力し、シャトルダイヤルを右に回す**

最後のシャトルダイヤル動作で、カーソルが「ポート」の「80」に移動します。

**注意：**
- **本機をLANに接続する場合には、「IPアドレス」、「サブネットマスク」、「ゲートウェイ」の設定は、LANのネットワーク管理者にご確認ください。**
- **IPアドレスなどは数字キー入力でも入力できます。**

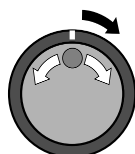
**9** **シャトルダイヤルを右に回し、ジョグダイヤルで「ポート」番号（例：90）を入力し、シャトルダイヤルを右に回す**

1～65535の範囲で任意のポート番号を設定してください。

## ■パスワードの設定

**ネットワーク接続には3段階のアクセスレベルがあり、これに対するパスワードを設定します。各パスワードは4桁から8桁の数字とアルファベットの組み合わせで設定可能です。**

**注意：「ID」、「パスワード（4-8）」にはカーソルは移動できません。**



<ネットワーク 設定>

| | |
|---|---|
| ネットワークカード | : LAN1 |
| ネットワーク操作 | : 入（接続表示：入） |
| IPアドレス | : 192.168. 0. 1 |
| サブネットマスク | : 255.255.255. 0 |
| ゲートウェイ | : 0. 0. 0. 0 |
| ポート | : 00080 |
| ID | : パスワード (4-8) |
| ID1 | : 1111---- |
| ID2 | : 2222---- |
| ID3 | : 3333---- |

**例 「ID1」にパスワード「AB123456」を設定する**

**1 ジョグダイヤルでカーソルを「ID1」に移動させ、シャトルダイヤルを右に回す**

パスワード入力の最初の“ 1 ”が点滅します。

● **パスワード入力の選択項目：** 0、1〜9、A、B〜Z

**注意：**
- **ID1：ネットワーク経由で映像の監視のみがおこなえるレベルです。**
- **ID2：ネットワーク経由で映像の監視、録画映像の再生やサーチ再生をおこなうことのできるレベルです**
- **ID3：本機および本機の各種設定を含めて、すべての操作をおこなうことのできるレベルです。**

**2 ジョグダイヤルで“ A ”を表示させ、シャトルダイヤルを回す**

2番目の“ 1 ”が点滅します。

ID1 : A111----

**3 ジョグダイヤルで“ B ”を表示させ、シャトルダイヤルを回す**

3番目の“ 1 ”が点滅します。

ID1 : AB11----

**4 同じ手順で「123456」を設定し、シャトルダイヤルを右に回す**

カーソルが「ID2」に移動します。

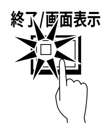
| | |
|---|---|
| ポート | : 00080 |
| ID | : パスワード (4-8) |
| ID1 | : AB123456 |
| ID2 | : 2222---- |
| ID3 | : 3333---- |

**5 必要に応じて、同じ手順で「ID2」と「ID3」のパスワードを設定し、シャトルダイヤルを右に回す**

カーソルが「ネットワークカード」に移動します。

**6 終了/画面表示ボタンを押す**

通常の画面へ戻ります。




**7 パソコン操作**

別冊の「ネットワーク接続による遠隔操作マニュアル」をご覧ください。

設定

# 画面設定

## メインメニュー

```
<メインメニュー>
1.初期設定            ->
2.記録設定            ->
3.一般設定            ->
4.画面設定            ->
5.停電情報/使用時間    ->
6.メニュー設定コピー    ->

ジョグで移動、 シャトルで選択
```

```
<画面設定>
1.分割画面 表示ポジション  : ノーマル
  分割画面 表示ポジション 設定 ->
2.自動切換             : 1秒
  カメラ毎自動切換時間 設定 ->
3.マスク               : 切
  マスク 設定          ->
```

### A 分割画面表示ポジションの設定(☞ P82)

(☞ P82)

カメラの映像を並べ換えることができます。

```
<16画面 表示ポジション 設定>
表示  :  16画面

01  02  03  04
05  06  07  08
09  10  11  12
13  14  15  16

画面チェック ->
```

### B 自動切換時間の設定(☞ P83)

すべてのカメラ映像を設定した時間間隔で切り換えます。

自動切換表示させたいカメラを選んで、設定した時間間隔で切り換えます。

```
<メイン モニター 設定>
T-1
入力   入力   入力   入力
01:入  02:切  03:入  04:切
05:切  06:切  07:入  08:切
09:入  10:入  11:切  12:切
13:切  14:入  15:切  16:入
```

5秒に設定すると5秒間隔で自動切換表示します。

カメラを選ぶ

選ばれたカメラが自動切換表示します。

### C マスクの設定(☞ P86)

```
<マスク 設定>
T-1
入力   入力   入力   入力
01:入  02:切  03:入  04:切
05:切  06:切  07:入  08:切
09:入  10:入  11:切  12:切
13:切  14:入  15:切  16:入
```

表示させたくないカメラを選ぶ

選ばれたカメラの映像は表示しません。記録もできません。

### 時刻周期設定を使用して自動切換表示する(☞ P85)

時刻周期を設定していると設定した時間帯でカメラ映像を自動切換表示することができます。

### 時刻周期設定を使用してモニタをマスクする(☞ P86)

時刻周期を設定していると設定した時間帯でカメラ映像をグレーパターンで覆うことができます。

「時刻周期の設定」(☞ P47)

```
<初期設定>
1.時刻設定         ->
2.時刻周期設定     ->
3.休日設定         ->
4.カメラ検出       ->

ジョグで移動、 シャトルで選択
```

```
<時刻周期設定>
時刻周期        T1     T2     T3     T4
 時刻周期 A    00:00  00:00  00:00  00:00
 時刻周期 B    00:00  00:00  00:00  00:00

時刻周期を選択
   自動切換     時刻周期 A
   マスク       時刻周期 A
   モーションセンサー 時刻周期 A
```

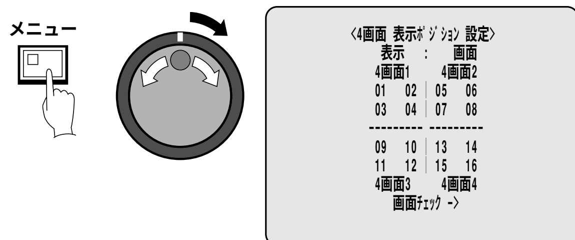
## A 分割画面表示ポジションの設定

**4画面、9画面、16画面で表示されているカメラ映像の表示位置を並べ換えます。**

**注意：同一画面上に同じカメラ映像を複数表示させることはできません。**

**例1** **カメラ1の映像をカメラ06、11、16に表示させる（4画面表示時）**

**品番 VDH-F900はカメラ番号は01～09までしか表示しません。**




**1** **メニューボタンを押して「画面設定」でシャトルダイヤルを右に回す**

〈画面設定〉のサブメニューになり、カーソルが「分割画面表示ポジション」に移動しています。

**2** **シャトルダイヤルを右に回し、ジョグダイヤルで「分割画面表示ポジション」を" 変更 "に設定し、シャトルダイヤルを右に回す**

カーソルが「分割画面表示ポジション設定」に移動しています。

**表示例**

- **ノーマル：**カメラの映像を並べ換えません。
- **変更：**カメラの映像を並べ換える時に選択します。

**3** **シャトルダイヤルを右に回す**

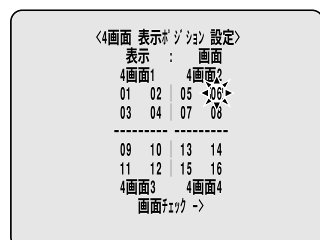
〈4画面表示ポジション設定〉のサブメニューになります。

**4** **シャトルダイヤルを右に回し、ジョグダイヤルで" 4画面 "を選択して、シャトルダイヤルを右に回す**

" 01 "が点滅します。

**5** **ジョグダイヤルでカーソルをカメラ番号" 06 "に移動させ、シャトルダイヤルを右に回す**

" 06 "が点滅します。




**注意：数字キー入力でも設定できます。（☞ P45）**

**6** **ジョグダイヤルで" 01 "に設定し、シャトルダイヤルを右に回す**

" 06 "が" 01 "になります。




▼




**7** **手順4～5と同じ操作で" 11 "、" 16 "に" 01 "を設定する**

" 11 "と" 16 "が" 01 "になります。

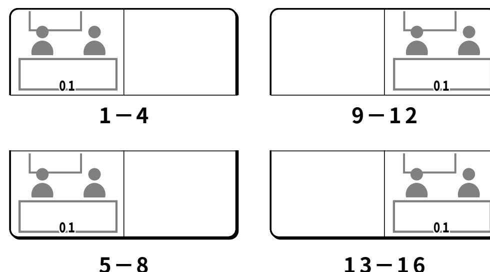






**画面下部の「画面チェック」を選択すると、変更した画面の配置を確認することができます。**

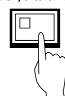
**表示例**




1－4　9－12　5－8　13－16

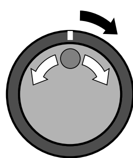
**8** **終了/画面表示ボタンを押す**

通常の画面に戻ります。




設定

**例2** **カメラ16の映像をカメラ05の位置に表示させる（16画面表示時）**






**1** **ジョグダイヤルでカーソルを「分割画面表示ポジション」に移動させ、シャトルダイヤルを右に回す**

“ ノーマル ”が点滅します。

**2** **ジョグダイヤルで「分割画面表示ポジション」を“ 変更 ”に設定し、シャトルダイヤルを右に回す**

カーソルが「分割画面表示ポジション設定」に移動しています。

**表示例**

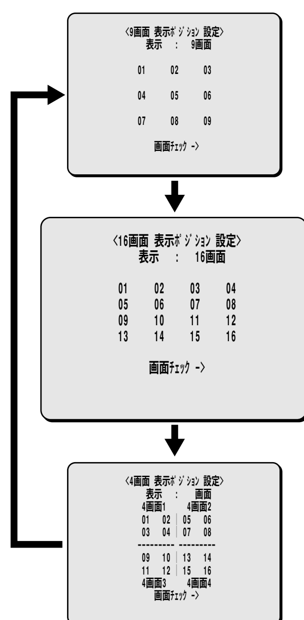
- **ノーマル：**カメラの映像を並べ換えません。
- **変更：**カメラの映像を並べ換える時に選択します。

**3** **シャトルダイヤルを右に回す**

〈4画面表示ポジション設定〉のサブメニューになります。

**4** **シャトルダイヤルを右に回し、ジョグダイヤルで16分割の設定画面にしてシャトルダイヤルを右に回す**

9分割、16分割、4分割の順番で画面が切り換わります。
**品番 VDH-F900は〈16画面表示ポジション設定〉は表示しません。**




**5** **ジョグダイヤルでカーソルを“ 05 ”に移動させ、シャトルダイヤルを右に回す**

“ 05 ”が点滅します。

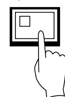
**6** **ジョグダイヤルで“ 16 ”に設定し、シャトルダイヤルを右に回す**

“ 05 ”が“ 16 ”になり、“ 16 ”が“ 05 ”になります。




**7** **終了/画面表示ボタンを押す**

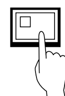
通常の画面に戻ります。

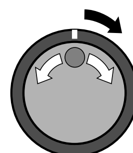



## B 自動切換時間の設定

**自動切換時間の設定をします。自動切換表示の切換時間は、1画面、4画面表示のときのみに設定ができます。設定方法には、すべてのカメラを同じ切換時間で切り換える方法と各カメラ別に設定する方法の2通りがあります。**

**例1** **モニタの映像をすべて5秒間隔の自動切換画面にする**






**1** **メニューボタンを押して「画面設定」でシャトルダイヤルを右に回す**

〈画面設定〉のサブメニューになり、カーソルが「分割画面表示ポジション」に移動しています。

**2** **ジョグダイヤルで「自動切換」にカーソルを移動させ、シャトルダイヤルを右に回す**

“ 1秒 ”が点滅します。

設定

## 3 ジョグダイヤルで切換時間を“ 5秒 ”に設定し、シャトルダイヤルを右に回す

5秒間隔の自動切換表示になります。

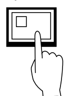
```
〈画面設定〉
1.分割画面 表示ﾎﾟｼﾞｼｮﾝ   :  ﾉｰﾏﾙ
  分割画面 表示ﾎﾟｼﾞｼｮﾝ 設定   ->
2.自動切換             :  5秒
  ｶﾒﾗ毎自動切換時間 設定     ->
3.ﾏｽｸ                :  切
  ﾏｽｸ 設定               ->
```

**表示例**

- **1～30秒：**自動切換表示時の切換時間を設定します。
- **カメラ毎：**カメラごとに切換時間を設定する場合に選択します。

## 4 終了/画面表示ボタンを押す

通常の画面に戻ります。



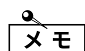

## 5 通常の画面（自動切換が可能な画面）で4画面表示ボタンを押す

5秒間隔で画面が切り換わります。やめるときは、再度4画面表示ボタンを押してください。

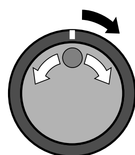
### 例2 メインモニタの自動切換時間を設定する

**品番 VDH-F900はカメラ1～9までで設定してください。**

- **カメラ1から8までを2秒間の自動切換画面に設定する**
- **カメラ9から16までを3秒間の自動切換画面に設定する**




**モニタ2の自動切換表示時間も同様（カメラごとの個別の設定条件はメインモニタと同じ）に設定することができます。**



```
〈ｶﾒﾗ毎自動切換設定〉

入力    入力    入力    入力
01:1秒  02:1秒  03:1秒  04:1秒
05:1秒  06:1秒  07:1秒  08:1秒
09:1秒  10:1秒  11:1秒  12:1秒
13:1秒  14:1秒  15:1秒  16:1秒
```

## 1 ジョグダイヤルでカーソルを「自動切換」に移動させシャトルダイヤルを右に回す

“ 1秒 ”が点滅します。

```
〈画面設定〉
1.分割画面 表示ﾎﾟｼﾞｼｮﾝ   :  ﾉｰﾏﾙ
  分割画面 表示ﾎﾟｼﾞｼｮﾝ 設定   ->
2.自動切換             :  1秒
  ｶﾒﾗ毎自動切換時間 設定     ->
3.ﾏｽｸ                :  切
  ﾏｽｸ 設定               ->
```

## 2 ジョグダイヤルで「自動切換」を“ カメラ毎 ”に設定し、シャトルダイヤルを右に回す

カーソルが「カメラ毎自動切換時間設定」に移動しています。

## 3 シャトルダイヤルを右に回す

〈自動切換時間設定〉のサブメニューになります。

```
〈自動切換時間 設定〉
ﾒｲﾝ ﾓﾆﾀｰ           :1秒
 ﾒｲﾝ ﾓﾆﾀｰ 設定          ->
ﾓﾆﾀｰ 2             :1秒
 ﾓﾆﾀｰ 2 設定           ->
4画面              :1秒
```

## 4 ジョグダイヤルで「メインモニター」を選択し、シャトルダイヤルを右に回す

“ 1秒 ”が点滅します。

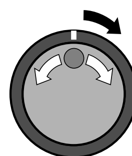
## 5 ジョグダイヤルで“ カメラ毎 ”に設定し、シャトルダイヤルを右に回す

## 6 ジョグダイヤルでカーソルを「カメラ毎自動切換設定」に移動させ、シャトルダイヤルを右に回す

〈カメラ毎自動切換設定〉のサブメニューになります。

## 7 ジョグダイヤルでカーソルを「カメラ1（01）」に移動させ、シャトルダイヤルを右に回す

“ 1秒 ”が点滅します。

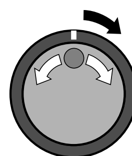


```
〈ｶﾒﾗ毎自動切換設定〉

入力    入力    入力    入力
01:1秒  02:1秒  03:1秒  04:1秒
05:1秒  06:1秒  07:1秒  08:1秒
09:1秒  10:1秒  11:1秒  12:1秒
13:1秒  14:1秒  15:1秒  16:1秒
```

## 8 ジョグダイヤルで“ 2秒 ”に設定し、シャトルダイヤルを右に回す

同じ手順で02から08を“ 2秒 ”に、09～16を“ 3秒 ”に設定してください。



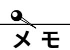
```
〈ｶﾒﾗ毎自動切換設定〉

入力    入力    入力    入力
01:2秒  02:1秒  03:1秒  04:1秒
05:1秒  06:1秒  07:1秒  08:1秒
09:1秒  10:1秒  11:1秒  12:1秒
13:1秒  14:1秒  15:1秒  16:1秒
```

▼

```
〈ｶﾒﾗ毎自動切換設定〉

入力    入力    入力    入力
01:2秒  02:2秒  03:2秒  04:2秒
05:2秒  06:2秒  07:2秒  08:2秒
09:3秒  10:3秒  11:3秒  12:3秒
13:3秒  14:3秒  15:3秒  16:3秒
```



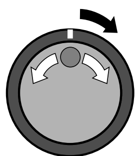

**カメラごとに切換時間を入力すると、設定した切換時間で自動切換画面になります。**

**9** **終了/画面表示ボタンを押す**

通常の画面に戻ります。カメラ自動切換ボタンを押すと、設定された内容で自動切換が始まります。




**例3** **メインモニタの映像を5秒間隔の自動切換画面に設定して、時刻周期の設定時には不要な自動切換画面を非表示に設定する**



```
〈ﾒｲﾝ ﾓﾆﾀｰ 設定〉
T-1
入力   入力   入力   入力
01:入  02:入  03:入  04:入
05:入  06:入  07:入  08:入
09:入  10:入  11:入  12:入
13:入  14:入  15:入  16:入
```

**1** **〈時刻周期設定〉で「タイマーA」と「タイマーB」の各タイマーの設定をする（☞ P47）**

「タイマーA」と「タイマーB」の設定をおこなってください。

```
〈時刻周期設定〉
時刻周期        T1     T2     T3     T4
 時刻周期 A    00:00  00:00  00:00  00:00
 時刻周期 B    00:00  00:00  00:00  00:00

 時刻周期を選択
     自動切換      時刻周期 A
     ﾏｽｸ           時刻周期 A
     ﾓｰｼｮﾝｾﾝｻｰ     時刻周期 A
```

**2** **ジョグダイヤルでカーソルを「自動切換」に移動させシャトルダイヤルを右に回す**

“ 1秒 ”が点滅します。

```
〈画面設定〉
1.分割画面 表示ﾎﾟｼﾞｼｮﾝ  :  ﾉｰﾏﾙ
  分割画面 表示ﾎﾟｼﾞｼｮﾝ 設定  ->
2.自動切換              :  1秒
  ｶﾒﾗ毎自動切換時間 設定    ->
3.ﾏｽｸ                   :  切
  ﾏｽｸ 設定                  ->
```

**3** **ジョグダイヤルで「自動切換」を“ カメラ毎 ”に設定し、シャトルダイヤルを右に回す**

カーソルが「カメラ毎自動切換時間設定」に移動しています。

**4** **シャトルダイヤルを右に回す**

〈自動切換時間設定〉のサブメニューになります。

```
〈自動切換時間 設定〉
ﾒｲﾝ ﾓﾆﾀｰ            :1秒
 ﾒｲﾝ ﾓﾆﾀｰ 設定        ->
ﾓﾆﾀｰ 2              :1秒
 ﾓﾆﾀｰ 2 設定          ->
4画面               :1秒

ｶﾒﾗ毎自動切換設定     ->
```

**5** **ジョグダイヤルで「メインモニター」を選択し、シャトルダイヤルを右に回す**

“ 1秒 ”が点滅します。

**6** **ジョグダイヤルで“ 5秒 ”に設定し、シャトルダイヤルを右に回す**

カーソルが「メインモニター設定」に移動します。

**表示例**

- **1〜30秒：**メインモニタの自動切換時間を設定します。
- **カメラ毎：**メインモニタの各カメラをカメラごとに切換時間を設定する場合に選択します。

**7** **シャトルダイヤルを右に回す**

〈メインモニター設定〉のサブメニューになります。この画面は、カメラ1〜16までの映像をタイマー設定（T-1）した時に表示・非表示させるかを選択します。

**8** **シャトルダイヤルを右に回し、ジョグダイヤルで“ T-1 ”を選択してシャトルダイヤルを右に回す**

カーソルが「01」に移動します。

**9** **ジョグダイヤルでカーソルを「カメラ1（01）」に移動させ、シャトルダイヤルを右に回す**

“ 入 ”が点滅します。

**10** **ジョグダイヤルで“ 切 ”に設定し、シャトルダイヤルを右に回す**

同じ手順でカメラ2（02）から8（08）を“ 切 ”に設定してください。

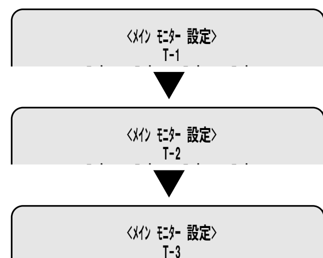
```
〈ﾒｲﾝ ﾓﾆﾀｰ 設定〉
T-1
入力   入力   入力   入力
01:切  02:切  03:切  04:切
05:切  06:切  07:切  08:切
09:入  10:入  11:入  12:入
13:入  14:入  15:入  16:入
```

**11** **ジョグダイヤルでカーソルを、「T-1」に移動させ、シャトルダイヤルを右に回す**

設定

**12** **ジョグダイヤルで「T-2」に設定し、シャトルダイヤルを右に回す**

同じ操作を繰り返すと、T-1、T-2、T-3、T-4と切り換わります。




**13** **ジョグダイヤルでカーソルを「09」に移動させ、シャトルダイヤルを右に回す**

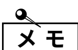
“ 入 ”が点滅します。

**14** **ジョグダイヤルで“ 切 ”に設定し、シャトルダイヤルを右に回す**

同じ手順でカメラ10（10）から16（16）までを“ 切 ”に設定してください。

〈メイン モニター 設定〉
T-1

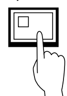
| 入力 | 入力 | 入力 | 入力 |
|---|---|---|---|
| 01:入 | 02:入 | 03:入 | 04:入 |
| 05:入 | 06:入 | 07:入 | 08:入 |
| 09:切 | 10:切 | 11:切 | 12:切 |
| 13:切 | 14:切 | 15:切 | 16:切 |



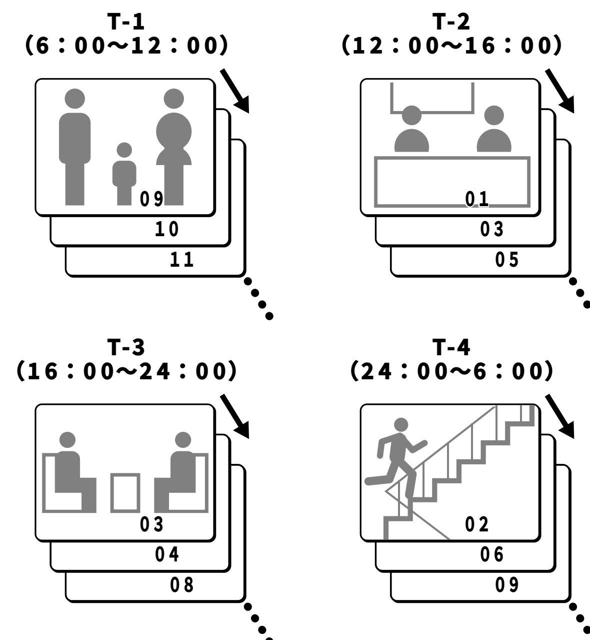

**手順10～12と同じ操作でT-3、T-4をお好みに設定してください。**

**15** **終了/画面表示ボタンを押す**

通常の画面に戻ります。カメラ自動切換ボタンを押すと、設定された内容で自動切換が始まります。




**自動切換表示例**

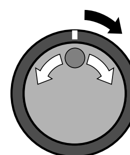



**注意：**
- **モニタ2の設定をする場合は、同じ手順で設定してください。**
- **4画面の場合は、タイマー機能を使用しての自動切換表示はできません。**

## C マスクの設定

**モニタ画面のカメラ映像が不要なときは、各カメラ映像をグレーパターンで覆うことができます。**
**品番 VDH-F900はカメラ01～09までの設定となります。**

**例1** **時刻周期の設定（タイマーA、B）の時間帯に不要なカメラ映像をモニタできなくする**



〈マスク 設定〉
T-1

| 入力 | 入力 | 入力 | 入力 |
|---|---|---|---|
| 01:切 | 02:切 | 03:切 | 04:切 |
| 05:切 | 06:切 | 07:切 | 08:切 |
| 09:切 | 10:切 | 11:切 | 12:切 |
| 13:切 | 14:切 | 15:切 | 16:切 |

**1** **〈時刻周期設定〉で「タイマーA」と「タイマーB」の各タイマーの設定をする（☞ P47）**

「タイマーA」と「タイマーB」の設定をおこなってください。

〈時刻周期設定〉

| 時刻周期 | T1 | T2 | T3 | T4 |
|---|---|---|---|---|
| 時刻周期 A | 00:00 | 00:00 | 00:00 | 00:00 |
| 時刻周期 B | 00:00 | 00:00 | 00:00 | 00:00 |

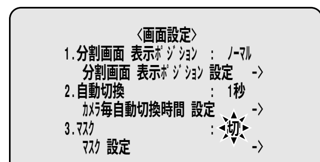
時刻周期を選択

| | |
|---|---|
| 自動切換 | 時刻周期 A |
| マスク | 時刻周期 A |
| モーションセンサー | 時刻周期 A |

設定

**2** **ジョグダイヤルでカーソルを「マスク」に移動させシャトルダイヤルを右に回す**

“ 切 ”が点滅します。




**3** **ジョグダイヤルで“ 入 ”に設定し、シャトルダイヤルを右に回す**

カーソルが「マスク設定」に移動しています。

**4** **シャトルダイヤルを右に回す**

〈マスク設定〉のサブメニューになり、カーソルが「T-1」に移動しています。この画面は、カメラ1～16までの映像をタイマー設定（T-1）した時にマスクさせるかを選択します。

**5** **ジョグダイヤルで“ T-1 ”を選択してシャトルダイヤルを右に回す**

カーソルが「01」へ移動します。




**6** **ジョグダイヤルでカーソルを「02」に移動させ、シャトルダイヤルを右に回す**

“ 切 ”が点滅します。

**7** **ジョグダイヤルで“ 入 ”に設定し、シャトルダイヤルを右に回す**

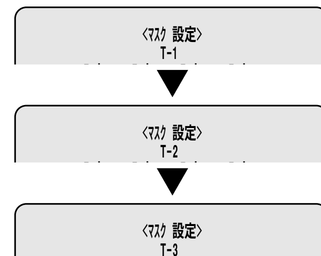
同じ手順でカメラ4（04）、6（06）、8（08）、10（10）を“ 入 ”に設定してください。




**8** **ジョグダイヤルでカーソルを、「T-1」に移動させ、シャトルダイヤルを右に回す**

**9** **ジョグダイヤルで「T-2」に設定し、シャトルダイヤルを右に回す**

同じ操作を繰り返すと、T-1、T-2、T-3、T-4と切り換わります。




**10** **ジョグダイヤルでカーソルを「01」に移動させ、シャトルダイヤルを右に回す**

“ 切 ”が点滅します。

**11** **ジョグダイヤルで“ 入 ”に設定し、シャトルダイヤルを右に回す**

同じ手順でカメラ3（03）、5（05）、7（07）、9（09）までを“ 入 ”に設定してください。

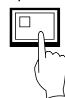



メモ

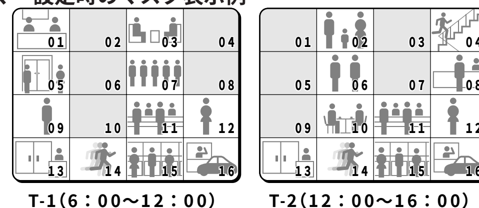
**手順10～12と同じ操作でT-3、T-4をお好みに設定してください。**

**12** **終了/画面表示ボタンを押す**

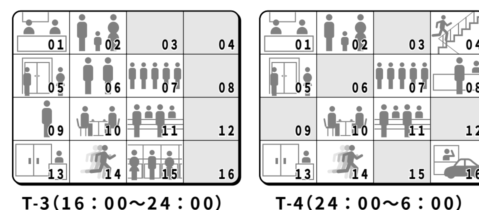
通常の画面に戻ります。タイマー設定で設定した時間になると、設定したカメラ映像がグレーパターンで覆われます。




**タイマー設定時のマスク表示例**

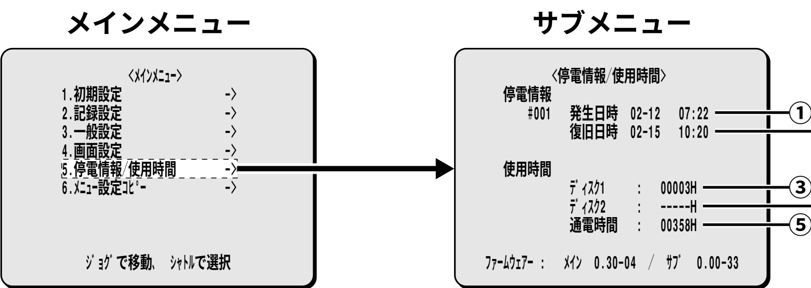



T-1（6：00～12：00）　T-2（12：00～16：00）



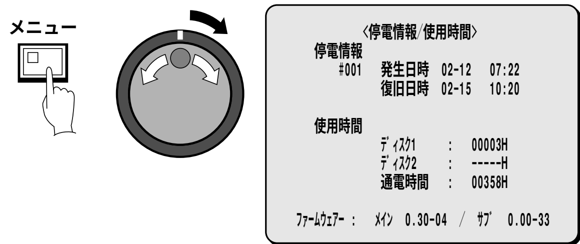

T-3（16：00～24：00）　T-4（24：00～6：00）

# 停電情報／使用時間の表示



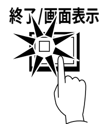

**1** **メニューボタンを押して「停電情報／使用時間」でシャトルダイヤルを右に回す**

〈停電情報／使用時間〉のサブメニューが表示します。
停電の日時やハードディスクなどの使用時間などを確認してください。




**2** **終了/画面表示ボタンを押す**

通常の画面へ戻ります。




**（サブメニューについて）**

**①発生日時**

停電時の発生日時を表示します。
左端には停電回数を表示します。（例：＃020）999を越えると000となります。

**②回復時間**

停電時の復帰日時を表示します。

**③ディスク1**

ハードディスク1の総使用時間を表示します。

**④ディスク2**

ハードディスク2（増設時）の総使用時間を表示します。

**⑤パワー**

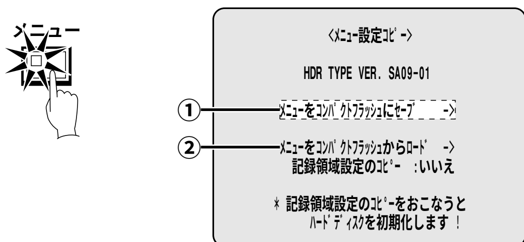
本機の総通電時間を表示します。

# メニュー設定の内容をセーブする

**メニュー設定で設定した内容をコンパクトフラッシュカードへセーブ（コピー）したり、コンパクトフラッシュカードにセーブした設定内容を本体に読み込む（ロード）ことができます。この機能により、複数台のハードディスクデジタルレコーダーに同じ設定を容易におこなうことができます。**

**1** **メニューボタンを押して「メニュー設定コピー」でシャトルダイヤルを右に回す**

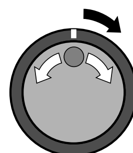
〈メニュー設定コピー〉のサブメニューが表示します。




①**メニューをコンパクトフラッシュにセーブ**
メニュー設定の内容をコンパクトフラッシュカードにセーブします。

②**メニューをコンパクトフラッシュからロード**
コンパクトフラッシュカードから本体へメニュー設定の内容を読み込みます。

## ■コンパクトフラッシュにセーブする

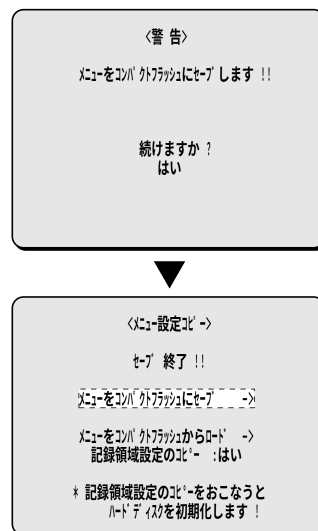



**1** **ジョグダイヤルで「メニューをコンパクトフラッシュにセーブ」を選択し、シャトルダイヤルを右に回す**

〈警告〉画面に切り換わります。これは、セーブの確認画面です。

**2** **セーブする場合はジョグダイヤルで「はい」表示にして、シャトルダイヤルを右に回す**

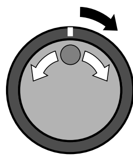
セーブが始まります。セーブが終了すると、「セーブ終了！！」が表示します。コンパクトフラッシュカードのディレクトリーに「MENUCOPY.TXT」というファイルが作成されます。

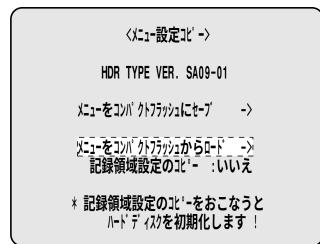


## ■セーブした設定内容をロードする

**コンパクトフラッシュカードにセーブしたメニュー設定ファイルを本体へ読み込みます。**

**注意：本体にロードする際に記録領域設定のコピーをおこなうかどうかを選択できます。**
**すでに映像を記録している機器に、記録領域設定の異なるメニュー設定を読み込むと記録領域の初期化が自動的におこなわれますので、記録済みの情報が全て失われてしまいます。従って、通常は「記録領域設定のコピー」は「いいえ」にしてください。また、「はい」にして読み込むとハードディスクの初期化を伴いますので管理者用の「パスワード入力画面」になります。**



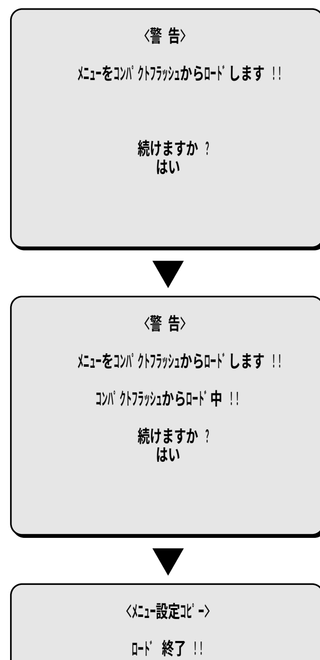



**1** **ジョグダイヤルで「メニューをコンパクトフラッシュからロード」を選択し、シャトルダイヤルを右に回す**

〈警告〉画面に切り換わります。これは、読み込みの確認画面です。

**2** **ロードする場合はジョグダイヤルで「はい」表示にして、シャトルダイヤルを右に回す**

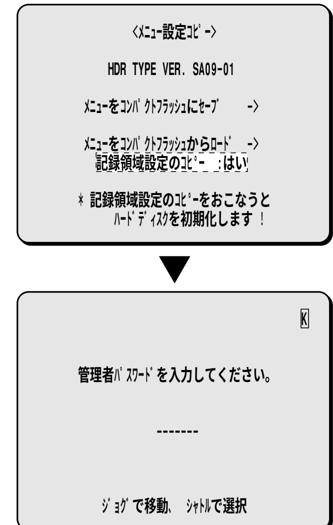
ロードが始まります。ロードが終了すると、「ロード終了！！」が表示します。




### ☞ 記録領域設定のコピーをする場合

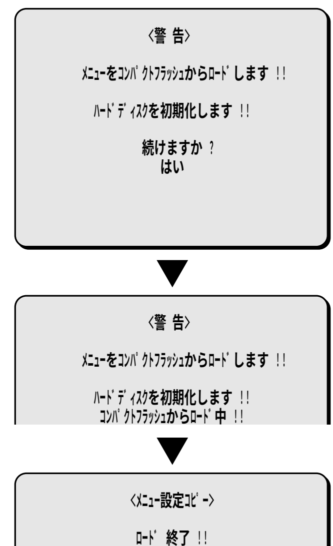
記録領域の設定をコピーします。
通常は「記録領域設定のコピー」は「いいえ」にしてください。

**1** **コピーする場合は「記録領域設定のコピー」でジョグダイヤルで「はい」表示にして、シャトルダイヤルを右に回す**




**2** **コピーする場合は〈警告〉画面でジョグダイヤルで「はい」表示にして、シャトルダイヤルを右に回す**

コピーが始まります。コピーが終了すると、「セーブ終了！！」が表示します。



# プログラム録画記録率

■プリアラームなし

| 1 | 2 | 3 | 4 | 5 | 6 | 7 | 8 | 9 | 10 | 11 | 12 | 13 | 14 | 15 | 16 |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| 30.000 | 15.000 | 10.000 | 7.500 | 6.000 | 5.000 | 4.286 | 3.750 | 3.333 | 3.000 | 2.727 | 2.500 | 2.308 | 2.143 | 2.000 | 1.875 |
| 15.000 | 7.500 | 5.000 | 3.750 | 3.000 | 2.500 | 2.143 | 1.875 | 1.667 | 1.500 | 1.364 | 1.250 | 1.154 | 1.071 | 1.000 | 0.938 |
| 10.000 | 5.000 | 3.333 | 2.500 | 2.000 | 1.667 | 1.429 | 1.250 | 1.111 | 1.000 | 0.909 | 0.833 | 0.769 | 0.714 | 0.667 | 0.625 |
| 7.500 | 3.750 | 2.500 | 1.875 | 1.500 | 1.250 | 1.071 | 0.938 | 0.833 | 0.750 | 0.682 | 0.625 | 0.577 | 0.536 | 0.500 | 0.469 |
| 6.000 | 3.000 | 2.000 | 1.500 | 1.200 | 1.000 | 0.857 | 0.750 | 0.667 | 0.600 | 0.545 | 0.500 | 0.462 | 0.429 | 0.400 | 0.375 |
| 5.000 | 2.500 | 1.667 | 1.250 | 1.000 | 0.833 | 0.714 | 0.625 | 0.556 | 0.500 | 0.455 | 0.417 | 0.385 | 0.357 | 0.333 | 0.313 |
| 4.286 | 2.143 | 1.429 | 1.071 | 0.857 | 0.714 | 0.612 | 0.536 | 0.476 | 0.429 | 0.390 | 0.357 | 0.330 | 0.306 | 0.286 | 0.268 |
| 3.750 | 1.875 | 1.250 | 0.938 | 0.750 | 0.625 | 0.536 | 0.469 | 0.417 | 0.375 | 0.341 | 0.313 | 0.288 | 0.268 | 0.250 | 0.234 |
| 3.333 | 1.667 | 1.111 | 0.833 | 0.667 | 0.556 | 0.476 | 0.417 | 0.370 | 0.333 | 0.303 | 0.278 | 0.256 | 0.238 | 0.222 | 0.208 |
| 3.000 | 1.500 | 1.000 | 0.750 | 0.600 | 0.500 | 0.429 | 0.375 | 0.333 | 0.300 | 0.273 | 0.250 | 0.231 | 0.214 | 0.200 | 0.188 |
| 2.727 | 1.364 | 0.909 | 0.682 | 0.545 | 0.455 | 0.390 | 0.341 | 0.303 | 0.273 | 0.248 | 0.227 | 0.210 | 0.195 | 0.182 | 0.170 |
| 2.500 | 1.250 | 0.833 | 0.625 | 0.500 | 0.417 | 0.357 | 0.313 | 0.278 | 0.250 | 0.227 | 0.208 | 0.192 | 0.179 | 0.167 | 0.156 |
| 1.875 | 0.938 | 0.625 | 0.469 | 0.375 | 0.313 | 0.268 | 0.234 | 0.208 | 0.188 | 0.170 | 0.156 | 0.144 | 0.134 | 0.125 | 0.117 |
| 1.667 | 0.833 | 0.556 | 0.417 | 0.333 | 0.278 | 0.238 | 0.208 | 0.185 | 0.167 | 0.152 | 0.139 | 0.128 | 0.119 | 0.111 | 0.104 |
| 1.500 | 0.750 | 0.500 | 0.375 | 0.300 | 0.250 | 0.214 | 0.188 | 0.167 | 0.150 | 0.136 | 0.125 | 0.115 | 0.107 | 0.100 | 0.094 |
| 1.364 | 0.682 | 0.455 | 0.341 | 0.273 | 0.227 | 0.195 | 0.170 | 0.152 | 0.136 | 0.124 | 0.114 | 0.105 | 0.097 | 0.091 | 0.085 |
| 1.250 | 0.625 | 0.417 | 0.313 | 0.250 | 0.208 | 0.179 | 0.156 | 0.139 | 0.125 | 0.114 | 0.104 | 0.096 | 0.089 | 0.083 | 0.078 |
| 1.071 | 0.536 | 0.357 | 0.268 | 0.214 | 0.179 | 0.153 | 0.134 | 0.119 | 0.107 | 0.097 | 0.089 | 0.082 | 0.077 | 0.071 | 0.067 |
| 1.000 | 0.500 | 0.333 | 0.250 | 0.200 | 0.167 | 0.143 | 0.125 | 0.111 | 0.100 | 0.091 | 0.083 | 0.077 | 0.071 | 0.067 | 0.063 |

（単位：FPS）

■プリアラームあり

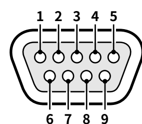
| 1 | 2 | 3 | 4 | 5 | 6 | 7 | 8 | 9 | 10 | 11 | 12 | 13 | 14 | 15 | 16 |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| 15.000 | 7.500 | 5.000 | 3.750 | 3.000 | 2.500 | 2.143 | 1.875 | 1.667 | 1.500 | 1.364 | 1.250 | 1.154 | 1.071 | 1.000 | 0.938 |
| 7.500 | 3.750 | 2.500 | 1.875 | 1.500 | 1.250 | 1.071 | 0.938 | 0.833 | 0.750 | 0.682 | 0.625 | 0.577 | 0.536 | 0.500 | 0.469 |
| 5.000 | 2.500 | 1.667 | 1.250 | 1.000 | 0.833 | 0.714 | 0.625 | 0.556 | 0.500 | 0.455 | 0.417 | 0.385 | 0.357 | 0.333 | 0.313 |
| 3.750 | 1.875 | 1.250 | 0.938 | 0.750 | 0.625 | 0.536 | 0.469 | 0.417 | 0.375 | 0.341 | 0.313 | 0.288 | 0.268 | 0.250 | 0.234 |
| 3.000 | 1.500 | 1.000 | 0.750 | 0.600 | 0.500 | 0.429 | 0.375 | 0.333 | 0.300 | 0.273 | 0.250 | 0.231 | 0.214 | 0.200 | 0.188 |
| 2.500 | 1.250 | 0.833 | 0.625 | 0.500 | 0.417 | 0.357 | 0.313 | 0.278 | 0.250 | 0.227 | 0.208 | 0.192 | 0.179 | 0.167 | 0.156 |
| 1.875 | 0.938 | 0.625 | 0.469 | 0.375 | 0.313 | 0.268 | 0.234 | 0.208 | 0.188 | 0.170 | 0.156 | 0.144 | 0.134 | 0.125 | 0.117 |
| 1.667 | 0.833 | 0.556 | 0.417 | 0.333 | 0.278 | 0.238 | 0.208 | 0.185 | 0.167 | 0.152 | 0.139 | 0.128 | 0.119 | 0.111 | 0.104 |
| 1.500 | 0.750 | 0.500 | 0.375 | 0.300 | 0.250 | 0.214 | 0.188 | 0.167 | 0.150 | 0.136 | 0.125 | 0.115 | 0.107 | 0.100 | 0.094 |
| 1.364 | 0.682 | 0.455 | 0.341 | 0.273 | 0.227 | 0.195 | 0.170 | 0.152 | 0.136 | 0.124 | 0.114 | 0.105 | 0.097 | 0.091 | 0.085 |
| 1.250 | 0.625 | 0.417 | 0.313 | 0.250 | 0.208 | 0.179 | 0.156 | 0.139 | 0.125 | 0.114 | 0.104 | 0.096 | 0.089 | 0.083 | 0.078 |
| 1.071 | 0.536 | 0.357 | 0.268 | 0.214 | 0.179 | 0.153 | 0.134 | 0.119 | 0.107 | 0.097 | 0.089 | 0.082 | 0.077 | 0.071 | 0.067 |
| 1.000 | 0.500 | 0.333 | 0.250 | 0.200 | 0.167 | 0.143 | 0.125 | 0.111 | 0.100 | 0.091 | 0.083 | 0.077 | 0.071 | 0.067 | 0.063 |

（単位：FPS）

# インターフェース仕様

## RS-232C

### 9ピンコネクター仕様




| ピン番号 | 信　号 | 動　作 | 信号方向 |
|---|---|---|---|
| 1 | ― | ― | ― |
| 2 | RXD | 受信データ | コンピュータ→本機 |
| 3 | TXD | 送信データ | 本機→コンピュータ |
| 4 | ― | ― | ― |
| 5 | GND | 接地 | ― |
| 6 | ― | ― | ― |
| 7 | RTS | 送信要求 | 本機→コンピュータ |
| 8 | ― | ― | ― |
| 9 | ― | ― | ― |

### ■データ形式

| | |
|---|---|
| モード | 非同期 |
| キャラクター長 | 8ビット |
| データ転送速度 | 2400、4800、9600、19200 bps |
| パリティチェック | なし |
| ストップビット | 1ビット |

### ■通信プロトコル

通信は1バイト単位で行います。コンピュータが1バイト送信した後、本機から返ってくる返答を待って次のバイトを送信します。
コマンドを開始するときは、ON（F6）コマンドを送り、終了するときはOFF（F7）コマンドを送るまで、本機はコマンドを受け付けます。本機はコマンドを受け取る毎にACK（OA）を返送します。
☞P92　コマンドテーブル表4

## RS-485

### ■データ形式

| | |
|---|---|
| モード | 非同期 |
| キャラクター長 | 8ビット |
| データ転送速度 | 2400、4800、9600、19200 bps |
| パリティチェック | なし |
| ストップビット | 1ビット |

### ■通信プロトコル

当社独自のプロトコル（SSP：Security Serial Protocol）を使用しています。専用コントローラを使用し操作することをお勧めします。専用コントローラについては、お買い上げ販売店へご確認ください。

## RS485終端スイッチの設定

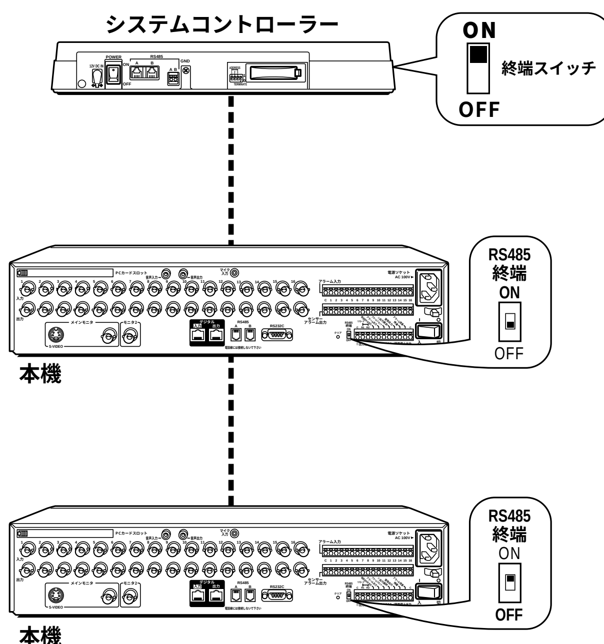
### ■終端を設定する

複数台の機器を接続した場合、両端の機器には終端設定が必要です。

- 後面パネルのRS485終端スイッチをONに設定して、最終端の機器の終端スイッチをONにしてください。
- 両端以外（始めの機器と終わりの機器）の機器以外は、必ずOFFにしてください。

注意：終端設定をおこなわないと、データが両端で反射して他のデータに影響を与え、各機器に正しいデータが伝わりません。

（例）




その他

## ■コマンドテーブル（表4）

本機を介して使用できるコマンドは下表のとおりです。
本機に対応する機能がない場合は、コマンドを送信しても動作しません。

| 上位 / 下位 | 0 | 1 | 2 | 3 | 4 | 5 | 6 | 7 |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| 0 | | | | | | | TIMER ON/OFF | |
| 1 | | | | | | | | |
| 2 | | | | | | | | |
| 3 | | | | | | SHIFT← | SHIFT→ | |
| 4 | | | | | | SHIFT↑ | SHIFT↓ | MENU |
| 5 | | | | | | | SHIFT+ /RP UP | |
| 6 | | | | | | | SHIFT− /RP DOWN | |
| 7 | | | | | | | | |
| 8 | | | | | | | | |
| 9 | | | | | | | SECURITY LOCK ON | |
| A | ACK | | | PLAY | REV PLAY/ SEARCH (DVR) | | | |
| B | NAK | | | | | | | |
| C | | | | | | | GROUP SET | |
| D | | | | | | | GROUP CHECK | |
| E | | | | | | | GROUP CLEAR | |
| F | | | | STOP | STILL | | | |

| 上位 / 下位 | 8 | 9 | A | B | C | D | E | F |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| 0 | | | | | | | CLOCK ADJUST | |
| 1 | | | | | | | MENU RESET | |
| 2 | | | | | | | | |
| 3 | | | | | | | | |
| 4 | | | | | | | | |
| 5 | ZOOM(MPX) | | | | | | | |
| 6 | | | | | | | | |
| 7 | | | | | | STATUS SENSE | | |
| 8 | | | | | | MENU UPLOAD | MENU DOWNLOAD | |
| 9 | | | | | | | CLOCK DOWNLOAD | |
| A | | | | | REC | | | REC/DUB REQUEST |
| B | | | FF/ALARM F | | | | | |
| C | CHANNEL | | REW/ALARM R | | | | | |
| D | COPY | | | | | | | *RS-485 SEND START |
| E | OSD/EXIT | | | STATUSLOG2 | | | | *RS-485 RCV CMF. |
| F | | | | STATUSLOG1 | REC STOP | | | |

（注1） のコマンドは、RS-485で制御時のみに使用する。

# アフターサービスについて

この商品は「保証書」を別途添付しております。
保証書は販売店（または工事店）でお渡しいたしますから、所定事項の記入および記載内容をご確認いただき、大切に保管してください。

## 保証期間はお買い上げ日から1年間です

- 正常な使用状態で、保証期間内に万一故障が生じた場合には、保証書記載内容により、お買い上げ販売店（または工事店）が修理いたします。その他の詳細は保証書をご覧ください。
- 保証期間経過後の修理については、お買い上げ販売店（または工事店）にご相談ください。修理によって機能が維持できる場合は、お客さまのご要望により有料修理いたします。
- 本機（フレームスイッチャー機能付きハードディスクデジタルレコーダー）が故障した場合、稼働していない時間に対する営業損失は補償対象外になります。

### ■定期点検・保守について

特に監視用などでご使用の場合は、定期点検・保守の実施をおすすめします。
詳しくは、お買い上げ販売店（または工事店）にご相談ください。

### ■補修用性能部品について

当社は、本機の補修用性能部品（製品の機能を維持するために必要な部品）を製造打ち切り後、8年保有しています。
なお、保証期間中の修理など、アフターサービスについてご不明な場合は、お買い上げ販売店（または工事店）にご相談ください。

**修理を依頼されるときは**

下記の事項をお買い上げ販売店（または工事店）にご連絡ください。

① 故障の状況（できるだけくわしく）

② 品名と品番
（フレームスイッチャー機能付きハードディスクデジタルレコーダー VDH-F1600またはVDH-F900）

③ お買い上げ年月日（保証書に記入）

④ 製造番号（保証書に記入）

⑤ お名前、おところ、電話番号

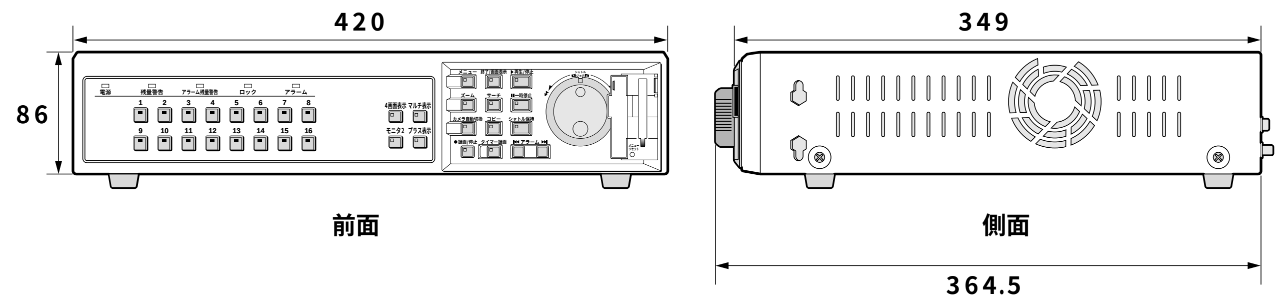
# 仕　様

| | |
|---|---|
| ハードディスク容量 | 80GBまたは160GB |
| 信号方式 | NTSCカラーテレビジョン方式準拠 |
| 解像度 | 720×288（フィールド） |
| 圧縮方式 | M-JPEG |
| 記録画質 | 5レベル［Basic（ラフ画質）、Normal（標準画質）、Enhanced（準高画質）、Fine（高画質）、Super Fine（最高画質）］ |
| 記録タイプ | フィールド記録 |
| 記録スピード | 27レベル |
| 記録領域 | 通常記録領域<br>アラーム記録領域<br>バックアップ領域 |
| 再生 | 再生、一時停止、サーチ |
| ズーム | ズームボタンで2倍ズーム可 |
| サーチモード | |
| 日付/時刻サーチ | 日付と時刻からサーチ |
| アラームサーチ | アラームリストからサーチ |
| アラームサムネイルサーチ | アラームサムネイルからサーチ |
| バックアップサーチ | バックアップ領域のリストからサーチ |
| 動き検出サーチ | モーションセンサーで動き検出サーチ |
| 時刻設定 | 年/月/日/時/分/秒 |
| ビデオ入力 | 1V（p-p）、75Ω不平衡、BNC接栓（VDH-F900：×9、VDH-8016：×16） |
| S映像入力 | セパレートYC信号、DINコネクター |
| デジタル入力 | RJ-45×1 |
| 音声入力 | −8dBs、27kΩ不平衡（RCAピンジャック） |
| マイク入力 | −60dBs、10kΩ不平衡（3.5mmミニジャック） |
| ビデオ出力 | 1V（p-p）、75Ω不平衡、BNC接栓（VDH-F900：×9、VDH-8016：×16） |
| S映像出力 | セパレートYC信号、DINコネクター |
| デジタル出力 | RJ-45×1 |
| 音声出力 | −8dBs、600Ω不平衡（RCAピンジャック） |
| コンパクトフラッシュスロット | コンパクトフラッシュType 2（前面パネル） |
| PCカードスロット | PCMCIA Type 2（後面パネル）<br>SCSIまたはEthernet card |
| RS-232C端子 | 9ピン D-SUB（PCへ） |
| 端子 | |
| RS-485端子 | RJ-11、3端子（A、B、GND） |
| リモートコントロール入力端子 | 外部スイッチによる接続×2 |
| アラーム入力端子 | 通常オープン、Lowレベルアクティブ（VDH-F900：×9、VDH-8016：×16） |
| センサーアラーム出力端子 | 通常オープン、Lowレベルアクティブ |
| アラーム出力端子 | 通常5V、Lowレベルアクティブ |
| アラームリセット入力端子 | 通常オープン、Lowレベルアクティブ |
| 無録画出力端子 | 通常5V、Lowレベルアクティブ |
| 時計合わせ出力端子 | 通常5V、Lowレベルアクティブ |
| 異常警告出力端子 | 通常5V、Lowレベルアクティブ |
| 残量警告出力端子 | 通常5V、Lowレベルアクティブ |
| アラーム残量警告端子 | 通常5V、Lowレベルアクティブ |
| 電源 | AC100V、50/60Hz |
| 消費電力 | VDH-F900：37W/540mA、VDH-8016：38W/560mA |
| 許容動作温度 | 5〜40℃ |
| 許容動作湿度 | 10〜80% |
| 外形寸法 | 420（W）×86（H）×364.5（D）mm |
| 質量 | VDH-F900：6.2kg、VDH-8016：6.3kg |

**外観および仕様は、お断りなしに変更することがあります。ご了承ください。**

## 寸法図

単位：mm




この取扱説明書は、古紙配合率100%、白色度70%の再生紙を使用しています。

# メ　モ

# 修理相談窓口

**三洋電機サービス株式会社**
受付時間　月曜日～金曜日　9：00～18：30
　　　　　土曜日・日曜日・祝日　9：00～17：30

修理や部品に関するご相談は、お買い上げ販売店、または下記電話番号にお問い合わせください（修理相談窓口の名称・電話番号は変更することがあります）。

◆東日本コールセンター　東京　☎（03）5302-3401
◆西日本コールセンター　大阪　☎（06）4250-8400

関東・甲信越・首都圏及び近畿地区以外にお住まいのお客様は、下記の電話をご利用いただけます。

◆東日本コールセンターへの転送電話番号
- ●北海道地区　札幌　☎（011）833-7888
- ●東北地区　仙台　☎（022）382-2213

◆西日本コールセンターへの転送電話番号
- ●北陸地区　金沢　☎（076）237-6650
- ●中部地区　名古屋　☎（052）459-3456
- ●中国地区　広島　☎（082）293-9333
- ●四国地区　高松　☎（087）844-8321
- ●九州地区　福岡　☎（092）922-6111

◆沖縄地区
沖縄三洋販売株式会社サービス部
受付時間　月曜日～土曜日（日曜日、祝日、および当社の休日を除く）
9：00～12：00、13：00～17：30
沖縄　☎（098）944-5018

## お客さまメモ

お買い上げの際に記入してください。お問い合わせのときに便利です。

| | |
|---|---|
| お買い上げ年月日 | 年　月　日 |
| お買い上げ店名 | |
| 電話番号 | （　）　ー |


**三洋マルチメディアセールス株式会社**
ビジネス東日本営業部
CCTV東日本営業所
〒113-0033
東京都文京区本郷3-2215　電話　東京（03）5803−3540

CCTV事業推進部
〒574-8534
大阪府大東市三洋町1-1　電話　大東（072）870-6133

**三洋電機株式会社**
コンシューマ企業グループ
DIソリューションズカンパニー
CCTVソリューションビジネスユニット
〒574-8534
大阪府大東市三洋町1-1　電話　大東（072）870-6277


この取扱説明書は、古紙配合率100％、白色度70％の再生紙を使用しています。


1AC6P1P2540-C
L8HBA/JP.JP2,L8HBB/JP.JP2(0503KR-SY)